

金
沢
の
教
育
〔行政編〕

二〇二六・令和八年度

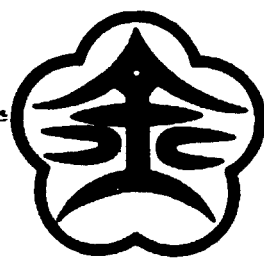
金
沢
市
教
育
委
員
会

金 沢 の 教 育

〔行政編〕

2026
〔令和8年度〕

金 沢 市 教 育 委 員 会



金沢市民憲章

金沢を愛するわたくしたちは、兼六園の四季のいろどり，犀川・浅野川の清い流れ，山や街の豊かな緑，かおり高い伝統文化を誇りとし、希望と活力にみちたはたらく基盤と，創造性あふれる教育・文化の華さくまちづくりにつとめます。

1 ひ ら こ う 世界と未来に 心 の 窓 を

1 め ざ そ う いきいきと明るい くらしの創造を

1 ま も ろ う 美しい心 と ふるさとの自然を

1 つ な ご う みんなの力で まちづくりの手を

1 き ず こ う 個性ゆたかな あすの金沢を

金沢の教育

(令和8年度)

編集兼発行者 金沢市教育委員会

「金沢市教育振興基本計画」

金沢市教育委員会では、平成 27 年に「金沢市学校教育振興基本計画」を策定（令和 3 年改定）し、学校教育の一層の振興を図るとともに、生涯学習の第 3 次計画である「金沢市生涯学習振興基本計画」を策定（令和 3 年改定）し、生涯学習の振興に努めてきました。

両計画の策定以降、社会環境の変化や新たな教育課題の浮上により、社会全体で学びの変容が進んでいます。このような状況に対応するためには、これまで以上に学校教育施策と生涯学習施策の密接な連携が不可欠であることから、本市の教育行政に関する施策を一体的・総合的に推進するため、令和 8 年に「学校教育」と「生涯学習」の両振興基本計画を一本化した「金沢市教育振興基本計画」を策定しました。

（１）基本理念

自学・共創の学びを通し 心豊かな未来を創る 金沢の教育

将来の予測が困難な社会をたくましくしなやかに生き抜き、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、心豊かな未来を創る金沢の教育を目指していきます。

（２）基本方針

基本理念を実現するため、5 つの基本方針を掲げ、施策を展開します。

【基本方針 1】未来を創る子供の育成

【基本方針 4】生涯にわたる学びの推進

【基本方針 2】多様な教育的ニーズへの支援

【基本方針 5】教育・学習環境の整備

【基本方針 3】家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上

（３）施策の基本的方向性及び取り組むべき施策の考え方

基本方針ごとに、施策の基本的方向性と、それぞれの方向性に対しての取り組むべき施策の考え方を掲げています。

【基本方針 1】未来を創る子供の育成

- 基本的方向性 1 豊かな人間性の育成
- 基本的方向性 2 確かな学力の育成
- 基本的方向性 3 情報活用能力の育成
- 基本的方向性 4 健やかな体の育成
- 基本的方向性 5 ふるさと教育の推進

【基本方針 2】多様な教育的ニーズへの支援

- 基本的方向性 1 いじめ・不登校等への対応
- 基本的方向性 2 特別支援教育等の充実
- 基本的方向性 3 教育相談・支援体制の充実

【基本方針 3】家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上

- 基本的方向性 1 家庭・地域・学校等の連携の推進
- 基本的方向性 2 家庭・地域における青少年教育の推進

【基本方針 4】生涯にわたる学びの推進

- 基本的方向性 1 主体的な学びの推進
- 基本的方向性 2 協働による学びの推進
- 基本的方向性 3 金沢の歴史・文化や個性を生かした学びの推進

【基本方針 5】教育・学習環境の整備

- 基本的方向性 1 教職員の資質・能力向上と働きやすい環境の確保
- 基本的方向性 2 学校施設の整備
- 基本的方向性 3 生涯学習環境の充実

＜計画の期間＞ 令和 8 年度 から 令和 17 年度 まで（10 年間）

金沢子どもかがやき宣言

「金沢子どもかがやき宣言」は、金沢市学校教育振興基本計画に掲げる「めざすべき金沢の子ども像」をわかりやすく、覚えやすい言葉で表現した、子供たちの考え方や行動の基本的な約束事としてまとめたもので、平成26年に市内の中学生によるプロジェクト活動により制作されました。

金沢市教育振興基本計画の策定後も、本市の学校教育を通してめざすべき「金沢の子ども像」は変わらないと考え、引き続き「金沢子どもかがやき宣言」を継承していきます。

小中学校では、さまざまな取り組みを通して「金沢子どもかがやき宣言」を実践しています。

【めざすべき金沢の子ども像】

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 自ら学び、自ら考え、創造する子 | 4 心身ともに健康で、たくましく生きぬく子 |
| 2 正しく判断し、責任を持って行動する子 | 5 夢を抱き、何事にも粘り強く挑戦する子 |
| 3 自他ともに認めあい、お互いを高めあう子 | 6 金沢に誇りを持ち、ふるさとを愛する子 |

金沢子どもかがやき宣言

一 すすんで学び、考えます
二 きまりや約束を守ります
三 すすんであいさつをします
四 笑顔を大切にします
五 思いやりの心を大切にします
六 ありがとうの気持ちを伝えます
七 毎日元気にすごします
八 夢に向かって挑戦します

わたしたちは、
ふるとと金沢を愛し、誇りを持ち、
未来に向かってかがやくように行動します

【宣言に込められた思い】

金沢子どもかがやき宣言は、私たち中学生によるプロジェクト活動を通して制作したものです。活動を進める中で、私たちが“金沢”を誇りにし、“金沢”を愛し、“金沢”を全国や世界に発信したいという思いを強く持っていることを改めて感じました。

宣言文は、8つの文章で構成されていますが、どれもシンプルで分かりやすく、あたりまえのことを述べています。“あたりまえのことをあたりまえに”できることこそが、今の時代において大切にしなければいけないことではないでしょうか。

私たちは、この宣言を心に刻み、一人一人が行動し、未来の金沢が輝くことを願っています。

「金沢子どもを育む行動計画2023」

金沢市では、「子どもの幸せと健やかな成長を図るための社会の役割に関する条例（以下「金沢子ども条例」といいます。）」を制定し、子どもたちを市民みんなで育てていくことをめざしています。この条例は、子どもを育てる大人の役割を定め、5つの主体（家庭・地域・企業・学校・行政）についてその役割や責任を示しています。そして、具体的にどのような行動をしていくべきなのかをまとめたものが「金沢子どもを育む行動計画」です。

平成15年から始まった行動計画は5年毎に見直され、令和5年度から第五次となる「金沢子どもを育む行動計画2023」がスタートしました。このたびの改訂では、（1）全ての子どもが健やかで安全・安心に成長できる環境の提供（2）誰一人取り残すことなく健やかな成長を支援し、多様なウェルビーイングの実現という基本方針のもと、家庭・地域・企業・学校・行政の大人一人ひとりが責任を自覚し子どもとの関わりを深め、具体的に行動するといった子どもを育む大人の責任の明確化を図り、未来を担う子どもたちを幸せに、そして健やかに育んでいきます。

イメージ

金沢子どもを育む行動計画

金沢子どもを育む
行動推進委員会

・行動計画の検討
・施策を総合的に推進

金沢子ども条例

基本理念

- 子どもの育成に責任があることを認識し、主体的に子どもの育成に関わる
- 共通認識を持ち、相互に連携し、協力して子どもを育てる
- 子どもの人格を尊重し、子どもが様々な権利を有していることを認識する
- 「自ら考え、判断し、行動する力」「健やかで思いやりのある心」「金沢を愛する心」「社会の一員としての責任感」「世界に通ずる広い視野と豊かな国際感覚」を持つ子どもを育てる
- 大人の行動等が子どもに大きな影響を与えることを認識し、一人ひとりが自らの行動を省みる



大人の責務

家庭	地域	企業	学校	行政
●子どもの育成に最も大きな責任を負う ●愛情を持って子どもに接する ●基本的な生活習慣や社会的な決まりを守る意識を子どもが身に付けることができるようにする ●干渉を控える一方、放任とならないよう家庭内のコミュニケーションを大切にする	●子どもの育成のために住民や関係団体がお互いに協力する ●子どもの地域行事への参加や社会体験活動など地域での子どもの育成活動を積極的に進める ●子どもの見守りや声かけなどを通して子どもとの関わりを深める	●企業で働く保護者が子どもとの関わりを深めることができるよう配慮する ●子どもの職場体験活動の受け入れなどへの協力に努める	●幼稚園・保育所・認定こども園集団の中での遊び等を通して基礎的な社会性を育む ●小学校・中学校等社会性、基礎学力、自ら学び、考える力などを子どもが身に付けることができるようにする	●家庭、地域、企業、学校、行政等が一体となって子どもの育成を推進するための施策を実施する ●家庭、地域、企業、学校等の連携・協力のための調整を行う

具体的な行動

子どもの幸せと健やかな成長

「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」

「金沢市家庭教育推進プログラム」

金沢市教育委員会では、「金沢市教育振興基本計画(令和8年1月策定)」に掲げられた「健やかな子供を育むための家庭教育の推進」の具現化を図るため、保護者が家庭で意識してほしいことを示した「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」及び行政が取り組む施策を示した「金沢市家庭教育推進プログラム」に基づき事業を推進しています。

家庭で子どもを育むための8つのすすめ

家庭は教育の出発点であり、子どもの心のよりどころです。

子どもが安らぎを感じながら健やかに成長できるよう、かつて大人自身が家族のふれあいの中から教わった「大切なこと」を、子どもに伝えましょう。

① 持ち続けよう 子どもとともに 学ぶ姿勢

⑤ 大切にしよう 思いやりの心 すべての命

② きちんと守ろう 社会のルール 大人が手本

⑥ 伝えよう 心のこもった「ありがとう」

③ 声かけよう 笑顔であいさつ 朝一番

⑦ 育もう 子どもの健康「早寝 早起き 朝ごはん」

④ 創ろう あたたかい家族のふれあい

⑧ 支えよう 子どもの夢と可能性

金沢市家庭教育推進プログラム

「金沢市生涯学習振興基本計画（平成27年9月策定）」と「子どもの幸せと健やかな成長を図るための社会の役割に関する条例(金沢子ども条例)」に基づき、家庭教育の推進を図る具体的施策として策定しました。

「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」の浸透を図るとともに、気づきを促し、その実践を支援するため、3つの柱からなる各種事業を推進していきます。

① 学ぶ
～学習機会の効果的な提供～

家庭教育の重要性を効果的に意識付けるとともに、顔の見えるつながりの形成を推進します。

② 広がる
～家庭教育に関する情報提供の充実～

家庭教育に役立つ様々な情報を提供するとともに、「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」の周知を図り、家庭教育への気づきを促進します。

③ つながる
～地域、家庭、学校等との連携による支援～

地域・家庭・学校等が一体となり、地域ぐるみで子どもを育む取組を支援します。

目 次

金沢市の沿革	1
--------------	---

教育行財政

教育行政

教育委員	5
教育委員会議	5
教育委員会組織	6
令和8年度重点施策概要	13
各課重点施策及び予算概要	15

教育財政

令和8年度予算	29
教育費の推移	30

教育環境整備

事業概要

学校施設	31
通学区域審議会	32
児童生徒数の推移	33
金沢市内の学校教育施設	33
学校施設、児童生徒数、 教職員数一覧	34

学 校 教 育

事業概要

学校教育指導	41
教職員研修	47
教育援助	47
私学振興	48
表彰制度	48
(公財)金沢子ども科学財団	48

健 康 教 育

事業概要

学校保健・学校体育	49
学校給食	51

生 涯 学 習

事業概要

生涯学習推進体制の整備	53
成人教育	54
女性教育	55
家庭教育	55
顕彰制度	57

教育プラザ

事業概要

施設概要	59
学校教育センター	60
青少年健全育成センター	66
少年育成支援室	67
こども相談センター[児童相談所] ..	67
幼児教育センター.....	69

市立工業高等学校	71
----------------	----

生涯学習、社会教育関連施設

図書館

施設概要	77
図書館活動	79

公民館

中央公民館	85
地区公民館	88

その他の施設

キゴ山ふれあい研修センター	91
長土堀青少年交流センター.....	95
甥杉少年の森	96
土子原こども野外広場.....	96

附属資料	97
------------	----

金 沢 市 の 沿 革

(1) 立 地

金沢市は、県の中央よりやや南寄りに位置しています。東は白山山系、砺波丘陵をはさんで富山県小矢部市・南砺市に接しており、西は日本海に面し、北は内灘町・津幡町、南は白山市・野々市市と境を接しています。

地形は、市の東部から南部にかけて、白山山系と砺波丘陵の山地によって構成され、西部から北部にかけて、その半ばが沖積平地となって金沢平野の北部を占めています。

また、本市は二つの稜線に抱かれた犀川と浅野川の流域・山・台地・平野・海すべての自然条件にめぐまれた天然の都邑であります。

(2) 市 勢

北陸地方は日本海に面するという地理的条件に恵まれて、本市は古くから中国や朝鮮半島を含む日本海域での交流に多くの役割を果たしてきました。蓮如の浄土真宗布教により、農民を中心とした一向宗の勢力が強まり、長享2年（1488年）この一向一揆は、守護富樫政親を高尾城に滅ぼし、天文15年（1546年）金沢御堂を完成し、加賀一国を統治しました。天正8年（1580年）織田軍の佐久間盛政が金沢御堂を落とし、金沢城を築くまで一向一揆の統治は約100年続きました。

天正11年（1583年）6月14日、前田利家が金沢城へ入り、金沢は加賀百万石の城下町として発達し、元禄期には人口68,636人、経済力においては幕府に次ぐ富を所有するほどに発展しました。また、前田家代々の藩主は文化政策に力を入れ、多数の美術・工芸職人や学者を招聘し、新井白石からは「加賀は天下の書府なり」と言われるほどでした。

明治22年（1889年）4月1日には市制が施行され、太平洋戦争でも戦災を受けず、城下町の町並み、文化や伝統などを温存し、石川県の県庁所在地として発展を続けました。

平成8年（1996年）には中核市となり、歴史や伝統、学術・文化を大切にしながらも、絶えず革新の営みを続けてきたこれまでのまちづくりは、平成21年（2009年）に「歴史都市」、「創造都市」として認められるまでになりました。平成25年（2013年）には世界の「交流拠点都市金沢」の実現という新たな都市像を策定し、平成27年（2015年）には念願の北陸新幹線金沢開業が実現しました。

(3) 面積・人口(令和8年5月1日現在)

面 積	468.81km ²	
人 口	452,793人	(454,071人 …… 令和7年国勢調査)
（男）	219,085人	
（女）	233,708人	
人口密度	965.8人/km ²	
世 帯 数	214,242世帯	(212,869世帯 …… 令和7年国勢調査)

<年表>

年	月	金 沢 市 の あ ゆ み	月	国 の あ ゆ み
1946年 昭和21年	10月	金沢美術工芸専門学校開校	11月 12月	第1回国民体育大会開催、日本国憲法公布 教育刷新委員会第1回建議（新学制等）～ 昭和26年11月の第35回建議まで
1947年 昭和22年	4月 10月	学校教育法の施行により新学制（6・3制）の9学年義務教育となる 第2回国民体育大会秋季大会が金沢市運動場を主会場に開催	3月 4月	教育基本法、学校教育法公布 地方自治法公布
1948年 昭和23年	2月 4月 8月	第1回金沢市文化賞贈呈式 新制高等学校発足 市中央公民館設置	7月 10月 11月	教育委員会法公布 第1回教育委員会委員選挙 教育委員会発足（都道府県、5大市及び任意設置の46市町村）
1949年 昭和24年	5月	金沢大学開校	4月 6月	全国都市教育長協議会結成 社会教育法公布
1950年 昭和25年	4月 9月	金沢美術工芸専門学校が金沢美術工芸短期大学となる 市婦人会館開館	4月 5月	図書館法公布 教育委員会法改正（市教育委員会設置を25.11.1又は27.11.1とする） 文化財保護法公布
1952年 昭和27年	4月 11月	全市に地区公民館（38）設置 第1回百万石まつり開催（第7回から市主催） 金沢市教育委員会発足	6月	中央教育審議会設置（教育刷新委員会廃止）
1955年 昭和30年	4月	金沢美術工芸短期大学が金沢美術工芸大学（4年制）に昇格		
1956年 昭和31年			6月 10月	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）公布 地教行法による任命制教育委員会発足
1957年 昭和32年	9月	市議会「世界連邦平和都市宣言」議決	1月	全国市町村教育委員会連合会結成
1958年 昭和33年			5月 10月	義務教育標準法公布（小・中50人学級34年度から実施） 小・中学習指導要領を告示（小36年度、中37年度から実施）
1959年 昭和34年	8月	青年の家開所	4月	社会教育法改正（市町村に社会教育主事を必置）
1960年 昭和35年			11月	国民所得倍増計画発表
1961年 昭和36年			6月 10月	スポーツ振興法公布 全国一斉学力調査実施（中2・3年、5教科）
1962年 昭和37年	3月 5月 12月	市議会「交通安全都市宣言」議決 観光会館開館 米国、バッファロ市と姉妹都市提携 少年の家（やまびこ）が卯辰山に落成		
1963年 昭和38年	1月	市内の最深積雪量181cmを記録 気象庁は北陸、新潟地方を中心に襲った大雪を「昭和38年1月豪雪」（略称38.1豪雪）と命名	3月 12月	全国PTA協会結成 義務教育標準法公布（小・中45人学級39年度から実施）
1964年 昭和39年	5月 9月	室生犀星文学碑除幕式 泉鏡花顕彰句碑除幕式	10月	オリンピック東京大会開催
1965年 昭和40年	10月	窓口センター庁舎完成		
1967年 昭和42年	2月 3月	大正8年に敷設された市内電車全面廃止 ソ連、イルクーツク市と姉妹都市提携 ブラジル、ポルト・アレグレ市と姉妹都市提携		
1969年 昭和44年	3月 4月	金沢市史（現代編上・下2巻）を刊行 市制施行80周年記念式典		
1970年 昭和45年	4月	中央公民館開館 金沢市木を「梅」に指定 「金沢市60万都市構想」を策定		
1971年 昭和46年	1月 3月 10月	初の市民体育館、城北市民体育館完成 庁舎本館完工式 ベルギー、ゲント市と姉妹都市提携	6月	中央教育審議会第22回答申 （学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策）
1972年 昭和47年	3月 9月	城南市民体育館落成 市がコンピューターを導入	2月	札幌オリンピック冬季競技大会開催
1973年 昭和48年	1月 10月	市営温水プールオープン フランス、ナンシー市と姉妹都市提携 第1回泉鏡花文学賞、第1回泉鏡花記念金沢市民文学賞受賞者決定	10月	第1次石油危機
1974年 昭和49年	6月	市議会「緑の都市宣言」議決 城東市民体育館竣工	2月	人材確保法公布
1975年 昭和50年	1月 7月	「金沢市新長期計画」を策定 財団法人中村記念館が市に寄付され「市立中村記念美術館」の名称で発足		
1976年 昭和51年	6月	少年自然の家「やまびこ」オープン	3月	米飯給食の実施について通達
1978年 昭和53年	6月 10月	三尖塔の旧金沢第2中学校校舎を民俗文化財展示館として開館 初の名誉市民に谷口吉郎、林屋亀次郎、松田権六の3氏を決定 第1回市民文化祭	11月	教育委員会制度30周年記念式典
1979年 昭和54年	4月 6月	金沢美術工芸大学に大学院設置 市立図書館が玉川町に新築移転し開館 市制施行90周年記念式典、市民憲章を発表		
1980年 昭和55年	2月 9月	市制施行90周年事業として「歴史のまちしるべ」表示石柱設置を決定 市民憲章の歌「金木犀の匂う道」を発表	5月	義務教育標準法公布（小・中40人学級66年度までに実施）
1981年 昭和56年	6月	中国、蘇州市と姉妹都市提携		
1982年 昭和57年	1月 11月	十一屋小学校平栗、富樫小学校坪野、犀川小学校大平沢、樫見、国見、湯涌小学校河内、医王山小学校荒山の各分校を廃止 金沢400年記念事業の「文化ホール」がオープン		
1983年 昭和58年	4月	保存建造物（石引3丁目北陸学院第二幼稚園、大工町立野量店、野町1丁目森紙店）に初めて市指定書を交付		
1984年 昭和59年	4月	21世紀“金沢の未来像”発表	8月	臨時教育審議会（臨教審）発足

<年表>

年	月	金 沢 市 の あ ゆ み	月	国 の あ ゆ み
1985年 昭和60年	4月 6月 8月 12月	市総合体育館完成 市立安江金箔工芸館開館 全国高等学校総合体育大会が石川県西部緑地公園陸上競技場を主会場に開幕 市議会「平和都市宣言」を議決	6月	臨教審教育改革に関する第1次答申
1986年 昭和61年	3月 7月 11月 12月	金沢市基本計画を策定 埋蔵文化財収蔵庫開館式 故・高光一也氏を名誉市民に決定 元市長の土井登、徳田興吉郎、岡良一の3氏を名誉市民に決定	4月 11月	臨教審教育改革に関する第2次答申 (教育委員会の活性化について提言) 第1回国民文化祭開催
1987年 昭和62年	4月	市立図書館の蔵書電算管理システムが完成 中央小学校が開校 市営東金沢テニス・コート竣工式	5月 8月 10月	臨教審教育改革に関する第3次答申 臨教審教育改革に関する第4次(最終)答申 教育改革推進大綱閣議決定
1988年 昭和63年	4月 12月	金沢ふれあいの里研修館が完成 市指定文化財寺島蔵人邸の開館式	3月 11月	地教法改正案(市町村教育長の専任制、任期制の導入)国会提出 第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催
1989年 平成元年	4月 11月	金沢市制百周年記念式典 中村記念美術館の竣工記念式	11月	第1回全国生涯学習フェスティバル開催
1990年 平成2年	3月	中央市民体育館の竣工式	1月	中央教育審議会答申(生涯学習の基盤整備について)
1991年 平成3年	3月 8月 9月 10月	三谷小学校に統合される三谷、竹又、牧山、土子原の4小学校の開校式 金沢城北市民運動公園の竣工式 第46回国民体育大会「石川国体夏季大会」開会 第46回国民体育大会「石川国体秋季大会」開会	4月	中央教育審議会答申(新しい時代に対応する教育制度改革について)
1992年 平成4年			9月	毎月第2土曜日を休業日とする月1回の学校週5日制の実施
1993年 平成5年	6月 11月	自然学習館竣工・開館記念式典 ふるさと偉人館竣工開館式		
1994年 平成6年	4月	金沢市民芸術ホール開館記念式	5月 11月	児童の権利に関する条約発効 第1回全国環境学習フェア開催
1995年 平成7年	4月 9月	泉野図書館竣工式 「世界工芸都市宣言」議決	4月 5月	毎月第2及び第4土曜日を休業日とする月2回の学校週5日制の実施 地方分権推進法公布
1996年 平成8年	4月 10月	中核市に移行。中核市記念碑除幕式 金沢市民芸術村竣工式	8月	教育改革推進本部発足
1997年 平成9年		金沢市埋蔵文化センター・上荒屋史跡公園完成式	1月	教育改革プログラム策定
1998年 平成10年	3月 10月	「環境都市宣言」議決 金沢キゴ山天体観望センター開館式	9月 11月	第1回全国環境学習フェア開催 中央教育審議会答申(今後の地方教育行政の在り方について) 教育委員会制度50周年記念式典挙行
1999年 平成11年	6月 9月 10月 11月	金沢市制110周年記念式典 西部共同調理場がオープン 旧町名「主計町」が29年ぶりに復活 泉鏡花記念館竣工式 玉川図書館近世史料館開館式	8月	国旗及び国歌に関する法律公布
2000年 平成12年	4月 8月	内川スポーツ広場がオープン 土子原こども野外広場がオープン	12月	教育改革国民会議報告(教育を変える17の提案)
2001年 平成13年	3月 4月 5月	金沢子ども科学財団設立記念式典 中央公民館彦三館開館記念式典 医王山運動広場竣工式 東山ひがし伝統的建造物群保存地区指定記念式典	1月	21世紀教育新生プラン策定
2002年 平成14年	1月 4月 10月	子どもの幸せと健やかな成長を図るための社会の役割に関する条例施行 金沢市教育委員会50周年記念式典 韓国、全州市と姉妹都市提携 第14回全国生涯学習フェスティバル開催	4月	毎月土曜日を休業日とする学校週5日制の実施 新学習指導要領の全面実施
2003年 平成15年	3月 4月 5月 7月 9月	「金沢子どもを育む行動計画」策定 戸室スポーツ広場がオープン 第55回全国都市教育長協議会金沢大会開催 金沢市教育プラザ富樫がオープン 北部共同調理場がオープン		
2004年 平成16年	3月 4月 6月 10月 10月	「世界都市金沢」小中一貫英語教育特区に認定 金沢市立小中学校2学期制完全実施 明成小学校が中国大連市・実験小学校と姉妹校調印 金沢21世紀美術館がオープン 城南中学校が中国大連市・65中学校と姉妹校調印	1月 4月	学習指導要領の一部改正 国立大学が法人化
2005年 平成17年	3月 3月 4月 11月	金沢駅東広場完成記念式典 金沢市教育委員会五十年史発刊 夕日寺小学校 新校舎竣工式、徳田秋聲記念館がオープン 金沢文芸館がオープン	10月	中央教育審議会答申(新しい時代の義務教育を創造する)
2006年 平成18年	4月 4月	中学校学校選択制導入による新中学1年生が入学 教育プラザ富樫に金沢市児童相談所を併設	1月 12月	教育改革のための重点行動計画策定 教育基本法改正
2007年 平成19年	4月 9月	杜の里小学校 新設竣工式 東部共同調理場がオープン		
2008年 平成20年	3月 11月	「金沢子どもを育む行動計画」(第二次)策定 玉川こども図書館がオープン	1月 3月 4月	中央教育審議会答申(学習指導要領の改善について) 新学習指導要領の公示 中央教育審議会答申(「教育立国」の実現に向けて)
2009年 平成21年	4月 4月	金沢市制120周年記念式典 近江町いちば館開館		
2010年 平成22年			4月	公立高等学校授業料無償化の開始

<年表>

年	月	金 沢 市 の あ ゆ み	月	国 の あ ゆ み
2011年 平成23年	5月	金沢海みらい図書館がオープン		
2012年 平成24年	11月	小立野小学校新校舎竣工式		
2013年 平成25年	3月 3月 4月 12月	市立工業高等学校新校舎竣工式 「金沢子どもを育む行動計画2013」策定 戸板小学校移築竣工式 金沢市教育プラザ此花がオープン	6月	第2期 教育振興基本計画を閣議決定
2014年 平成26年	3月 4月 4月 10月	野町小学校、弥生小学校及び俵小学校が閉校 泉小学校が開校 学びのステップを大切にしたい新たな3学期制実施 「金沢子どもかがやき宣言」制作	4月	高等学校等就学支援金制度の改正 (公立高等学校授業料無償化の見直し)
2015年 平成27年	1月 2月 3月 9月 10月	「金沢市学校教育振興基本計画」策定 金沢子どもフォーラム開催 朝日小学校が閉校 「金沢市生涯学習振興基本計画」策定 「金沢市教育行政大綱」策定		
2016年 平成28年	3月 4月 4月	材木町小学校及び味噌蔵町小学校が閉校 兼六小学校が開校 キゴ山3施設を統合し、金沢市キゴ山ふれあい研修センターを開設		
2017年 平成29年	4月 10月	泉小学校・泉中学校竣工式 大浦公民館竣工式		
2018年 平成30年	3月	「金沢子どもを育む行動計画2018」策定	6月	第3期 教育振興基本計画を閣議決定
2019年 平成31年 令和元年	3月 4月 6月 7月	新笠町小学校、菊川町小学校及び東浅川小学校が閉校 犀桜小学校が開校 金沢市制130周年記念式典 金沢市長土堀青少年交流センター供用開始	1月	中央教育審議会答申（働き方改革に関する総合的な方策について）
2020年 令和2年	4月 5月	森山町小学校新校舎竣工 教育プラザ内に幼児教育センターを開設 研修相談センターを学校教育センターに改編 金沢市役所第二本庁舎供用開始	2月 4月	新型コロナウイルス感染症対策における学校一斉臨時休業要請発出 新学習指導要領が小学校において全面実施
2021年 令和3年	3月 4月	「金沢市学校教育振興基本計画」改定 「金沢市生涯学習振興基本計画」改定 四十万公民館竣工式 地域教育センター及び長土堀青少年交流センターを青少年健全育成センター等に改編	4月	新学習指導要領が中学校において全面実施 中央教育審議会答申（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して）
2022年 令和4年	3月 4月	平和町児童図書館が閉館 犀桜小学校新校舎竣工式 中央小学校、玉川こども図書館竣工式	12月	学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインを策定
2023年 令和5年	3月 4月	「金沢子どもを育む行動計画2023」策定 小將町中学校及び小將町中学校特学分校が閉校 朝霧台小学校、長町中学校及び長町中学校芳齋分校が開校	6月	第4期 教育振興基本計画を閣議決定
2024年 令和6年	3月 4月 11月	馬場小学校が閉校 特別支援教育サポートセンターを開設 中央小学校芳齋分校、長町中学校芳齋分校新校舎竣工式 芳齋公民館竣工式 全国コミュニティ・スクール研究大会金沢開催		
2025年 令和7年	3月 7月 9月	三谷小学校が閉校 玉川図書館が休館し、長町図書館を開設 兼六小学校が移転 南部共同調理場がオープン		
2026年 令和8年	1月 7月	「金沢市教育振興基本計画」策定 教育施設等整備室を拡充し、教育施設課を新設	4月	高等学校等就学支援金制度の改正 (所得制限の撤廃、支給対象者の見直し)

教育行財政



金沢「創造」プロジェクト 交流の様子

I. 教育行政

〔1〕教育委員

職 名	氏 名	任 期	職 業
教 育 長	野 口 弘	令和7.4.1～令和10.3.31	(教育長)
教育長職務代理	大 島 淳 光	令和6.4.1～令和10.3.31	会 社 社 長
委 員	丸 山 章 子	令和6.10.1～令和10.9.30	大 学 教 授
委 員	木 村 陽 子	令和5.1.1～令和8.12.31	邦 楽 家
委 員	長 澤 裕 子	令和5.10.2～令和9.10.1	弁 護 士
委 員	櫻 吉 啓 介	令和6.10.1～令和10.9.30	医 師
委 員	山 本 英 輔	令和7.10.3～令和11.10.2	大 学 教 授

〔2〕教育委員会議

1. 開催日

定例会議：原則として毎月第3水曜日

臨時会議：随時

2. 開催回数、付議議件（令和7年度）

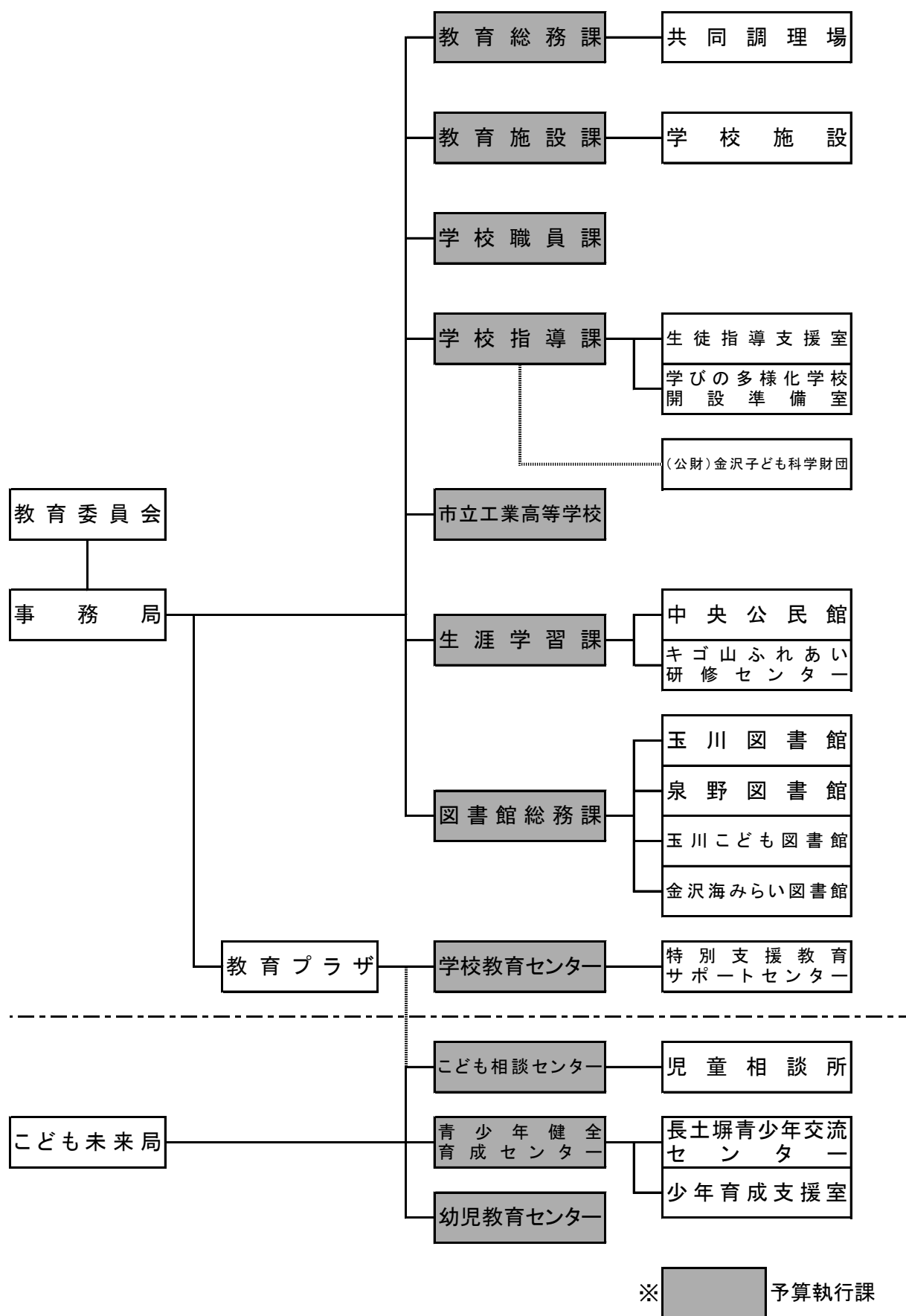
(1) 開催回数

定例会議：12回 臨時会議：7回

(2) 付議議件

区 分	内 容	件 数
議 案	規則等に関する事	4件
	議会の議決を経るべき議案に関する事	4
	人事に関する事	9
	教科書採択に関する事	3
	委員の委嘱等に関する事	6
	教職員研修に関する事	1
	その他	8
	計	35
報 告		26
その他		19

〔３〕教育委員会組織図



〔４〕事務分掌

１．教育委員会事務局・教育機関等

教育総務課	
1 教育委員会の会議、交際及び渉外 2 教育行政の主要施策の企画及び調整 3 規則の制定又は改廃の総括 4 事務局その他教育機関の組織及び分掌事務 5 職員（学校職員等を除く。）の人事、服務、研修及び福利厚生 6 教育予算執行の総括 7 通学区域の設定及び変更 8 児童及び生徒の入学及び転学の手続や就学の指定及び区域外就学 9 学齢簿の管理 10 就学援助 11 学校給食の計画及び指導 12 学校給食の管理運営	などに関する事項
教育施設課	
1 教育財産の総括管理 2 義務教育施設の管理 3 学校の環境衛生管理 4 義務教育施設の建設 5 義務教育施設の設置、変更及び廃止 6 学校給食の施設整備	などに関する事項
学校職員課	
1 学校職員等の人事及び服務 2 学校職員等に係る人材育成に関する施策の企画及び調整 3 学校職員等の健康管理 4 市立工業高等学校との連絡調整（学校指導課の所管に属するものを除く。） 5 教職員団体等との交渉	などに関する事項
学校指導課	
1 学校教育に係る施策の企画及び調整 2 学齢児童及び学齢生徒の就学（教育総務課の所管に属するものを除く。） 3 教材、教具等の整備 4 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師 5 学校運営の指導助言 6 児童及び生徒の管理（学齢簿の管理に関する事項を除く。）	

7 人権教育の推進 8 教科書その他の教材の取扱い 9 健康教育の推進 10 学校の保健計画 11 市立工業高等学校との連絡調整（学校職員課の所管に属するものを除く。）	などに関する事項
生徒指導支援室	
1 小学校・中学校及び高等学校における生徒指導の支援	などに関する事項
学びの多様化学校開設準備室	
1 学びの多様化学校の開設準備	などに関する事項
市立工業高等学校（事務局）	
1 教職員の給与、服務、厚生、共済事務 2 入学料、授業料等の調定及び収納	などに関する事項
生涯学習課	
1 生涯学習振興施策の企画立案 2 生涯学習の情報の提供及び相談 3 成人教育の推進 4 家庭教育の振興 5 学校教育と地域・家庭教育との連携 6 社会教育委員 7 高齢者教育の推進 8 女性教育の推進 9 社会教育関係団体（青少年関係団体を除く。）の育成及び指導 10 地区公民館 11 学校施設の開放（学校施設の利用の許可に関する事項を除く。） 12 市民憲章	などに関する事項
中央公民館	
1 成人教養講座の開催 2 高齢者教育	などに関する事項
キゴ山ふれあい研修センター	
1 里山における自然観察等の自然に親しむ学習活動 2 里山における人々の営み及び文化の体験的な学習活動 3 宇宙に関する科学的知見、宇宙の開発及び利用を支える科学技術等に係る学習活動 4 天体観察室、プラネタリウム等の使用による天文知識等の普及 5 市民のスポーツ、レクリエーション、文化活動等の振興	などに関する事項

図書館総務課

- 1 市立図書館の施策の企画調整
- 2 市立図書館の統括

4 館共通

- 1 図書館の運営及び企画
- 2 図書、記録、郷土資料、地方行政資料、視聴覚資料等の収集、整理、保存及び利用
- 3 レファレンス・サービス（参考相談業務）
- 4 読書会、研究会、講演会、鑑賞会、映写会、資料展示会等の主催
- 5 他の図書館との図書館資料の相互貸借
- 6 他の図書館、学校、公民館等との連絡及び協力
- 7 児童図書、絵本等の収集、整理、保存及び利用
- 8 児童に対する読書の普及活動及び読書相談

玉川図書館

- 1 城北分館及び近世史料館の管理及び運営
- 2 自動車文庫及び団体貸出文庫の巡回
- 3 近世資料の収集、整理、保存、調査及び閲覧
- 4 金沢市図書館協議会

などに関する事項

泉野図書館

- 1 点字・録音図書の利用及び対面朗読
- 2 映像ホール等の視聴覚機器設備の運営
- 3 海外資料の収集、整理、保存及び利用
- 4 国連寄託図書館

などに関する事項

玉川こども図書館

- 1 児童の読書活動の活性化に関する施策の推進
- 2 児童の読書活動に携わる団体等との連絡及び協力
- 3 学校図書館の支援に関する事項

などに関する事項

金沢海みらい図書館

- 1 日本海及びものづくりに関する資料の収集、整理、保存及び利用

などに関する事項

学校教育センター

- 1 学校教育の相談・研修に係る施策の企画調整
- 2 教育相談
- 3 教職員の研修
- 4 特別支援教育の推進
- 5 学校教育に関する教材等の専門的又は技術的な事項の調査及び研究
- 6 教育資料の収集及び貸出し
- 7 学習用教材の収集及び貸出し
- 8 教育プラザの施設維持管理

などに関する事項

2. 教育プラザ内 こども未来局所管機関等

青少年健全育成センター	
1 青少年の育成支援 2 青少年の育成に関する教材等の専門的又は技術的な事項の調査及び研究	などに関する事項
長土堀青少年交流センター	
1 青少年関係団体の育成及び指導 2 青少年相互及び青少年と他の世代との交流の促進 3 青少年野外体験施設 4 長土堀青少年交流センターの管理運営	などに関する事項
少年育成支援室	
1 地域青少年健全育成推進団体等の支援 2 少年の補導	などに関する事項
こども相談センター	
1 児童等に係る必要な調査又は判定に基づく必要な指導 2 児童等に係る必要な心理学的な判定 3 里親及び要保護児童対策地域協議会 4 所管に係る社会福祉法人及び社会福祉事業 5 児童の一時保護	などに関する事項
幼児教育センター	
1 幼児教育及び保育に携わる職員の研修 2 幼児教育及び保育に関する教材等の専門的又は技術的な事項の調査及び研究 3 幼児教育及び保育に係る相談及び幼児相談室 4 こどもアート工房みたにの管理運営	などに関する事項

〔５〕職員数

(人)

		事務局										教育機関等										(公財)	合			
		教 育 総 務 課	教 育 施 設 課	学 校 職 員 課	学 校 指 導 課	学 生 指 導 室	開 学 び 設 の 多 様 化 学 校 室	生 涯 学 習 課	図 書 館 総 務 課	学 校 教 育 セ ン タ ー	小 計	市 立 工 業 高 等 学 校	中 央 公 民 館	研 修 ゴ 山 セ ン タ ー	玉 川 国 立 大 学	泉 野 国 立 大 学	玉 川 こ ど も 図 書 館	金 沢 海 み ら い 図 書 館	小 学 校	中 学 校	共 同 調 理 場	小 計	金 沢 子 ど も 科 学 財 団	計		
教 育 長		1								1															1	
事務局等	局長 局長等	1								1															1	
	次長 次長等	1		1	1					1	4														4	
	課長 課長等		1					1	1		3	1	1		(1)	1	1	1					5 (1)		8 (1) [1]	
	担当課長等			3	1			1	1	1	7				(1)								(1)		7 (1)	
	指導主事				1 (2)	1	1				3 (2)														3 (2)	
	課長 課長等	1	1							1	3	1	1	1				1						4	7	
	担当課長等	2	2	3	2 (1)			1	1	1	12 (1)	2	1	1	1 (1)	2		2						9 (1)		21 (2)
	指導主事				12 (4)	1 (1)				5	18 (5)														18 (5)	
	主査 主査等	5	2	2	3 (1)			3	2 (1)	5	22 (2)	1		2	4 (2)	4	1	3						15 (2)	1	38 (4)
	指導主事				2	1				4	7															7
主任・主事等		10	9	2	5 (4)			4	4	7	41 (4)	2	1	5	6 (2)	7	4	7					32 (2)		73 (6)	
指導主事 (兼充て)																										
研修員(県費)																										
一般行政職等小計		1	20	15	11	27 (8)	2 (4) [1]	2 (1)	10	9 (1)	25	122 (14) [1]	7	4	9	11 (7)	14	6	14				65 (7)	1	188 (21) [1]	
技術職員	栄養士		3								3														3	
	養護師																									
技能労務職員	運転																									
	用務													3									3		3	
	校務			8							8								15	8			23		31	
	調理																				41		41		41	
教育職・学校事務等	校長											1								[49]	[24]		1 [73]		1 [73]	
	副校長											1											1		1	
	教頭											1								[63]	[25]		1 [78]		1 [78]	
	主幹教諭																			[19]	[16]		1 [35]		1 [35]	
	指導教諭																				[2]		1 [2]		1 [2]	
	教諭											42											42		42	
	養護教諭											1											1 [1080]		1 [1630]	
	栄養教諭																						1 [50]		1 [72]	
	実習教諭等											9											9 [18]		9 [48]	
	学校事務																									
正 規 職 員 計		1	23	23	11	27 (8)	2 (4) [1]	2 (1)	10	9 (1)	25	133 (14) [1]	82	4	12	11 (7)	14	6	14	15 (8) [1318]	8 [668]	41	187 (7) [2010]	1	321 (21) [2011]	
会計年度任用職員等			5	1	72	3	2		3		21	107	22	9	6	16	22	9	20	82	42	12	240		347	
総 計		1	28	24	83	30 (8)	4 (4) [1]	2 (1)	13	9 (1)	46	240 (14) [1]	84	13	18	27 (7)	36	15	34	97 [1,218]	50 [668]	53	427 (7) [1986]	1 [5]	668 (21) [1987]	
再掲	管理主事				6 <2>						6 <2>														6 <2>	
	指導主事				15 <1>	2 (4)	2 (1)			9	28 <1> (5)														28 <1> (5)	
	社会教育主事							1			1														1	
	司書			56					2 (1)		56 1	1			5 (1)	5	10	4					25 (1)		83 (2)	
	技師																									
学芸員・専門員															1								1		1	

()は兼務・併任で外数(ただし、同一課(所)での兼務は除く) < >は、主席で内数 【 】は県費職員 []は財団雇用者

金沢市教育振興基本計画の実践

【基本方針 1】未来を創る子供の育成

〔基本的方向性 1〕豊かな人間性の育成

◆新金沢型学校教育モデルの実践

新しい時代が求める自学・共創の学びを通して、デジタル力・読解力・コミュニケーション力を基盤に、児童生徒が新しい価値や最適解を見出す創造力を育む新金沢型学校教育モデルを実践

◆学校図書館教育の推進

改・学校司書の小学校への専任配置を計画的に実施

〔基本的方向性 2〕確かな学力の育成

◆キャリア教育の推進

改・ものづくり教育コンソーシアムの具現化
授業におけるメタバース活用を研究

新・新たな金沢型工業教育モデルの策定

〔基本的方向性 3〕情報活用能力の育成

◆ＩＣＴを活用した教育の推進

・児童生徒のデジタル力を育成する「デジタル科」の実践
ドローン等の教材を用いたプログラミング学習を実施
メタバース体験学習や企業・大学等の先端技術体験を実施

改・ＧＩＧＡスクール環境の充実

通信ネットワーク環境を改善、大型ディスプレイを更新

〔基本的方向性 4〕健やかな体の育成

◆健康教育の推進

・健康教育推進プラン 2024 の実践

◆体力の向上

新・今後の水泳授業のあり方を検討

改・ダンス指導者派遣事業の拡充

改・中学校部活動指導員の増員

◆安全・安心な学校給食の提供

新・給食の栄養バランスを維持するため、国の交付金基準額を上回る食材費を全額公費で負担し、小学校給食費を無償化
・給食の栄養バランスを維持しつつ、保護者負担の軽減を図るため、中学校給食の食材費高騰分を引き続き全額公費で負担

〔基本的方向性 5〕ふるさと教育の推進

◆歴史や伝統・文化等に関する教育の充実

・中学生の文化鑑賞の推進
オーケストラ鑑賞会、金沢素囃子鑑賞会、観能教室を開催

【基本方針 2】多様な教育的ニーズへの支援

〔基本的方向性 1〕いじめ・不登校等への対応

◆不登校児童生徒の教育機会の保障

改・学びの多様化学校で実施する教育課程の編成などの
開校準備に着手

改・校内教育支援センター支援員の資質向上のための研修を実施

〔基本的方向性 2〕特別支援教育等の充実

◆特別支援教育の推進

改・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒のための
教育支援ソフトを全小中学校に拡大
・読み書きが困難な児童生徒にＩＣＴを活用した読み書き
支援プログラムを実施

◆インクルーシブ教育の推進

改・特別支援教育支援員・サポーターや学校看護師の派遣を拡充

新・泊を伴う校外学習に対し看護師を派遣

〔基本的方向性 3〕教育相談・支援体制の充実

◆教育支援センターにおける支援体制の充実

・不登校児童生徒の社会的自立に向け、メタバースを活用した
オンライン支援を実施
・対人関係に課題のある児童生徒にコミュニケーションスキル
支援プログラムを実施

【基本方針 3】家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上

〔基本的方向性 1〕家庭・地域・学校等の連携の推進

◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進

・コミュニティ・スクールの推進
・地域学校協働活動の推進

〔基本的方向性 2〕家庭・地域における青少年教育の推進

◆健やかな子供を育むための家庭教育の推進

新・次期金沢市家庭教育推進プログラムの策定

◆子供の読書活動の推進

・金沢子ども読書推進プラン 2024 の実践

【基本方針 4】生涯にわたる学びの推進

〔基本的方向性 1〕主体的な学びの推進

◆自主的な学習及び読書活動の推進

改・玉川こども図書館で子育て世代が読書を楽しむための
託児サービス等を拡充して試行

〔基本的方向性 2〕協働による学びの推進

◆公民館等における持続可能な社会づくりに向けた学習の推進

改・市費負担主事補の配置基準の見直し

改・土地借上料助成の上限額の見直し

〔基本的方向性 3〕金沢の歴史・文化や個性を生かした学びの推進

◆伝統文化を未来へつなげる新たな文化創造のための学習の推進

・かなざわ市民アカデミーの開催

【基本方針 5】教育・学習環境の整備

〔基本的方向性 1〕教職員の資質・能力向上と働きやすい環境の確保

◆教職員が本務に専念するための時間の確保

改・教員業務補助職員を計画的に増員

◆教職員研修の充実

新・全教職員のデジタル力の向上をめざし、専門講師を派遣

新・校務効率化推進研修を実施

〔基本的方向性 2〕学校施設の整備

◆安全で快適な学習環境の確保

改・三馬小学校の移転新築に向けた実施設計に着手

新・小中学校等の体育館の熱中症対策と災害時の対応に
向けて、ＰＦＩ手法による空調設備整備の準備に着手
・小中学校の特別教室等への空調設備の整備を推進【最終補正】
・四十万・西小学校の長寿命化改良工事を推進

〔基本的方向性 3〕生涯学習環境の充実

◆生涯学習拠点施設の整備と機能充実

改・旧材木町小学校跡地の整備工事を実施

新・老朽化した学校施設開放用のキーボックスを計画的に更新

完・東浅川公民館の移転整備を完了

改・額公民館の建替えに向けた建設工事に着手

新・地区公民館新築時において防災備蓄倉庫の設置にかかる
経費を全額市が負担

改・キゴ山天文学習棟の展示リニューアルに向けた基本・
実施設計に着手

完・玉川図書館の建築的な価値の継承に向けた大規模改修工事
を完了

新・玉川図書館・城北分館に自動貸出サービスを導入

◆教育・文化施設を生かした学習の充実

新・「月の石」等の常設展示 1 周年記念講演会等を開催

教育総務課重点施策及び予算概要

〔１〕重点施策

『安全・安心な学校給食の提供』

1. 給食の栄養バランスを維持するため、国の交付金基準額を上回る食材費を全額公費で負担し、小学校給食費を無償化
2. 給食の栄養バランスを維持しつつ、保護者負担の軽減を図るため、中学校給食の食材費高騰分を引き続き全額公費で負担

〔２〕予算概要

教育総務課	4,770,695千円
1. 教室環境改善事業費	74,600千円
学習用端末の活用に対応した教室環境を整備するため、新J I S規格の児童生徒用机を計画的に導入	
2. 児童生徒就学奨励費	209,861千円
経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し学用品費等を支援 など	
3. へき地教育振興費	24,276千円
へき地学校通学児童のためスクールバス等を運行	
4. 私立学校振興費	26,925千円
5. 児童生徒医療援助費	1,550千円
6. 小学校給食費無償化対策費	311,000千円
小学校給食費を4月から無償化	
給食の栄養バランスを維持するため、国の給食費負担軽減交付金基準額を上回る食材費を全額公費で負担	
7. 小学校給食食材費	1,183,000千円
国の給食費負担軽減交付金基準に基づく食材費	
8. 中学校給食費物価高騰特別対策費	310,000千円
給食の栄養バランスを維持しつつ、保護者負担の軽減を図るため、食材費高騰分を引き続き全額公費で負担	
9. 中学校給食食材費	638,000千円
保護者が給食費として負担する食材費	
10. 学校給食援助費	81,000千円
準要保護世帯の中学校給食費の負担を軽減	
11. 給食施設整備費	209,846千円
調理場や配送校の施設・設備を整備	
12. その他	
職員費、一般経費等	

教育施設課重点施策及び予算概要

〔１〕重点施策

『安全で快適な学習環境の確保』

1. 三馬小学校の移転新築に向けた実施設計に着手
2. 小中学校等の体育館の熱中症対策と災害時の対応に向けて、
P F I 手法による空調設備整備の準備に着手
3. 小中学校の特別教室等への空調設備の整備を推進
4. 四十万・西小学校の長寿命化改良工事を推進

〔２〕予算概要

教育施設課

4, 273, 972千円

1. 三馬小学校建設事業費
移転新築に向けた実施設計に着手 145, 000千円
用地を買戻し 714, 000千円
2. 学校屋内運動場等空調設備整備事業費 35, 000千円
小中学校等の体育館の熱中症対策と災害時の対応に向けて、
P F I 手法による空調設備整備の準備に着手
3. 小中学校特別教室等空調設備整備事業費（令和 7 年度からの繰越を含む）2, 745, 334千円
小中学校の特別教室等への空調設備の計画的な整備を推進
4. 学校安全管理総合対策費 14, 280千円
児童生徒の安全確保対策を実施
学校行事における巡回警備の実施、門扉・フェンス補修など
5. 子どもの安全を守る地域ボランティア活動推進費 980千円
地域全体で子どもの安全を守るボランティアへの支援
[債務負担2, 782, 000千円]
6. 小学校長寿命化改良事業費 214, 500千円
小学校の長寿命化を図るため、大規模な校舎等改良工事を推進
対象校 四十万小学校、西小学校
[債務負担6, 900千円]
7. 小中学校施設改良費（令和 7 年度からの繰越を含む）1, 303, 019千円
校舎、体育館、プール改良など
8. 公共施設災害復旧費 125, 959千円
地震により被災した西小学校プールの整備工事を完了
9. その他
職員費、一般経費等

学校職員課重点施策と予算概要

〔１〕重点施策

『学校職員の配置・人材確保・育成と働く環境の整備』

教職員が本務に専念するための時間の確保に向け、業務量管理・健康確保措置実施計画を着実に推進し、教職員が心身ともに健康で働くことができる環境づくりを促進するとともに、子供達と向き合う時間や学習指導・生活指導の一層の充実を図る。

１．学校司書の増員

計画的に学校司書を増員し専任配置化を進めることで、学校図書館環境を充実させ、図書館の授業での活用促進、読書活動の向上、授業準備にかかる教員の負担軽減を図る。

２．コミュニティ・スクールの推進

令和６年度開催した全国コミュニティ・スクール研究大会を契機に、「地域とともにある学校づくり」をより一層進めるため、コミュニティ・スクールの取組を推進する。

３．小中学校スクール・サポート・スタッフの配置

教員の多様な業務を支援する教員業務補助職員を計画的に増員するとともに、学校サポーターを全小中学校に配置し、教員の負担軽減を図る。

〔２〕予算概要

学校職員課 1,897,832千円

- | | |
|--|-----------|
| １．小中学校司書配置費 | 222,299千円 |
| 司書５６名を配置（小学校への計画的な専任配置を推進） | |
| ２．コミュニティ・スクール推進費 | 18,269千円 |
| 小学校５２校、中学校２１校で実施（小中併設校３校は小学校でカウント） | |
| ３．小中学校スクール・サポート・スタッフ職員費 | 196,528千円 |
| 教職員の負担を軽減するため、教員業務補助職員を計画的に増員 | |
| ４．保健室機能サポートモデル事業費 | 6,600千円 |
| 児童生徒の健康保持増進のため、保健室機能をサポートする補助員をモデル派遣 | |
| ５．小中学校事務補助職員費 | 143,505千円 |
| 教職員が本務に専念する時間を確保するため、学校事務補助職員を配置 | |
| ６．英語教育関係職員費 | 190,651千円 |
| 外国語指導助手１３名、小学校英語インストラクター４７名を配置 | |
| ７．市立工業高等学校教員採用事務費 | 3,266千円 |
| 優秀な人材確保のため教員採用選考試験を金沢市独自に実施 | |
| ８．教職員健康診断、教職員健康相談費 | 14,100千円 |
| 教職員の定期健康診断及びストレスチェックを実施、こころの健康相談窓口を設置
長時間勤務教職員の医師による面接指導を実施 | |
| ９．統合型校務支援システム運用費 | 35,213千円 |
| 児童生徒の成績処理や出欠管理、教職員の勤務状況等、教職員の業務を一括管理
する統合型校務支援システムを導入 | |

学校指導課重点施策及び予算概要

〔１〕重点施策

「新金沢型学校教育モデル」に基づく教育活動の展開

１．新金沢型学校教育モデルの実践

新しい時代が求める自学・共創の学びを通して、「デジタル力」「読解力」「コミュニケーション力」の３つの力を基盤に、児童生徒が新しい価値や最適解を見出す「創造力」を育む新金沢型学校教育モデルを実践する。

- (1) 金沢市立小中学校において、金沢探究スタイルの実践研究を通して、児童生徒に必要な資質・能力を育成するとともに学校の組織力や教員の指導力向上を図る。
- (2) 金沢の持つ伝統文化や自然、歴史など多様な素材や人材を活用した「金沢ふるさと学習」を推進し、金沢に愛着と誇りを持ち、まちづくりの担い手を育むことをめざす。
- (3) 金沢「創造」プロジェクトでは、よりよい中学校区を目指し、中学校区別「創造」会議において、児童会生徒会が中心となって、児童生徒が主体的に取組を考え、実行する。
- (4) 全教員が新金沢型学校教育モデルに基づく学習活動を理解・実践できる環境整備のため、金沢探究スタイルガイドブック等を活用する。

２．中学生の文化鑑賞の推進

次世代の金沢の文化を担う中学生が、金沢の伝統文化を学ぶとともに、生の芸術を鑑賞することで、生徒への情操教育を育み、金沢の伝統文化に対する理解を深める機会を創出する。

３．特色ある学校づくりの推進

教職員を対象とした危機管理能力向上講習会を開催し、学校の防災・危機管理体制のさらなる強化を図るほか、学校運営充実やコミュニティ・スクール等の教育活動を展開する。

また、気候変動等の影響による熱中症リスクや教員の負担軽減、各学校のプール施設の老朽化を踏まえ、今後の水泳授業のあり方を検討する。

４．部活動への支援

スポーツ・文化活動を通して、豊かな人間性と健全な身体形成を図るため、部活動に使用する大型備品の整備や大会への参加支援のほか、部活動指導員の配置及び外部指導者の派遣などにより中学校の部活動を支援する。

５．いじめ・不登校・問題行動への対応

「金沢市いじめ防止等対策委員会」と「金沢市いじめ問題対策連絡協議会」の開催に加えて、WEBＱＵアンケートを実施するほか、生徒指導支援室に専任の指導主事や危機管理アドバイザーを配置するなど、いじめ問題等の未然防止と早期解決のためのサポート体制を強化する。

また、不登校児童生徒への支援体制強化に向けた学びの多様化学校の開校をめざし、学びの多様化学校開設準備室を設置するとともに、基本構想に基づき、教育課程の編成等の開校準備にあたるほか、不登校対策の強化として、児童生徒の気持ちや体調を１人１台端末で確認できる心の健康観察を実施する。

6. 情報教育の推進

学校における通信環境調査等の結果を踏まえ、通信ネットワーク環境の改善を実施するとともに、各教室の大型ディスプレイを更新することにより、GIGAスクール環境の充実を図る。

7. 学校事務デジタル化の推進

教員の負担軽減を図るため、教員と保護者との迅速な情報共有を図る連絡システムや、中学校での採点事務の効率性を図る採点支援システムを運用する。

〔2〕 予算概要

学校指導課

2,106,884千円

1. 新金沢型学校教育モデルの実践 28,690千円
 - (1) 金沢ベーシックカリキュラム
 - (2) 金沢探究スタイル
 - (3) 金沢リフレクション
 - (4) 金沢独自の小中一貫教育
2. 中学生の文化鑑賞の推進 34,760千円

中学生が生徒の芸術を鑑賞することで、金沢の伝統文化に対する理解を深める機会を創出
3. 特色ある学校づくりの推進 12,620千円
 - (1) 学びのステップを大切に「学校運営充実」の実施
 - (2) 地域・PTAと連携した防災教育の実施
 - (3) 教職員の危機管理体制強化
 - (4) 今後の水泳授業のあり方を検討
4. 中学校部活動への支援 26,516千円
 - (1) 大型備品の整備
 - (2) 県大会以上の大会（金沢教育事務所管内で開催される大会を除く。）への参加を支援
 - (3) 部活動指導員の配置及び外部指導者の派遣
5. 開かれた学校づくりの推進 5,770千円
 - (1) 「スクールサポーター」活用の充実
 - (2) 「全市一斉学校公開週間」の実施
 - (3) 「スクールフォーラム21」の開催
6. 心の教育、人権・同和教育の推進 1,400千円

教職員対象研修の実施・同和教育団体への支援
7. いじめ・不登校・問題行動への対応 209,686千円
 - (1) 「金沢市いじめ防止等対策委員会」・「金沢市いじめ問題対策連絡協議会」の開催
 - (2) 「WEBQアンケート」の実施
 - (3) 生徒指導支援室に専任の指導主事及び危機管理アドバイザーを配置
 - (4) ネットいじめ防止講演会・教職員の法的対応力向上連絡会の開催
 - (5) 校内教育支援センター支援員・心の絆サポーターの派遣
 - (6) 学びの多様化学校の開校に向けた準備
 - (7) 不登校対策の強化
8. 情報教育の推進 978,295千円

1人1台端末の活用及び情報活用能力の育成	
9. 学校図書館の充実	71,878千円
図書更新計画(令和5年度～令和9年度)に基づく図書や学校図書管理システムの整備	
10. 小中一貫英語教育の推進	5,590千円
市独自の英語科副読本の活用	
11. 理科教育の振興	75,142千円
(1) 金沢子ども科学財団の運営	
(2) 理科教育機器等の整備	
12. へき地教育の充実	370千円
小規模の複式学級における教育の研究及び他校との交流事業を実施	
13. 理科学・文化活動・英語教育振興に関する表彰	2,100千円
高峰賞・岡文化賞・宮村英語奨励賞の開催	
14. 健康教育の推進	170,199千円
(1) 金沢市健康教育推進プラン2024の実践	
(2) 児童生徒健康診断・各種検査の実施	
15. 学校事務デジタル化の推進	9,195千円
教員の負担軽減を図るため、保護者連絡システムや中学校での採点支援システムを運用	
16. その他	
(1) 芸術・文化活動の充実	
(2) 教科用教材の整備・放送設備等大型教材の更新	
(3) 事務一般経費等	

市立工業高等学校重点施策及び予算概要

〔１〕重点施策

『ものづくり教育コンソーシアム』の具現化

技術革新の動向や産業のグローバル化等の社会ニーズの把握、産業界や大学等との連携によるものづくり教育の推進のために設立したコンソーシアムの枠組みを活用し、双方向の具体的な連携・協働事業を実施する。

新たな『金沢型工業教育モデル』の策定

学校教育をとりまく情勢が日々変化し、保護者のニーズが多様化する中、本校にあっては、一定数以上の入学志願者を確保しつつ、ものづくりの感性と技術の基礎・基本と社会人として必要な人間力を身につけた創造性豊かな人材の育成を目指すとともに、新学習指導要領やＡＩ社会に即応できる人材育成のために構築した金沢型工業教育モデルを実践している。

並行して、令和３年度に策定した現行モデルの実践開始から５年が経過したことに加え、現在策定が進められている次期学習指導要領の産業教育WGにおける議論や急速な技術革新をはじめとする社会環境の変化、「金沢市教育新興基本計画」の要旨を取り入れた、時代に即応する「新たな金沢型工業教育モデル」を策定する。

〔２〕予算概要

市立工業高等学校

912,265千円

- | | |
|--|----------|
| １．金沢型工業教育モデル実践費 | 6,450千円 |
| 「ものづくり」の感性と技術の基礎・基本と人間力を身につけた創造性豊かな人材を育成 | |
| ２．教材整備費 | 42,112千円 |
| 産業教育備品・教材等の充実、実習材料費等 | |
| 技能検定受検対策やものづくりコンテスト対策による技能向上 | |
| ３．情報技術推進費 | 60,129千円 |
| 高度情報通信体系に対応した情報教育を推進 | |
| ４．技術体験学習費 | 4,340千円 |
| 産学連携によるものづくりに挑戦し、また職人大学校等との連携による体験学習を実施 | |
| ５．姉妹校等交流費 | 550千円 |
| 全州工業高等学校訪問団の受入れを実施 | |
| ６．その他 | |
| 職員費、一般管理費、管理運営費、施設整備費等 | |

生涯学習課重点施策及び予算概要

〔１〕重点施策

『金沢市教育振興基本計画』の推進 ～家庭教育の充実と生涯学習環境の整備～

新しい時代に求められる、自ら主体的に学び、他者と協働し新たな価値を共に創り出す学びを推進するため、令和７年度に策定した「金沢市教育振興基本計画」の普及促進に努めるとともに、学校・家庭・地域の連携・協働の強化や、誰もが学びやすい生涯学習の実現に向けた施策等に取り組む。

また、地区公民館の公民館運営に対する支援の充実を図るとともに、家庭教育の推進を図る具体的施策を体系化した次期「家庭教育推進プログラム」を策定し、すべての市民が生涯にわたり学び続け、活躍できる環境づくりに取り組む。

<主な施策内容>

1. 身近な地域から金沢SDGsを推進するため、地域住民がSDGsについて学び合う活動を支援する。
2. 多様な学習ニーズに対応するため、地域の生涯学習活動を目的としたバスの利用を支援する。
3. 対面とオンラインを併用したかなざわ市民アカデミーや高砂大学校・大学院の事業など、学習機会の充実と内容の充実を図る。
4. 家庭と地域の教育力の向上をめざし、より多くの保護者に学習の機会を提供するため、「親の学び場」や講演会等を開催する。
5. 家庭教育に関する指針をはじめとした家庭教育に役立つ情報等を提供する。
6. 地域ぐるみで家庭教育を支援するため、「地域学校協働活動事業」を推進するなど、地域・家庭・学校の協働による連携体制を構築する。
7. 生涯学習環境の充実を図るため、東浅川公民館の移転を完了して供用を開始するほか、額公民館・額市民センターの建設工事に着手する。
8. 「金沢市宇宙教育推進計画２０２１」の具現化を図るため、キゴ山ふれあい研修センター天文学習棟の展示リニューアルに着手するほか、宇宙や天文学等の専門家による各種事業や小・中学校での出前授業などの実施及び「月の石」等展示を通じ、広い視野で物事をとらえ、子どもたちの探究心と想像力を育む。
9. キゴ山の森林における生物多様性の保全に努めるとともに、豊かな自然環境を教育資源とした里山教育・里山交流の推進に取り組む。

〔２〕 予算概要

生涯学習課	1,922,182千円
1. 生涯学習指導費	14,930千円
生涯学習団体バス助成事業費 等	
2. 学校施設開放費	194,630千円
3. 成人教育費	12,750千円
地域SDGs学級費、二十歳のつどい費、かなざわ市民アカデミー開催費 等	
4. 女性教育費	5,383千円
校下婦人会連絡協議会補助	
5. 家庭教育費	27,935千円
家庭版「親の学び場」開催費、地域連携家庭教育支援費 等	
6. PTA活動振興費	2,070千円
7. その他職員費等	91,896千円
8. 中央公民館費	157,184千円
高砂大学校・大学院の開設、公民館フェア開催 等	
9. 地区公民館費	1,118,899千円
地区公民館管理運営委託、地区公民館施設整備費、 地区公民館働きやすい職場づくり推進事業費 等	
10. キゴ山ふれあい研修センター費	296,505千円
宇宙教育推進事業、「月の石」等常設展示事業、 天文学習棟展示リニューアル事業、キゴ山賑わいイベント開催、 里山教育推進事業、生物多様性の森整備事業 等	

図書館重点施策及び予算概要

〔１〕重点施策

図書館機能の充実

生涯学習の推進や交流機能の充実、課題解決の支援などの場としての「知の交流拠点」を目指した図書館機能の充実を図るため、目標の実現に向け、以下の方針に基づいた各種事業を実施する。

- | | |
|-------------|------------|
| １．図書資料の充実 | ６．市民協働の推進 |
| ２．保存機能の充実 | ７．連携促進 |
| ３．館内サービスの充実 | ８．交流促進 |
| ４．館外サービスの拡大 | ９．課題解決への貢献 |
| ５．使える場づくり | １０．職員の資質向上 |

〔２〕予算概要

＜玉川図書館建築レガシー継承事業費＞ 1,408,435 千円

１．玉川図書館改修工事(現代建築レガシー継承)事業費 1,408,435 千円

＜玉川図書館＞ 438,263 千円

１．図書等資料購入費 29,962 千円

２．普及活動費 6,211 千円

自動車文庫活動費、読書会活動費、１週１冊読書運動推進事業

石川県中央都市圏公共図書館連携事業、近世史料館普及活動事業等

３．図書館ボランティア推進事業費 63 千円

市民との協働による図書館運営を推進

４．特殊資料保存整備費 16,860 千円

近世史料活用懇話会の開催、古文書、絵図・地図の補修、

歴史文書整理事業等

５．施設整備費 900 千円

経常的修繕

６．その他 384,267 千円

職員費、管理運営費、電算オンライン業務費、

市立図書館人材育成事業費、電子図書館事業費、臨時まちなか図書室開設費等

＜泉野図書館＞ 329,026 千円

１．図書等資料購入費 37,020 千円

２．図書館普及活動費 1,940 千円

いいね図書館魅力アップ事業、個性発揮事業、子ども読書推進事業等

３．障害者サービス推進費 1,426 千円

対面朗読サービスやパソコンネットワークを活用した点字・録音図書の整備

4. 図書館ボランティア推進事業費	590 千円
図書等の整理、自主事業の運営企画等にボランティアを導入	
5. その他	288,050 千円
職員費、管理運営費、国連寄託図書館管理運営費	

＜玉川こども図書館＞ **162,936 千円**

1. 図書等資料購入費	7,780 千円
2. 普及活動費	7,370 千円
3. はじめまして絵本事業費	4,470 千円
3 か月児健康診査時に絵本の読み聞かせをして絵本を手渡すとともに、 図書館で乳幼児期から親子で絵本を楽しむ講座を開催	
4. 学校図書館支援費	2,550 千円
学校団体貸出用図書の購入、搬送・回収等	
5. 子ども読書ボランティア育成事業費	500 千円
6. その他	140,266 千円
職員費、管理運営費	

＜金沢海みらい図書館＞ **292,624 千円**

1. 図書等資料購入費	34,120 千円
2. 普及活動費	2,136 千円
いいね図書館魅力アップ事業、大学協働事業、個性発揮事業、 海みらい普及活動事業、地域を学ぶ事業、子ども読書推進事業等	
3. 図書館ボランティア推進事業費	290 千円
市民との協働による図書館運営を推進	
4. 姉妹都市図書館との交流事業費	180 千円
全州市及び蘇州市図書館との図書交換・文化交流	
5. その他	255,898 千円
職員費、管理運営費、施設補修費	

教育プラザ重点施策及び予算概要

〔１〕重点施策

教職員研修・教育相談・特別支援教育の充実

１．デジタル力向上に向けた教職員研修の実施

金沢型学校教育モデルの実現に向けた子ども一人一人の視点にたった教師の授業改善に学校全体で取り組むとともに、働き方改革に向けデジタルを活用した校務の効率化への研修の充実を図る

２．学校における安全安心な医療的ケア実施体制の推進

学校行事への参加を支援する特別支援教育サポーターを拡充するほか、合宿等宿泊を伴う郊外学習に対し、看護師を派遣する体制を構築する。

〔２〕予算概要

教育プラザ（教育委員会所管 863,367千円　こども未来局所管 2,192,359千円）　3,055,726千円

【教育委員会所管】

１．教職員のデジタル力向上研修事業

1,700千円

時代に適応したデジタル力を高め、教職員の働き方改革を進めるため、教職員を対象としたデジタル研修を計画的に実施

２．教職員指導研修強化費

14,330千円

若手教員の指導力育成や学習指導要領に対応するため、退職教員を指導員として配置し研修を強化

３．教職員研修費

8,055千円

教育を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、デジタル技術を活用した研修など、新たなニーズに応じた実践的な教職員研修を実施

４．オンライン不登校支援推進費

5,497千円

不登校児童生徒の社会的自立に向け、メタバースを活用したオンライン支援体制を構築

５．教育相談事業費

3,960千円

就学相談、面接相談、電話相談などの様々な相談業務について相談員を配置
医師、大学教授等の専門家による相談を実施

６．不登校児童生徒教育支援センター運営費

28,343千円

個別カウンセリングや集団活動等により不登校児童生徒の社会的自立を支援

７．石川中央都市圏教育支援センター連絡会設置費

80千円

石川県中央都市圏の各市町が連携し、
教育支援センター等の相談・指導方法について研究

８．発達障害支援費

3,760千円

発達障害支援相談員などによる継続した相談を実施

- | | |
|---|-----------|
| 9. 「特別支援教育」支援ソフト運用費 | 16,000千円 |
| 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒一人一人の教育ニーズを把握し、個々に応じたサポートができる「特別支援教育」支援ソフトを全小中学校に導入 | |
| 10. ICTを活用した読み書き支援プログラム実践費 | 500千円 |
| 読み書きに困難を抱える児童生徒が、ICTを活用したプログラムを実践 | |
| 11. コミュニケーションスキル支援プログラム実践費 | 1,000千円 |
| 金沢大学と連携し、不登校や不適応に対応する友達づくりを学ぶプログラム「PEERS」の実施 | |
| 12. 特別支援教育充実費 | 310,091千円 |
| 特別支援学級や通常学級において特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に対し、支援員を派遣 | |
| 13. 小中学校医療的ケア推進費 | 40,937千円 |
| 日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒を支援するため、小中学校のほか、泊を伴う郊外学習に看護師を派遣 | |
| 14. 特別支援教育実践拠点校指定費 | 700千円 |
| 中央小学校芳斎分校及び長町中学校芳斎分校を「特別支援教育実践拠点校」に指定し、教員の専門性向上や効果的な指導方法の研究を推進 | |
| 15. 不登校民間支援団体等連携推進費 | 380千円 |
| 不登校児童生徒を支援する民間団体等との連携を推進するため連絡会を開催
体験機会を創出し、不登校支援リーフレットにより児童生徒に向けて普及啓発 | |
| 16. 金沢こども広場事業費 | 6,085千円 |
| 乳幼児とその保護者につどいの場を提供し、子育て相談会や講習会を開催 | |
| 17. 管理運営費 | 30,160千円 |
| 金沢市教育プラザ運営委員会開催費や建物・設備の維持管理費等 | |

【こども未来局所管】

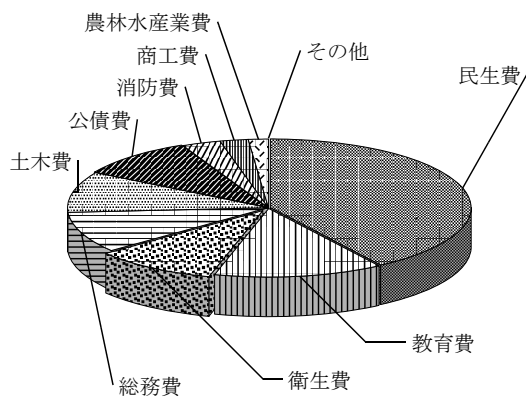
- | | |
|--|----------|
| 1. 補導員費 | 11,482千円 |
| 補導部門に要する経費 | |
| 2. 長土堀青少年交流センター費 | 39,880千円 |
| かなざわユースプロジェクト、長土堀フェスティバル開催、
かなざわユースセンター事業等 | |
| 3. 青少年対策費 | 8,260千円 |
| 青少年健全育成推進費、ジュニアかなざわオンライン検定開催、
次世代リーダー育成事業等 | |
| 4. 少年教育費 | 19,665千円 |
| 元気いっぱい子どもコミュニティ推進事業、甥杉少年の森維持管理、
金沢ふるさと体験学習推進事業等 | |
| 5. 青年教育費 | 1,720千円 |
| かなざわ野外活動リーダー育成費、各種青年団体助成 | |

6. 青少年育成費 5,336千円
金沢少年の翼国内派遣研修、小さな親切実践者表彰、善行児童・生徒表彰式等
7. 土子原こども野外広場管理費 1,100千円
8. 児童虐待防止対策推進事業費 400千円
児童虐待防止に向けた市民意識を高めるため、市民グループとの協働で活動の和を広げるほか、児童虐待防止のシンボルである「オレンジリボン」の啓発活動を実施
9. 児童相談体制強化事業費 4,535千円
児童相談所と関係機関等との連携により相談体制を強化
10. 保護児童自立支援事業費 5,460千円
児童福祉施設や里親に措置された児童等に対する支援
11. 児童保護措置費 1,167,600千円
児童福祉施設等への入所に対する措置費
12. 一時保護所運営費 33,944千円
児童の緊急保護、行動観察等のための一時保護を行う一時保護所を運営
13. 統合保育相談事業費 5,360千円
統合保育巡回指導員の派遣、統合保育担当者研修会、保護者研修会の開催等
14. 幼児相談室運営費 2,079千円
富樫、此花、駅西の3か所で幼児の発達に関する相談を実施
15. 医療的ケア児保育施設等受入支援費 420千円
医療的ケア児の保育施設等における受入れを支援
16. インクルーシブ保育支援体制検討費 700千円
様々な困難を持つ児童の保育施設受入れにかかる今後の支援のあり方について検討を行う
17. 幼児教育推進費 13,298千円
大学や施設等と連携し、幼児教育・保育関係職員向け研修や幼保小の接続強化など
幼児教育に関する研究を実施
18. こどもアート工房みたに管理運営費 16,500千円
こどもの情操教育を通じて感性及び創造性の豊かなこどもの成長につなげる
「こどもアート工房みたに」を管理運営

Ⅱ. 教育財政

〔１〕令和８年度予算

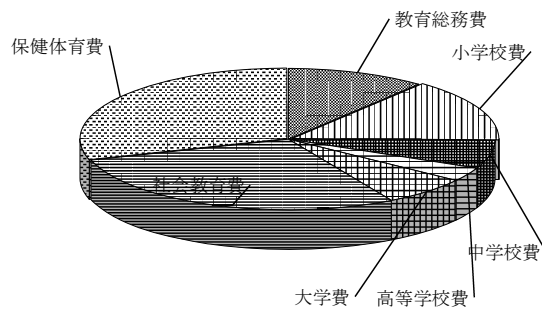
１. 一般会計予算と教育費（歳出－当初予算）



	予 算 額	比 率
民 生 費	83,390,162 千円	40.1 %
教 育 費	27,798,634	13.4
衛 生 費	20,389,753	9.8
総 務 費	19,729,392	9.5
土 木 費	19,648,228	9.5
公 債 費	19,356,743	9.3
消 防 費	6,416,670	3.1
商 工 費	4,627,694	2.2
農林水産業費	3,279,651	1.6
そ の 他	3,163,073	1.5
合 計	207,800,000	100.0

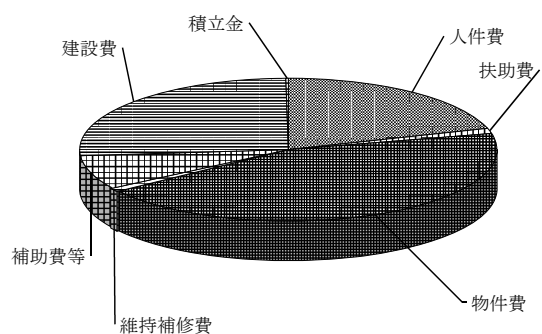
２. 教育費内訳

(1) 項別内訳



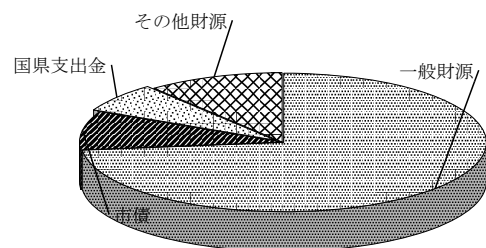
	予 算 額	比 率
教育総務費	3,154,206 千円	11.3 %
小 学 校 費	4,192,624	15.1
中 学 校 費	1,869,430	6.7
高等学校費	937,265	3.4
大 学 費	1,956,891	7.0
社会教育費	8,276,122	29.8
保健体育費	7,412,096	26.7
教育費 計	27,798,634	100.0

(2) 性質別内訳



	予 算 額	比 率
人 件 費	5,610,759 千円	20.2 %
扶 助 費	319,750	1.1
物 件 費	12,165,508	43.8
維持補修費	233,656	0.8
補 助 費 等	2,138,049	7.7
建 設 費	7,275,612	26.2
積 立 金	55,300	0.2
教育費 計	27,798,634	100.0

(3) 財源内訳



	予 算 額	比 率
一 般 財 源	20,349,159 千円	73.2 %
市 債	2,509,100	9.0
国県支出金	1,911,838	6.9
その他財源	3,028,537	10.9
教育費 計	27,798,634	100.0

〔２〕教育費の推移

１．一般会計と教育費

年 度	一 般 会 計	教 育 費	対一般会計比率
令和２年度	174,150,000 千円	25,416,601 千円	14.6 %
令和３年度	178,210,000	29,949,137	16.8
令和４年度	180,610,000	31,682,512	17.5
令和５年度	181,950,000	23,539,113	12.9
令和６年度	190,400,000	26,225,377	13.8
令和７年度	204,900,000	27,831,685	13.6
令和８年度	207,800,000	27,798,634	13.4

２．教育費内訳

(1) 項別内訳

年度 項目	令和６年度予算額	令和７年度予算額	令和８年度予算額
教育総務費	2,825,923 千円	3,251,119 千円	3,154,206 千円
小学校費	4,615,228	3,059,085	4,192,624
中学校費	1,774,004	1,742,041	1,869,430
高等学校費	991,680	895,298	937,265
大学費	1,425,078	2,134,729	1,956,891
社会教育費	5,942,553	7,425,879	8,276,122
保健体育費	8,650,911	9,323,534	7,412,096
計	26,225,377	27,831,685	27,798,634

(2) 児童・生徒・学生一人当たりの経費

年度 項目		令和６年度	令和７年度	令和８年度
小学校費	予算額	4,615,228 千円	3,059,085 千円	4,192,624 千円
	児童数	21,860 人	21,269 人	20,501 人
	1人当たり経費	211,127 円	143,828 円	204,508 円
中学校費	予算額	1,774,004 千円	1,742,041 千円	1,869,430 千円
	生徒数	10,864 人	10,695 人	10,760 人
	1人当たり経費	163,292 円	162,884 円	173,739 円
高等学校費	予算額	991,680 千円	895,298 千円	937,265 千円
	生徒数	715 人	704 人	692 人
	1人当たり経費	1,386,965 円	1,271,730 円	1,354,429 円
大学費	予算額	1,425,078 千円	2,134,729 千円	1,956,891 千円
	学生数	738 人	749 人	729 人
	1人当たり経費	1,931,000 円	2,850,105 円	2,684,350 円

教育環境整備



移転新築する三馬小学校（完成予想図）

I. 事業概要

〔1〕学校施設

1. 小中学校の建設・改良

①三馬小学校建設事業費

三馬小学校の日本郵便金沢有松社宅跡地への移転新築に向けた実施設計に着手

②学校屋内運動場等空調設備整備事業費

小中学校等の体育館の熱中症対策と災害時の対応に向けて、P F I 手法による空調設備整備の準備に着手

③小中学校特別教室等空調設備整備事業費

小中学校の特別教室等への空調設備の計画的な整備を推進

(整備期間 令和7年度～令和9年度)

④小学校長寿命化改良事業費

小学校の長寿命化を図るため、大規模な校舎等改良工事を推進

(対象校 四十万小学校、西小学校)

2. 施設のバリアフリー対応

階段手摺やスロープを設置し、児童生徒にやさしい施設整備を実施

3. その他

校舎、体育館、運動場、プール等、安全でゆとりと潤いのある施設整備を実施

金沢市小学校通学区域図



〔２〕通学区域審議会

本市では、人口のドーナツ化や過疎化現象により、地域により児童生徒数に増減が生じ、教育環境のアンバランスが生じたため、昭和 48 年度に、条例により金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会を設置し、全市的な通学区域の適正化に取り組んでいる。

ア 設置年月

昭和 48 年 10 月（金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会設置条例）

イ 構成メンバー(任期 2 年)

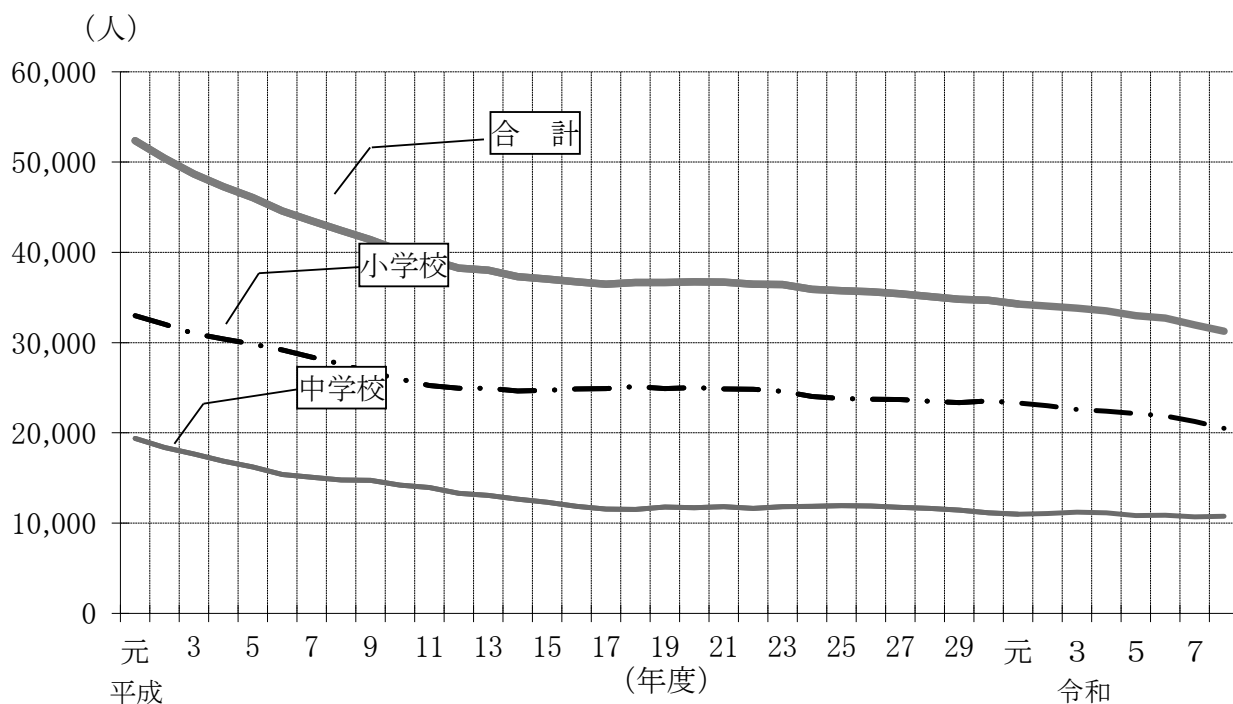
住民自治組織	2 人	小・中学校長	2 人	
教育関係団体	2 人	知識経験者	2 人	計 8 人

ウ 通学区域の基本方針

教育環境を考慮し、31 学級を超える場合は、学校の分離独立や通学区域の変更により、学校の適正規模化に努める。

また、1 学年 1 クラス以下の場合には、学校の統合や通学区域の変更により、学校の適正規模化に努める。

Ⅱ. 児童生徒数の推移



年度	(平成) 29	30	(令和) 元	2	3	4	5	6	7	8
小学校	23,354	23,540	23,292	23,007	22,582	22,396	22,147	21,860	21,269	20,501
中学校	11,451	11,141	10,994	11,047	11,232	11,129	10,829	10,864	10,695	10,760
計	34,805	34,681	34,286	34,054	33,814	33,525	32,976	32,724	31,964	31,261

(各年度5月1日現在)

Ⅲ. 金沢市内の学校教育施設

(令和8年5月1日現在)

区分	幼稚園		小学校			中学校				特別支援学校			高等学校						短期大学	大学 (大学院含む)		
										盲ろう学校	養護学校		全日制				定時制					
	国法	私立	国法	市立	私立	国法	県立	市立	私立	県立	国法	県立	国法	県立	市立	私立	県立	私立	国法	公法	私立	
学校(園)数	1	1	1	52(1)	1	1	2	24(1)	4	2	1	2	1	11	1	7	1	1	1	1	4	
学級数	4	9	20	881	6	12	12	380	24	25	9	129	9	225	18	186	19	-	-	-	-	
児童・生徒・ 学生数	71	122	561	20,501	140	473	370	10,760	633	52	59	540	357	8,646	692	6,381	459	206	11,337	729	9,095	
教職員数	9	50	29	1,392	15	25	32	763	145	64	35	233	22	633	68	636	48	33	2,570	75	636	

(注)・()は分校で外数

- ・国法は国立大学法人金沢大学が設置する附属学校等
- ・公法は公立大学法人金沢美術工芸大学
- ・大学の中には短期大学部を含む
- ・幼稚園の中には幼稚園型認定こども園を含まない

〔1〕小 学 校

番号	学 校 名	所 在 地	創 立 年 月	学 校 施 設												
				校 地 面 積 (㎡)					建 物 面 積 (㎡)							
				保 有 面 積				借用面積	校 舎				屋 体			
				建物敷地	運動場	その他	計		鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	木造	計
1	泉 知的	弥生1-26-1	H26. 4	12,319	7,468		19,787		6,668		21	6,689	1,473			1,473
	自閉・情緒 病弱															
3	中 村 知的	中村町26-12	S14. 4	6,588	6,494		13,082		4,929		38	4,967	1,593			1,593
	自閉・情緒															
	通級指導教室（日本語）															
4	十 一 知的	十一屋町3-45	M 9.11	5,974	4,308		10,282		6,546			6,546	1,301			1,301
	自閉・情緒															
5	泉 知的	野緑が丘4-64	S34. 4	9,807	7,986		17,793		6,131			6,131	1,665			1,665
	自閉・情緒															
6	犀 知的	桜菊川1-2-15	H31. 4	5,881	3,115		8,996		5,813			5,813	1,202			1,202
	自閉・情緒															
	通級指導教室（言語障害）															
	通級指導教室（LD・ADHD）															
8	小 立 知的	野小立野4-7-7	S34. 4	16,270	7,460		23,730		5,074		1,054	6,128	1,421			1,421
	自閉・情緒															
	病弱（院内）															
10	兼 六 知的	小得町1-15	H28. 4	5,512	6,722	3,857	16,091		6,266			6,266	2,295			2,295
	自閉・情緒															
	肢体															
	通級指導教室（言語障害）															
11	中 通級指導教室（言語障害）	央玉川町2-1	S62. 4	3,904	3,964		7,868		6,805			6,805	769			769
	通級指導教室（LD・ADHD）															
11	芳 薺 分 校 知的	芳薺2-3-8	S62. 4	5,376	2,127		7,503		2,325			2,325	616			616
	自閉・情緒															
12	長 田 知的	町長田1-5-40	S 6. 6	4,989	7,526		12,515		5,278			5,278	1,010			1,010
	自閉・情緒															
13	明 知的	成瓢箪町5-48	H 7. 4	4,565	3,754		8,319		5,306			5,306	1,232			1,232
	自閉・情緒															
	通級指導教室（言語障害）															
	通級指導教室（難聴）															
14	諸 江 知的	町北安江2-25-1	M 6. 8	8,972	7,519		16,491		7,473	17		7,490	1,567			1,567
	自閉・情緒															
16	森 山 知的	町森山2-13-50	M13. 1	5,455	6,587		12,042		5,451			5,451	1,417			1,417
	自閉・情緒															
	肢体															
17	浅 野 知的	町京町35-1	S14. 4	6,000	3,731		9,731		3,868		46	3,914	907			907
	自閉・情緒															
	肢体															
18	小 知的	坂小坂町中142	M 5.10	3,339	4,733		8,072	5,217	5,660	92	15	5,767	1,540	76		1,616
	自閉・情緒															
19	千 知的	坂千木1-125	S28.11	8,243	8,347	1,421	18,011		6,038	26		6,064	1,619			1,619
	自閉・情緒															
	通級指導教室（言語障害）															
	通級指導教室（LD・ADHD）															
20	夕 日 寺 知的	寺東長江町に17	M30. 3	9,572	8,880		18,452		5,262			5,262	1,263			1,263
	自閉・情緒															
21	大 知的	浦大浦町又87	M 9. 6	7,527	11,589		19,116		5,332	26		5,358	1,536	34		1,570
	自閉・情緒															
22	浅 野 知的	川須崎町チ42	M 8. 5	7,326	7,950		15,276		4,156	26		4,182	1,621	28		1,649
	自閉・情緒															
	難聴															
23	鞍 月 知的	月南新保町リ27-1	M 7. 1	11,852	8,414	682	20,948		5,892	174		6,066	1,563	37		1,600
	自閉・情緒															
24	栗 崎 知的	崎栗崎町へ78	M 5.11	8,069	7,830	9,177	25,076		5,088	28		5,116	692	38		730
	自閉・情緒															
25	大 野 知的	町大野町1-15	M 6.11	6,260	5,545		11,805		2,827	59		2,886	600	98		698
	自閉・情緒															
26	金 石 知的	町金石北4-1-1	M 3. 3	14,494	13,131		27,625		5,614		78	5,692	1,667			1,667
	自閉・情緒															
27	大 徳 知的	徳松村6-200	M 6. 2	13,889	11,638		25,527		7,405			7,405	1,330			1,330
	自閉・情緒															
	通級指導教室（言語障害）															

プール	児 童 数 (人)			学級数	教 職 員 数 (人)														市 費 校舎管 理員等	合 計
	男子	女子	合計		校長	教頭	主幹 教諭	指導 教諭	教諭	県 欠 員 講師等	費 養護 教諭	欠員 養教	栄養 教諭	欠員 栄養	事務 職員	欠員 事務				
○	300	265	565	19	1	1	1		28	2	1				1			35		
	1	2	3	1																
	11	2	13	2																
		1	1	1																
○	116	122	238	11	1	1			21		1				1			25		
	3	2	5	1																
	3	3	6	1																
○	107	115	222	11	1	1			16	3	1				1			23		
	3	1	4	1																
	8	2	10	2																
○	201	241	442	17	1	1	1		21	3	1		2		1		1	32		
	2	1	3	1																
	3	1	4	1																
○	155	157	312	12	1	1			20	2	1				1			26		
	5	1	6	1																
	5	1	6	1																
○	238	234	472	16	1	1	1		23	1	1		2		1			31		
	4	1	5	1																
	4	1	5	1																
	4	1	5	1																
○	186	163	349	12	1	1			20	2	1				1			26		
	4	5	9	2																
	6		6	1																
		1	1	1																
○	209	264	473	17	1	1			24		1		2		1			30		
○						1			8	3		1				1		14		
	29	11	40	6																
	12	5	17	3																
○	98	109	207	9	1	1			14	1	1				1			19		
	3		3	1																
	4		4	1																
○	137	112	249	10	1	1			16		1				1			20		
	1	1	2	1																
	5		5	1																
○	275	292	567	19	1	1	1		28		1				1		1	34		
	3	1	4	1																
	7	4	11	2																
○	156	181	337	12	1	1			17	1	1				1			22		
	2	2	4	1																
	5	3	8	1																
	2	2	4	1																
○	150	118	268	12	1	1			16	2	1				1			22		
	4		4	1																
	5	1	6	1																
		1	1	1																
○	279	259	538	18	1	1	1		29		1				1		1	35		
	6		6	1																
	12	5	17	3																
○	290	284	574	19	1	1	1		28	1	1				1		1	35		
	7	1	8	1																
	8	3	11	2																
○	109	97	206	9	1	1			13	1	1				1			18		
	2	1	3	1																
	3	1	4	1																
○	178	164	342	13	1	1			17	1	1				1			22		
	4		4	1																
	5	1	6	1																
○	156	163	319	13	1	1			19	1	1				1			24		
	4	3	7	1																
		1	1	1																
	1		1	1																
○	407	400	807	26	1	1	1		36	2	1	1	1		2			46		
	7	2	9	2																
	9	5	14	2																
○	154	150	304	12	1	1			17	1	1		1		1		1	24		
	2		2	1																
	5		5	1																
○	60	60	120	6	1	1			9	1	1				1			14		
	2		2	1																
	3		3	1																
○	120	133	253	10	1	1			16		1				1			20		
	4	1	5	1																
	2		2	1																
○	385	326	711	24	1	1	1		33	1	1	1	1		1		1	42		
	1		1	1																
	2	1	3	1																

番号	学 校 名	所 在 地	創 立 年 月	学 校 施 設												
				校 地 面 積 (㎡)				借用面積	建 物 面 積 (㎡)							
				保 有 面 積					校 舎				屋 体			
				建物敷地	運動場	その他	計		鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	木造	計
28	戸 知的 自閉・情緒	板 戸板1-1	M 4. 11	13,210	6,790		20,000		7,496			7,496	1,157			1,157
29	緑 知的 自閉・情緒	みどり1-166	S37. 4	8,502	12,750	393	21,645		6,683	177		6,860	1,059		66	1,125
30	押 知的 自閉・情緒 肢体	野 八日市1-176	M 6. 9	9,373	6,094		15,467		5,476			5,476	1,523			1,523
31	米 知的 自閉・情緒 肢体	丸 東力町ニ155	M 6. 4	8,184	7,070	649	15,903		6,719	338		7,057	1,500			1,500
32	三 知的 自閉・情緒	馬 久安6-154	M 7. 5	7,774	3,604		11,378		6,098	120		6,218	1,513			1,513
33	富 知的 自閉・情緒	樫 山科3-6-60	M 6. 9	6,224	2,734	20	8,978		4,987			4,987	645	114		759
34	額 知的 自閉・情緒 通級指導教室 (LD・ADHD)	額 乙丸町イ41	M 8. 7	6,294	9,270		15,564		5,682			5,682	1,373	34		1,407
35	内 知的 自閉・情緒	川 別所町井18	M 8. 4	5,501	5,840	4,938	16,279		1,830			1,830	825			825
36	犀 知的 自閉・情緒	川 末町2-148	M 7. 6	8,306	2,292		10,598		4,148	26	20	4,194	746			746
37	湯 知的 自閉・情緒	涌 涌涌荒屋町23	M 8. 5	6,685	3,522		10,207		2,020			2,020	825			825
39	田 知的 自閉・情緒	上 田上の里2-1	M 6. 4	6,573	8,865		15,438		5,718	313	23	6,054	787	13		800
41	医 王 知的 自閉・情緒	山 二俣町き21	M 6. 9	3,264	3,011	3,193	9,468	224	1,868	4		1,872	428			428
42	森 知的 自閉・情緒	本 南森本町イ111	M 6. 9	7,189	8,583		15,772		5,578			5,578	1,509			1,509
43	花 知的 自閉・情緒 肢体	園 今町ヌ34	M 9. 6	2,654	5,469	49	8,172	1,267	3,079		26	3,105	598	29		627
45	不 動 知的 自閉・情緒	寺 不動寺町イ33	M 6. 3	4,719	6,188	14,407	25,314		3,372	27		3,399	790			790
47	南 小 立 知的 自閉・情緒	野 涌波2-5-1	S47. 4	7,698	7,697	1,530	16,925		5,627	48		5,675	684	32		716
48	伏 見 知的 自閉・情緒	台 窪5-335	S49. 4	9,212	7,223	184	16,619		6,880	27		6,907	684	40		724
49	囀 知的 自閉・情緒 肢体 通級指導教室 (言語障害)	台 馬替1-34	S53. 4	7,765	9,935		17,700		6,239			6,239	1,486			1,486
50	木 曳 知的 自閉・情緒	野 木曳野1-1	S54. 4	7,165	11,157		18,322		5,598	26		5,624	1,580			1,580
51	三 知的 自閉・情緒 肢体	和 矢木1-74	S54. 4	9,169	7,514	989	17,672		5,465			5,465	1,646			1,646
52	長 坂 知的 自閉・情緒 肢体	台 長坂3-14-1	S56. 4	8,458	7,358	658	16,474		6,290	27		6,317	840			840
53	新 神 知的 自閉・情緒 肢体	田 新神田1-10-58	S56. 4	6,854	9,275	144	16,273		5,280	27		5,307	1,546			1,546
54	西 南 知的 自閉・情緒	部 八日市出町304	S58. 4	11,098	7,481		18,579		6,416	26		6,442	1,771			1,771
55	米 知的 自閉・情緒	泉 米泉町4-133-2	S58. 4	5,844	9,997		15,841		5,980	28		6,008	1,697			1,697
56	四 十 万 知的 自閉・情緒 肢体	万 四十万3-186	S58. 4	11,258	8,838		20,096	510	5,803	28		5,831	1,673			1,673
57	西 知的 自閉・情緒 肢体	駅 西新町3-15-1	S59. 4	6,073	8,532		14,605		4,118	26		4,144	1,719			1,719
58	安 知的 自閉・情緒	原 福増町北1087	S59. 4	11,421	10,943	365	22,729		5,229	26		5,255	1,568			1,568
59	杜 の 知的 自閉・情緒 通級指導教室 (日本語) 通級指導教室 (言語障害) 通級指導教室 (LD・ADHD)	里 若松町3-282	H19. 4	9,010	8,100		17,110		5,951	35		5,986	1,277			1,277

プール	児 童 数 (人)			学級数	教 職 員 数 (人)													市 費 校舎管 理員等	合 計
	男子	女子	合計		校長	教頭	主幹 教諭	指導 教諭	教諭	費					事務 職員	欠員 事務			
										県 欠 員 講師等	養護 教諭	欠員 養教	栄養 教諭	欠員 栄養					
○	358 7 5	376 3 2	734 10 7	24 2 1	1	1	1		33		1	1			2	1		41	
○	241 8 8	254 4 3	495 12 11	18 2 2	1	1	1		28	1	1		2			1		36	
○	193 10 16 1	202 4 2 2	395 14 2 3	14 2 3 1	1	1			24		1				1		1	29	
○	439 4 8 1	451 1 9 1	890 5 2 1	30 1 2 1	1	1	1		42	1	2				2		1	51	
○	260 2 5	241 4 1	501 6 5	18 1 1	1	1	1		24		1		1		1			30	
○	198 3 2	171 1 1	369 4 3	13 1 1	1	1			17		1				1			21	
○	207 2 5	217 1 1	424 3 6	15 1 1	1	1			25		1				1		1	30	
○	18 2	10 2	28 2	3 1		1			4									5	
○	101 2 4	92 2 4	193 2 1	9 1 1	1	1			13	1	1				1			18	
○	15 1	9 1	24 1	3 1		1			4									5	
○	101 1 3	97 1 1	198 1 3	8 1 1	1	1			11	1	1				1		1	17	
○	20 1	20 1	40 1	4 1		1			6									7	
○	255 2 6	259 1 4	514 3 10	18 1 2	1	1	1		28		1		1		1			34	
○	54 1 3 1	53 1 3 1	107 1 3 1	6 1 1 1	1	1			8	2	1				1			14	
○	36 1 1	42 2 1	78 3 1	6 1 1	1	1			9	1	1					1		14	
○	292 7 3	258 2 3	550 1 10	18 1 2	1	1	1		25		1					1		30	
○	311 3 10	298 2 4	609 5 14	20 1 2	1	1	1		29		1		1		1		1	36	
○	157 2 5 1	148 2 5 1	305 2 5 1	12 1 1 1	1	1			21	1	1				1		1	27	
○	320 6 7	337 3 1	657 9 8	22 2 1	1	1	1		30	1	1				1		1	37	
○	233 4 16 1	233 5 7 1	466 9 23 1	17 2 4 1	1	1	1		26	3	1				1		1	35	
○	216 2 5 1	208 5 3 1	424 7 8 1	16 1 1 1	1	1			22	1	1				1			27	
○	131 3 2 1	150 1 4 1	281 4 3 1	11 1 1 1	1	1			16	1	1				1		1	22	
○	256 8 9	259 5 2	515 13 11	18 2 2	1	1	1		26	1	1		2		1			34	
○	162 5 1	171 2 1	333 7 1	13 1 1	1	1			19		1		1		1			24	
○	221 3 1	237 2 1	458 5 1	17 1 1	1	1			23	2	1				1			29	
○	109 1 4 1	121 2 1	230 3 1	9 1 1	1	1			14	1	1				1			19	
○	141 2 4	113 2 2	254 2 6	10 1 1	1	1			14	1	1				1			19	
○	166 9 11	190 1 1	356 10 12	13 2 2	1	1			26		1				1			30	

番 号	学 校 名	所 在 地	創 立 年 月	学 校 施 設												
				校 地 面 積 (㎡)					建 物 面 積 (㎡)							
				保 有 面 積				借用面積	校 舎				屋 体			
				建物敷地	運動場	その他	計		鉄筋	鉄骨	木造	計	鉄筋	鉄骨	木造	計
61	朝霧 知的 自閉・情緒 肢体	田上本町4～28	R5.4	11,649	4,730		16,379		6,863	1,266		8,129	1,259			1,259
合 計				419,309	377,680	42,656	839,645	7,218	283,700	3,043	1,321	288,064	66,607	573	66	67,246

〔2〕中 学 校

番号	学 校 名	所 在 地	創 立 年 月	学 校 施 設												
				校 地 面 積 (㎡)				校 建 物 面 積 (㎡)								
				保 有 面 積		借用面積	校 舎				屋 体					
建物敷地	運動場	その他	計	鉄筋	鉄骨		木造	計	鉄筋	鉄骨	木造	計				
1	泉 知的 自閉・情緒 通級指導教室（日本語） 通級指導教室（LD・ADHD） 通級指導教室（難聴）	弥生1-26-1	S23. 4	23,093	10,467		33,560		6,613			6,613	1,941	267		2,208
2	野 知的 自閉・情緒	田若草町1-23	S24. 4	13,716	14,716		28,432		9,156	96	66	9,318	2,171			2,171
3	城 知的 自閉・情緒	城南1-24-1	S34. 4	5,362	14,731	2,096	22,189		5,766	34	76	5,876	2,024			2,024
4	紫 錦 知的 自閉・情緒 病弱（院内）	台飛梅町3-30	S23. 4	12,591	8,005	920	21,516		6,063	146	19	6,228	1,643	84		1,727
5	兼 知的 自閉・情緒	六田井町12-12	S23. 4	11,149	9,359		20,508		6,662	232		6,894	3,246			3,246
6	長 通級指導教室（LD・ADHD）	町長町1-10-35	R5. 4	7,936	5,200		13,136		7,819	84		7,903	2,611			2,611
6	芳 斎 分 校 知的 自閉・情緒	芳斉2-3-8	R5. 4						1,968			1,968				
7	高 知的 自閉・情緒	岡新神田1-10-1	S22. 4	15,646	27,944		43,590		9,547	76		9,623	2,462			2,462
8	鳴 知的 自閉・情緒 通級指導教室（言語障害）	和鳴和2-10-60	S22. 4	13,908	13,281		27,189		8,978	26	19	9,023	2,156			2,156
9	長 知的 自閉・情緒 肢体 通級指導教室（言語障害）	田二宮町1-1	S23. 4	11,150	13,770	1,368	26,288		7,775	47		7,822	2,157			2,157
10	浅 野 知的 自閉・情緒	川諸江町下丁388	S22. 5	6,146	13,307		19,453		8,390	263		8,653	2,093			2,093
11	金 知的 自閉・情緒	石金石東1-13-1	S22. 4	9,626	14,849		24,475		9,376	91		9,467	2,185			2,185
12	芝 自閉・情緒	原湯涌荒屋町23	S23. 4		4,333		4,333		1,937			1,937	497			497
13	西 南 知的 自閉・情緒	部新保本1-149	S40. 4	11,347	15,796		27,143		7,331	378	74	7,783	2,799			2,799
14	内 知的 自閉・情緒	川別所町井18	S22. 4	307			307		1,469			1,469	683			683
15	岸 知的 自閉・情緒	生末町10-4	S22. 4	8,944	12,217	17,220	38,381		4,221			4,221	1,419			1,419
16	医 王 自閉・情緒 肢体	山二俣町さ21	S22. 4		795	1,233	2,028		1,070			1,070	854			854
17	森 知的 自閉・情緒	本弥勒町ヨ22	S22. 4	9,249	15,141		24,390	824	7,326	28		7,354	2,126			2,126
18	額 知的 自閉・情緒 肢体	額乙丸町イ7	S46. 4	10,425	14,282		24,707		7,770	144	26	7,940	1,545	116		1,661
19	高 尾 知的 自閉・情緒	台高尾台1-128	S56. 4	12,330	15,065	490	27,885		9,196	20		9,216	1,922			1,922
20	緑 知的 自閉・情緒	みどり2-3	S57. 4	12,153	12,222		24,375		6,706	12		6,718	2,350			2,350
21	港 知的 自閉・情緒 肢体	近岡町217	S62. 4	11,058	12,769		23,827		6,701	53		6,754	1,951			1,951
22	北 知的 自閉・情緒	鳴小坂町北95	S63. 4	10,820	9,476		20,296	5,812	7,375			7,375	2,024			2,024
23	大 知的	徳観音堂町ト35	H 1. 4	12,772	12,965	275	26,012		7,385	15		7,400	2,038			2,038
24	清 知的 自閉・情緒	泉泉本町3-3	H 8. 4	7,181	10,127	289	17,597	12,880	7,677	77	16	7,770	2,264			2,264
合 計				236,909	280,817	23,891	541,617	19,516	164,277	1,822	296	166,395	47,161	467		47,628

	児 童 数 (人)			学級数	教 職 員 数 (人)														市 費 校舎管 理員等	合 計
プール	男子	女子	合計		校長	教頭	主幹 教諭	指導 教諭	教諭	県 費				事務 職員	欠員 事務					
										欠 員 講師等	養護 教諭	欠員 養教	栄養 教諭			欠員 栄養				
○	264	264	528	17	1	1	1		24	2	1		1		1			32		
	2	4	6	1																
	5	1	6	1																
		1	1	1																
	10,430	10,071	20,501	881	49	53	19		1,080	50	50	4	18		49	5	15	1,392		

プー ル	生 徒 数 (人)			学級数	教 職 員 数 (人)														市 費 校舎管 理員等	合 計
	男子	女子	合計		校長	教頭	主幹 教諭	指導 教諭	教諭等	県 費						事務 職員	欠員 事務			
										欠 員 講師等	養護 教諭	欠員 養教	栄養 教諭	欠員 栄養						
○	238 3 2	189 1 1	427 4 3	13 1 1	1	1	1		26	3	1				1			34		
○	292 2 5	318 2 3	610 4 8	18 1 1	1	1	1		29	4	1				1		1	39		
○	192 2 7	153 2 2	345 4 9	11 1 2	1	1			18	5		1			1			27		
○	209 4 6	227 1 3	436 5 9	13 1 2	1	1			23	4	1				1		1	32		
○	440 7 7	364 2 2	804 9 9	22 2 2	1	1	1	1	38	5	1	1	2		2	1		54		
○	171 2 7	172 2 2	343 4 9	10 1 2	1	1			17	1	1				1			22		
○	21 27 279	11 9 310	32 36 589	5 6 16		1			11	4		1				1		18		
○	4 3	4 3	8 7	1 1	1	1	1		28	2	1		2		1		1	38		
○	188 2 4	223 2 2	411 4 6	12 1 1	1	1	1		23	1	1				1		1	30		
○	327 4 6	326 2 6	653 6 12	18 1 1	1	1	1		32	4	1				2			42		
○	325 4 7	362 3 1	687 7 8	19 1 1	1	1	1		31	1	1		2		2		1	41		
○	201 1 2	205 1 2	406 2 4	12 1 1	1	1			21	1		1			1		1	27		
(○)	7 1	11 1	18 2	3 1	1	1			5	2	1				1			11		
○	369 3 13	384 7 2	753 10 15	22 2 3	1	1	1		39	5	1	1			2			51		
(○)	12 1 1	9 1 1	21 2 2	3 1 1	1	1			6	3	1				1			13		
○	50 1 2	16 1 2	66 2 4	3 1 1	1	1			5	2	1					1		11		
(○)	18 1 1	14 1 1	32 2 2	3 1 1	1	1			6	3	1				1			13		
○	189 4 8	196 2 8	385 6 16	12 1 1	1	1	1		19	2	1				1			26		
○	265 1 9	212 1 2	477 2 11	14 1 2	1	1	1		25	5	1				1			35		
○	320 5 6	264 3 3	584 8 9	17 1 2	1	1	1		32	3	1					1	1	41		
○	218 3 5	203 4 5	421 7 10	13 1 1	1	1	1		21	4	1					1		30		
○	243 5 1	227 4 5	470 9 10	13 1 1	1	1	1		24	3	1					1		32		
○	288 5 7	265 2 2	553 7 9	16 1 2	1	1	1		27	5	1					1		37		
○	259 3	243 3	502 6	15 1	1	1	1		23	1	1				1			29		
○	226 5 5	235 3 3	461 6 8	13 1 1	1	1	1	1	21	2	1				1		1	30		
	5,546	5,214	10,760	380	24	25	16	2	550	75	22	5	6		23	7	8	763		

学校教育



金沢市立小学校における授業の様子

事業概要

〔１〕学校教育指導

１．教育課程の編成及び実施に対する支援

(1) 目的及び概要

教科の内容及びその取扱いに関する教育委員会の方針に基づき、各学校の教育課程の編成とその着実な実施を図るため、①教育課程編成資料の作成 ②各学校が編成した教育課程への指導・助言 ③各学校の教育課程の実施状況や評価計画の把握及び指導・助言等を行う。

(2) 指導主事

① 構成

担 当	人 数	兼務人数	備 考
総括	3 人	2 人	生徒指導支援室長、学びの多様化 学校開設準備室長と兼務
教育課程担当		3 人	総括、教科指導と兼務
教科指導	9 人		
学校安全・生徒指導担当	1 人	4 人	教科指導と兼務
デジタル・学力向上担当	4 人		
道徳・人権・同和教育担当		3 人	教科指導と兼務
健康教育担当	1 人		
学びの多様化学校開設準備担当	1 人	1 人	教科指導と兼務
合 計	1 9 人		

② 学校訪問

種 類	内 容
総合訪問	学校の運営管理状況を把握し、指導・助言を行うため、3年に一度、教育委員会各課と連携して学校を訪問する。
指導主事訪問	各学校へ訪問し、学習指導及び生徒指導の状況並びに児童生徒の学習状況や学力向上に係る課題等を把握した上で、新金沢型学校教育モデルに基づく指導力向上や学力調査等の結果を生かした学力向上の取組や組織的・継続的な取組となる推進体制の構築等について、指導・助言する。
要請訪問	学校運営、学習指導、生徒指導及びその他各学校の今日的な課題についての校内研修を支援するため、校長の要請に応じて訪問する。

(3) 教科等指導員

学校からの要請に応えるため、教科等指導員を任命している。教科等指導員は指導主事との連携を図りながら、学校の要請に応じて、学習指導の助言にあたる。

任命する教科等	小学校：音楽科、図画工作科 中学校：音楽科、美術科、家庭科 (6名)
---------	--

2. 新金沢型学校教育モデルの実践

(1) 金沢ベーシックカリキュラム

「創造力」を育むために基盤となる3つの力の育成を重点とする学習内容を示した教育課程である。各学校においては、これを基準として、児童生徒の実態や地域の実情を踏まえ、「特色ある学習内容」を加え、学校独自の教育課程を編成する。

① デジタル科の実践

小・中学校の「デジタル科」において、児童生徒のデジタル力を育成するため、ドローン等の教材を用いたプログラミング学習やメタバース体験学習、企業・大学等の協力のもと先端技術体験学習を実施する。

② 金沢ふるさと学習

金沢の持つ伝統や文化、自然、歴史、食などの多様な素材や人材を活用し、金沢について学び、考え、かかわり、広めることを通して、金沢のまちに愛着と誇りを持ち、まちづくりの担い手を育むことを目指す。

(2) 金沢探究スタイル

平成28年度より実践してきた問題解決的な学びである「金沢型学習スタイル」と、3つの力を基盤に、探究の過程を発展的に繰り返し、「自分はどう思うか」「自分はどうしたいか」「自分に何ができるか」を考え、「自分」と「みんな」で、「デジタル」と「リアル」で、「創造力」を育むことを目的とする。

(3) 金沢リフレクション

児童生徒が3つの力を身につけることができたかを振り返り、学びの成長を自覚する場を設ける。小学校1年生から中学校3年生までの9年間を通して、共通の視点で自分自身を見つめて成長を自覚することを目的とする。

(4) 金沢独自の小中一貫教育

平成28年度より実践してきた「金沢型小中一貫教育」の成果と課題を踏まえ、児童生徒の実態や中学校区の実情に応じた小中連携を推進し、特色ある取組を大切にする。

① 小中一貫教育週間

中学校区内の小・中学校の教員が相互に授業参観する機会を計画的に設定し、それぞれのよさを生かした授業改善を推進する。

② 金沢「創造」プロジェクト

よりよい中学校区を目指し、中学校区別「創造」会議において、児童会生徒会が中心となって、児童生徒が主体的に取組を考え、実行する。

3. 中学生の文化鑑賞の推進

次世代の金沢の文化を担う中学生が、金沢の伝統文化を学ぶとともに、生の芸術を鑑賞することで、生徒への情操教育を育み、金沢の伝統文化に対する理解を深める機会を創出する。

4. 特色ある学校づくりの推進

学びのステップを大切にした「学校運営充実」の実施や、全小中学校で地域・PTAと連携した防災教育に取り組むなど、危機管理体制の強化を図っている。加えて、地域の住民が学校と連携し、学校運営に参画するコミュニティ・スクールを市内全小中学校で実施する。また、気候変動等の影響による熱中症リスクや教員の負担軽減、各学校のプール施設の老朽化を踏まえ、今後の水泳授業のあり方を検討する。

5. 部活動への支援

スポーツ・文化活動を通して、豊かな人間性と健全な身体の形成を図るため、中学校の部活動を支援する。

(1) 大型備品の整備

市立中学校の部活動に使用する大型備品を計画的に整備する。

(2) 大会等への参加支援

生徒の安全、体力向上及び情操教育振興に資するため、関係競技団体が主催する全国大会、北信越ブロック大会及び県大会（金沢教育事務所管内で開催される大会を除く。）等の参加に要する経費の一部を助成する。

(3) 部活動指導員の配置及び外部指導者の派遣

部活動指導の充実に向けて、退職教員等を部活動指導員として配置するとともに、地域との連携により指導にあたる人材を派遣する。

6. 開かれた学校づくりの推進

(1) 「スクールサポーター」活用の充実

児童生徒の授業等への興味や理解をより一層深めるため、地域の人材や大学生などを授業に効果的に活用する。

(2) 「全市一斉学校公開週間」の実施

全市立小・中・高等学校で学校を公開し、広く地域の方々に授業の様子等を参観していただく。

(3) 「スクールフォーラム21」の開催

教職員と保護者、地域住民が一堂に会し、各学校が学校評価を踏まえ、教育ビジョンや教育活動の状況等を説明するとともに、一緒に学校づくりに取り組むための話し合いの場を全小中学校で設ける。

7. 心の教育、人権・同和教育の推進

学校教育において、子どもの生きる力の礎とも言うべき豊かな人間性を育むため、児童生徒や地域の実態に応じた道德教育と人権・同和教育の積極的な推進を図る。

(1) 心の教育の推進

心の教育の中心である道德教育は、道德科の時間を中心に教育活動全体を通じて計画的に実施する。

(2) 人権・同和教育の推進

人権感覚豊かな人間関係を築くことを目指した教育を実現するために、道徳科をはじめ、各教科、特別活動、総合的な学習の時間など、教育活動全体を通して人権・同和教育の取組を進めるとともに、専門講師による教職員対象研修や人権・同和教育担当者による校内研修を実施する。

また、学校指導課に人権・同和教育担当の指導主事を配置し、教職員の人権意識高揚と人権啓発の推進のための研修を実施するほか、金沢市同和教育研究協議会に対する支援や学校訪問での指導助言を通して推進に努めるとともに、部落差別に関するDVDを小学校に配付し、授業で活用できる環境を整える。

8. いじめ・不登校・問題行動への対応

「問題行動を児童生徒自らが未然に防止することができる心」を育てる指導（積極的生徒指導）を推進するとともに、各学校での教育相談体制の充実を図る。

(1) いじめ防止対策推進法の施行に伴う取組

「金沢市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止等に関する機関及び団体が情報を共有し、連携強化を図るための「金沢市いじめ問題対策連絡協議会」を開催するとともに、いじめの防止等の対策や重大事態が発生した場合には、「金沢市いじめ防止等対策委員会」が事実関係の調査を行う。

(2) 生徒指導支援室の取組

専任の指導主事や危機管理アドバイザーを配置し、児童生徒の問題行動や保護者からの相談等に対して関係機関と連携し迅速かつ適切な対応を行い、学校のサポート体制を強化する。

(3) いじめを許さない意識高揚に向けた取組

ネットいじめ防止講演会、いじめに関するアンケート及び「WEB Q Uアンケート」を実施するとともに、教職員の法的対応力向上連絡会や不登校対策連絡会を開催し、いじめや不登校の未然防止と早期対応に活用する。

(4) 「心の絆サポーター」の派遣

児童生徒の不登校や問題行動等への対応や相談体制の充実を図るため、心の絆サポーターを派遣し、教職員等と連携して問題の改善にあたる。

(5) 「校内教育支援センター支援員」の配置

段階的な教室復帰や、社会的自立をめざす児童生徒に対応するための「校内教育支援センター支援員」を配置するとともに、支援員の資質向上のための研修を実施する。

(6) 学びの多様化学校の開校準備

不登校児童生徒への支援体制強化に向けた学びの多様化学校の開校をめざし、学びの多様化学校開設準備室を設置するとともに、基本構想に基づき、教育課程の編成等の開校準備にあたる。

(7) 不登校対策の強化

児童生徒の気持ちや体調を1人1台端末で確認できる心の健康観察を実施する。

9. 情報教育の推進

国のGIGAスクール構想により整備された1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークによってICTを使うことが当然な学校環境において、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す。

(1) 教育の情報化

学校における通信環境調査等の結果を踏まえ、通信ネットワーク環境の改善を実施するとともに、各教室の大型ディスプレイを更新することにより、GIGAスクール環境の充実を図る。

10. 学校図書館の充実

読書活動や読書環境の充実を図るため、平成23年度より学校司書を採用し、学校図書館の活性化に向けた施策を実施する。

(1) 学校司書の配置

豊かな読書活動を推進するとともに、学校図書館を活用した授業の充実を図る。

また、令和3年度より学校司書の小学校への専任配置を推進する。

(2) 「図書更新計画」（令和5年度～令和9年度）

文部科学省設定の学校図書館図書標準冊数に対して、全小中学校で充足率110%を維持しながら、古い図書を更新し、学校図書館の蔵書充実を図る。

(3) 保護者、地域との連携

学校図書ボランティア（令和7年度 小学校950名（芳斎分校、併設校含む。）、中学校152名登録）が、司書教諭及び学校司書と連携して図書館の環境整備や読書活動支援を行う。

(4) 電子書籍の活用

1人1台端末から同時閲覧が可能な児童生徒向けの電子書籍を活用し、学校図書館との連携を図りながら、読書活動の推進につなげる。

11. 小中一貫英語教育の推進

平成16年度から構造改革特区として、21年度からは教育課程特例校として小中一貫英語教育を推進している。また、24年度からは小中学校9年間を見通した新しい英語教育カリキュラムのもと、コミュニケーション能力の育成に向け、一層の推進・充実を図っている。

(1) 小学校では学級担任と市採用の英語インストラクターとのTeam Teachingや英語の専科教員による指導を、中学校では外国語指導助手（ALT）を活用した指導を実施する。

(2) 市独自の副読本として、小学校では「Sounds Good! KANAZAWA」を、中学校では「This is KANAZAWA」を活用し、ふるさと金沢を英語で発信できる力を育成する。

12. 理科学教育の振興

(1) （公財）金沢子ども科学財団※への支援

※児童生徒の課外における科学的な活動などを支援するとともに、その普及・発展に努め「科学の心」を育むことを目的に平成12年12月に設立。

専門的な知識を有するボランティアとの連携・協力のもと、自主カリキュラムを企画、運営する。

(2) 理科教育機器等の整備

理科教育振興法に基づき、全小中学校の理科教育に必要な機器等の整備を行う。

13. へき地・複式教育の充実

(1) へき地・複式校の数

複式学級設置学校 内川小学校、湯涌小学校、医王山小学校

(2) へき地・複式教育の充実

へき地・複式校の教職員による金沢市へき地・複式教育研究会において、合同での教育課程の作成や、授業交流、少人数授業の研究等を通して、児童生徒一人ひとりに確かな学力をつける指導のあり方を研究する。また、他校との学習や行事等の交流を通して、他者との関わりや大人数での学習等を体験させる。

(3) スクールバス等の運行

ス ク ー ル バ ス	学 校 名	通 学 区 域	利 用 人 数
さ さ ゆ り 号	不動寺小学校	竹又、宮野、梨木、古屋谷	6 人
若 あ ゆ 号 東 浅 川 号	犀 川 小 学 校	相合谷、銚子、上中、袋板屋 金川、七曲、 館、辰巳、末、浅川、茅原、北袋、打尾	34 人
み ず ば し ょ う 号	夕日寺小学校	牧、夕日寺、伝燈寺	4 人
ス ク ー ル タ ク シ ー	不動寺小学校 朝霧台小学校	鞆筒、朝日牧、加賀朝日、牧山 俵、中山	5 人 4 人

14. 健康教育の推進（学校保健・学校体育で詳述）

「金沢市健康教育推進プラン2024」（令和6年度～令和10年度）に基づき、健康教育を推進する。ヘルスプロモーションの考え方のもと、①心の健康、②体力の増進、③けがの防止／病気の予防、④食育、⑤歯・口の健康、⑥性に関する指導（生命尊重）、⑦喫煙・飲酒・薬物乱用防止を、重点的に取り組む7つの健康課題とし、児童生徒が自らの健康課題を発見できる能力や資質を身に付けることをめざす。

15. 外国人児童生徒等の教育

(1) 日本語指導教室

外国人児童生徒や帰国児童生徒の学校生活に対する不安解消のため、泉小学校、杜の里小学校及び泉中学校に日本語指導教室を設置し、基礎的な日本語指導、日本文化や生活習慣の理解のための指導などにより、日本語による学習が可能な能力を身につけるための学習と指導助言を行う。

(2) 日本語指導民間協力員派遣

日本語指導教室への通室が困難な児童生徒を対象に、保護者と学校との話し合いにおける通訳業務等のため、日本語指導民間協力員を学校の要請（申請）に基づき派遣する。

16. 学校事務デジタル化の推進

教員の負担軽減を図るため、教員と保護者との迅速な情報共有を図る連絡システムや、中学校での採点事務の効率性を図る採点支援システムを運用する。

〔2〕教職員研修（教育プラザで詳述）

教育プラザ学校教育センターにおいては、教員育成指標に基づき、学校を取り巻く諸課題に対応できる豊かな専門性、幅広い社会性、実践的指導等、教職員に求められる資質・能力の向上と金沢型学習スタイルに基づく授業を実現する指導力の育成を目指す教職員研修を実施する。また、各学校においては、研修会や日々の教育実践の中で、個々の教職員の資質・能力の向上を図るために計画的で継続的な校内研修等を実施している。それらの研修の質の向上を目的に学校の要望に応じて、教育プラザ学校教育センターから指導主事、指導員及び教育人材バンク金沢に登録している指導講師を派遣している。

〔3〕教育援助（教育総務課で執行）

1. 児童生徒就学奨励費

就学が困難な児童生徒の保護者に学用品費等を扶助

2. 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級等に通学する児童生徒の保護者に学用品費等を扶助

3. 遠距離等児童生徒通学費補助

（1）遠距離通学者（通学距離が小学生 3 km以上、中学生 5 km以上ある者）

バス又は電車による通学に要した実費の 50 %

（2）徒歩通学が危険であるとの理由によりバス又は電車での通学を認められている児童生徒

バス又は電車による通学に要した実費の 50 %

（3）教育委員会が別に定める特例区域外通学者（山間地の小規模特認校）

通学に要した日数 1 日につき、市長が定める額に通学距離を乗じて得た額

4. 通学貸切バス運行費補助

貸切バスにより通学している児童生徒

貸切バス運賃から公共交通機関運賃を差し引いた額の 75 %

5. 冬期通学困難地域通学費補助

J R 西日本バス路線の一部廃止に伴い、冬期の自転車通学禁止期間に自家用車による送迎をする保護者

通学に要した日数 1 日につき、市長が定める額に通学距離を乗じて得た額

〔4〕私学振興（教育総務課で執行）

私立学校振興

小学校（1 校）、中学校（4 校）、高等学校（6 校）に対し、運営費を補助

〔５〕表彰制度

１．高峰賞

金沢が生んだ偉大な科学者であり、日米親善にも大きく貢献した高峰譲吉博士の功績を顕彰し、あわせて理科学教育の充実と人材の育成により、広く科学の振興に寄与することを目的として昭和26年に創設された。毎年、市内の中学３年生を対象に選考して表彰しており、前年度までに945名（昭和45年までは高校生を含む。）が表彰された。

２．岡文化賞

昭和56年、元金沢市長（故）岡良一氏から寄託された 1,000万円を基金として創設されたもので、平成６年、同氏の長男岡一朗氏から寄附された 1,000万円とあわせ、市内中学校の文化活動の奨励と情操豊かで創造的な生徒の育成を目的に、優れた文化活動を行った中学校や生徒を表彰している。

３．宮村英語奨励賞

昭和60年、元金沢大学・金沢工業大学教授（故）宮村一之氏から寄附された 1,000万円を基金として始まったもので、英語教育の振興と金沢の次代を担う人材の育成を目的として、英語によるコミュニケーションに興味・関心を有し、日々英語学習を積み重ね、英語の成績が優秀な中学生を表彰している。

〔６〕（公財）金沢子ども科学財団

児童生徒の課外における科学的な活動等を支援するとともに、子どもたちの科学に対する知的好奇心や独創的で柔軟な発想を育むことを目的に、平成12年12月に設立された。

金沢市長土堀青少年交流センターを拠点に、専門的知識を有する小・中・高等学校の教職員、大学や民間企業の研究者等のボランティアとの連携・協力のもと、自主カリキュラムを企画・運営し、「おもしろ実験・観察教室」、「子ども科学スタジオ」や「算数・数学チャレンジクラブ」等の各種事業を展開している。

<主な事業の概要>

出前科学スクール、小学校児童科学教室、中学校サイエンスクラブ、科学相談事業、科学研究作品展、子ども科学スタジオ・オープンスクール、ジュニア科学者の育成等

健康教育



生産者交流会の給食

事業概要

〔１〕学校保健・学校体育

１．金沢市健康教育推進プラン２０２４の実践

(1) 健康教育アドバイザー派遣事業

児童生徒・保護者・教職員を対象に、健康教育の実践向上を希望する学校に大学教授等の専門家を派遣し、研修を実施する。

(2) 受動喫煙防止講座の開催

７つの健康課題の１つ「喫煙・飲酒・薬物乱用防止」を受け、すべての小中学校の児童生徒及び保護者を対象として、医師会等と連携しながら、専門講師による講座を開催する。

(3) 学校保健センター

① 保健教育事業

専門家による教職員・保護者・児童生徒への心と性に関する講話や保健衛生指導を実施する。

② 健康相談事業

精神科医、内科、眼科、耳鼻咽喉科医等の専門医による心身の相談や小児科医・栄養士による栄養指導を含めた発育相談を実施する。

③ 感染症予防対策事業

検診器具の消毒を行い、衛生管理の強化を図る。

２．令和８年度健康診断・各種検査の計画

実施月	事業名	事業内容	対象
4月～6月	尿検査	蛋白、糖、潜血、二次検診	児童生徒全員
4月～6月	計測・検査	身長・体重の計測、視力・聴力検査ほか	児童生徒全員
4月～6月	結核健診	問診、内科検診	児童生徒全員
4月～6月	校医検診	内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科	児童生徒全員
4月～7月	心臓検診	心電図、二次検診/心電図	中学１年生/小学１年生
9月～10月	心臓検診	二次検診	小学１年生
10月	就学時健診	視力、聴力、内科、歯科ほか	就学予定者
10～11月	血液検査	貧血、高脂血症、血糖値	中学２年生(希望者)
4月～2月	環境衛生検査	飲料水・プール水・教室等の空気	学校内各所

３．学校医・学校薬剤師の配置状況

区分	配置状況	人員	備考
内科医	児童・生徒 300人を１人が担当する複数制	116	教職員保健管理医各校１人
耳鼻咽喉科医	１人が１～８校を兼務する	20	
眼科医	１人が１～６校を兼務する	23	
歯科医	児童・生徒 500人を１人が担当する複数制	107	
薬剤師	１人１校（うち３人が兼務）	73	

4. 市立小・中学校児童生徒の学年別体格（令和7年度）

区 分		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
男	身 長 (cm)	116.9	122.8	128.8	134.5	139.6	146.0	153.7	161.4	166.5
	体 重 (kg)	21.4	24.1	27.5	31.1	34.8	39.2	44.6	49.5	54.5
女	身 長 (cm)	116.0	121.9	127.7	133.8	140.6	147.5	152.6	155.5	156.8
	体 重 (kg)	20.7	23.4	26.4	29.9	34.2	39.1	43.7	47.2	49.4

5. 市立小・中学校児童生徒疾病異常被患率（令和7年度）

区 分			小 学 校	中 学 校		区 分		小 学 校	中 学 校
人 数			21,269人	10,707人		栄養 状態	栄養不良の者	0.06	0.19
眼 科	視	０．９～０．７	10.94%	10.13%			肥満傾向の者	0.68	0.36
		０．６～０．３	13.58	16.94		脊 柱 異 常	0.33	0.68	
	力	０．２以下	8.68	26.14		胸 か く 異 常	0.08	0.12	
		疾 病	伝染性眼疾患	0.03		0.00	四 肢 異 常	0.02	0.08
	その他の異常等		1.89	2.61	心 臓 疾 患 異 常	0.43	0.75		
	耳 鼻 咽 喉 科	難 聴		0.14	0.10	内	腎 臓 疾 患 異 常	0.07	0.19
耳 垢 栓 塞		6.55	3.51	ぜ ん そ く	0.46		0.68		
中 耳 炎（慢性）		0.01	0.03	貧 血 症	0.01		0.07		
中耳炎（滲出性）		0.22	0.00	血 圧 異 常	0.00		0.02		
難 聴 の 疑 い		0.12	0.06	結 核	0.00		0.00		
鼻 炎		4.00	1.92	言 語 障 害	0.06		0.03		
アレルギー性鼻炎		8.99	8.23	科	アトピー性皮膚炎	0.74	0.43		
副 鼻 腔 炎		0.52	0.06		その他の皮膚疾患	0.32	0.13		
鼻 中 隔 湾 曲 症		0.01	0.00		その他の疾病異常	0.93	1.03		
ア デ ノ イ ド		0.01	0.00		検 尿	蛋 白	0.04	0.22	
扁 桃 肥 大		0.31	0.21			糖	0.03	0.03	
扁 桃 炎		0.01	0.00			潜 血	0.18	0.16	
音 声 言 語 異 常		0.04	0.00	そ の 他		0.00	0.00		
そ の 他 の 疾 病		0.52	0.15						
歯 科	う ち	処 置 完 了 者	11.53		13.20				
		未 処 置 者	14.82		8.71				
	その他の歯疾患の者		13.64		9.80				
	口腔の疾病・異常の者		0.70		1.03				

6. 新体力テスト調査結果（令和7年度）

性別・学年 種 目			小 学 校 男 子			小 学 校 女 子			中 学 校 男 子			中 学 校 女 子		
			4 年	5 年	6 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
体 力 ・ 運 動 能 力	握 力 (kg)	測定人数	1,789	1,718	1,877	1,712	1,723	1,713	1,605	1,756	1,619	1,627	1,601	1,481
		平 均	14.07	16.49	19.33	13.26	15.74	18.72	23.66	29.52	34.73	21.28	23.65	25.11
		標準偏差	3.27	4.02	4.98	3.19	3.87	4.38	6.20	7.34	7.80	4.50	4.64	4.80
	上体 おこし (回)	測定人数	1,769	1,705	1,855	1,682	1,716	1,692	1,597	1,723	1,602	1,608	1,576	1,456
		平 均	18.50	20.72	22.40	17.11	18.85	20.58	22.80	26.45	28.58	19.50	21.91	22.12
		標準偏差	5.89	5.82	5.91	5.65	5.43	5.56	6.12	6.15	6.41	5.71	6.07	6.41
力	長座 体前屈 (cm)	測定人数	1,779	1,714	1,867	1,713	1,715	1,706	1,598	1,728	1,615	1,625	1,593	1,480
		平 均	34.20	36.56	39.60	37.72	40.49	43.91	43.64	48.45	51.94	47.12	50.01	51.84
		標準偏差	8.77	8.93	9.10	8.91	9.51	9.81	10.92	11.57	11.96	10.78	11.27	11.44
	反復 横跳び (回)	測定人数	1,773	1,709	1,860	1,698	1,715	1,695	1,587	1,717	1,590	1,611	1,579	1,458
		平 均	40.36	44.84	47.67	37.87	41.99	45.29	48.61	52.85	55.60	44.52	46.57	46.77
		標準偏差	8.52	8.40	8.34	7.83	7.39	7.47	7.55	7.84	7.59	6.45	6.67	6.98

性別・学年 種 目			小 学 校 男 子			小 学 校 女 子			中 学 校 男 子			中 学 校 女 子		
			4 年	5 年	6 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
体 力 ・ 運 動 能 力	20mシャトルラン (回)	測定人数	1,766	1,698	1,859	1,699	1,699	1,685	1,577	1,714	1,564	1,600	1,555	1,432
		平 均	45.86	54.88	61.75	35.14	42.85	48.90	66.18	81.58	88.19	47.63	52.60	51.31
		標準偏差	19.51	21.96	23.93	14.99	16.81	18.22	23.88	24.59	25.07	17.58	19.08	18.88
	50m走 (秒)	測定人数	1,783	1,711	1,847	1,700	1,708	1,684	1,575	1,732	1,585	1,605	1,568	1,438
		平 均	9.60	9.19	8.90	9.96	9.57	9.27	8.56	7.93	7.48	9.18	8.92	8.82
		標準偏差	1.01	0.95	0.93	0.91	0.90	0.87	0.97	0.83	0.73	0.91	0.86	0.85
力	立ち幅跳び (cm)	測定人数	1,763	1,706	1,854	1,681	1,712	1,697	1,586	1,701	1,586	1,606	1,578	1,453
		平 均	148.05	157.05	167.53	138.30	147.42	158.27	186.05	206.30	220.63	167.24	174.00	176.31
		標準偏差	22.19	23.00	24.13	22.08	23.01	23.10	28.96	28.15	26.52	27.14	27.04	27.45
	ソフトボール 投げ※1 (m)	測定人数	1,776	1,712	1,859	1,708	1,708	1,696	1,589	1,732	1,606	1,611	1,592	1,461
		平 均	18.84	22.20	25.25	11.57	14.07	15.63	18.03	21.25	23.92	11.32	13.20	13.70
		標準偏差	7.36	8.68	9.68	4.28	4.85	5.95	5.68	6.29	6.50	3.79	4.37	4.55

※1 中学校生徒はハンドボール投げ

〔2〕学 校 給 食

1. 学校給食の実施状況（令和8年5月1日現在）

区 分	完全給食	普及率
小 学 校	53 校	100.0 %
	20,501人	100.0 %
中 学 校	25 校	100.0 %
	10,760人	100.0 %

(注) ミルク給食は
平成19年9月より
完全給食に切替

2. 学校給食一食あたり単価

	小 学 校					中 学 校			
	H5	H9	H10	H26	R8～	H5	H9	H10	H26～
完 全 給 食	225円	229円	234円	250円	無償化	260円	265円	274円	293円

(注) 完全給食単価には消費税及び地方消費税相当額を含む

3. 衛生指導等

共同調理場では、厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」及び文部科学省の「学校給食衛生管理基準」等により日常点検を行うほか、金沢市調理マニュアル及び衛生管理マニュアルを作成し、衛生管理の徹底を図っている。

4. 学校給食調理場施設一覧（令和8年5月1日現在）

	名 称	開設年月	配送校	施 設		職 員 数			
				調理規模	延 床 面 積	場 長	栄養教諭 学校栄養職員	調 理 士	パート
共 同 調 理 場	森 本	昭和47年9月	校 小 5 中1	食糧 1,500	423 m ²	1 人	1 人	— 人	— 人
	栗 崎	昭和47年9月	小 2	1,300	319	1	1	6	1
	小立野	昭和48年9月 (平成24年9月1日改築)	小 4 中1	1,800	853	1	2	7	4
	西南部	昭和58年4月	小 4	2,900	580	1	2	—	—
	米 泉	昭和58年4月	小 2	1,200	273	1	1	7	1
	泉 野	昭和59年9月	小 5 中1	2,800	555	1	2	10	6
	緑	昭和62年4月	小 5	3,400	654	1	2	—	—
	中 央	平成2年4月	小 7 中1	3,900	1,069	1	2	11	9
	西 部	平成11年9月	中 8	6,000	2,546	1	2	—	—
	北 部	平成15年9月	中 8	6,000	2,802	1	2	—	—
	東 部	平成19年9月	小 7 中5	6,000	3,275	1	3	—	—
	南 部	令和7年9月	小 12	8,000	5,052	1	4	—	—
	計		小 53 中 25	44,800		12	24	41	21

生涯学習



「月の石」等展示

事業概要

〔１〕生涯学習推進体制の整備

あらゆる市民が生涯学習を行うことができる環境の整備と学習行動の高揚を図るため、「金沢市教育振興基本計画」に基づき、総合的な生涯学習体制の整備に努める。

- ① 教育環境の変化や新たな課題等に対応するため、「金沢市学校教育振興基本計画」と「金沢市生涯学習振興基本計画」を一本化した「金沢市教育振興基本計画」に基づき、学校と家庭、地域、行政が密接に連携しながら、自学・共創の学びを通し、心豊かな未来を創る金沢の教育の実現に向けた施策等に取り組む。
- ② 市民の学習を支援するため、専門的知識を有する生涯学習指導員を継続して配置する。

(1) 情報発信推進事業

かなざわ生涯学習情報サイト「まなびの広場」により生涯学習情報を一元的に発信する。

(2) 学校施設開放事業

金沢子ども条例の趣旨に基づき、学校施設の活用を推進する。

開放校 小学校59校（旧小学校6校含む）
 中学校21校（うちナイター開放のみ1校）

(3) 生涯学習施設予約サービス

インターネットにより施設の空き状況の検索・予約を可能にすることで、利便性を図る。

対象施設：中央公民館（長町館、彦三館）、学校施設開放ナイターグラウンド

(4) 人材バンク

生涯学習に関する指導者や講師などの人材情報を提供し、自主的な学習活動を支援する。

(5) 生涯学習バス

地域の生涯学習活動を行う団体が、学習・研修活動の際に使用するバスの借上費用を支援する。

〔２〕成人教育

市民の学習機会の充実に重点を置き、学習意欲の向上を図る。

そのほかPTA、地区公民館をはじめとする社会教育関係団体等の自主的な学習の取り組みについて、講師派遣等の支援を行う。

(1)「かなざわ市民アカデミー」

かなざわが誇る地域文化や新たなジャンルから、いま、注目のテーマを一つ取り上げ、リアルとオンラインの併用により、段階的に学びを深めることができる生涯学習講座を開催

令和７年度テーマ『つなぐ、未来へ。防災のチカラ。』

【講演会】

日 時：令和７年10月21日（火）

会 場：金沢市文化ホール

講 師：石原 良純 氏（俳優・気象予報士）

来場者数：350人（外、ライブ配信による受講８人）

【映像講座】

- ・備えあれば憂いなし！今から始める身近な防災
- ・防災クイズ！こんな時どっちを選ぶ？

(2)人権教育推進

すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現をめざして、社会教育における人権・同和問題に関する学習活動を推進するため講演会や地域研修会を開催する。

①令和７年度人権問題講演会の開催実績

期日	令和７年７月９日～令和７年７月31日 オンデマンド配信
講師 演題	堀内 祐子（自閉症スペクトラム支援士・特別支援士・傾聴心理士） 子どもを理解する力～４人の発達障害の子育てから学んだこと～
期日	令和８年２月４日～令和８年２月26日 オンデマンド配信
講師 演題	鮎川 ヒロアキ（心理カウンセラー） “生きる”を支え、寄り添うということ

②人権に関する地域研修会の開催支援、地域や家庭における学習環境の整備等

（人権ネットワーク学習会の開催、人権啓発DVDの貸与）

(3)地域SDGs学級開設事業

学びをとおして人と地域がつながる生涯学習社会の促進を目指すとともに、金沢SDGsを推進するため、地域の学級が自ら目標を掲げ通年型の学習プログラムを作成し、学級を運営することを支援する。

＜令和７年度開設実績＞52学級 50,000円／学級（６回以上の開催で20,000円上乗せ）

〔３〕女性教育

女性の社会参加と学習機会の拡大、女性団体の活性化と相互の連携促進を図るため、女性団体組織の支援を行う。

(1)女性団体組織

地域女性の連携組織である、校下婦人会連絡協議会は、25地区会員約7,000人を擁している。

これらの単位組織（通称校下婦人会）は相互の連絡調整を図るため昭和24年に設立され、経済、環境衛生、家庭教育福祉、交通安全、ダイバーシティ推進、広報及び金沢のまちづくりを考える会の各委員会を設け、活動の強化に努めている。

この他、女性団体活動として、婦人防火クラブ、J A女性部、福祉ボランティア連絡協議会、保育士会、母子寡婦福祉連合会、更生保護女性会、消費者団体連絡会等の団体や、ボランティア、読書、趣味、バレーボール等のグループ活動がある。

〔４〕家庭教育

近年の社会環境の著しい変化は、家庭教育機能にも大きな影響を及ぼしている。こうした状況の中、家庭教育力の向上は重要な課題となっている。

そこで本市では、家庭教育の推進を図る施策を体系化した「金沢市家庭教育推進プログラム」（計画期間：R 4年度～R 8年度）の実践を進めるとともに、家庭や地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、次期「金沢市家庭教育推進プログラム」を策定する。

1. 家庭教育学びの充実事業

家庭教育力と地域教育力の向上をめざし、より多くの保護者に学習の機会を提供するため、「親の学び場」や講演会等を開催する。

(1)親の学びあい講座

家庭教育に関する指針から作成した研修教材を活用し、保護者が主体的に学ぶ参加型の講座を開催するとともに、講座の進行役となるファシリテーターを養成し、親の学び場等へ順次派遣する。

(2)家庭教育「8つのすすめ」実践セミナー

家庭教育に関する指針に基づいた講演や地域での事例紹介などを通じて、指針の周知・浸透・実践を図る。

(3)家庭版「親の学び場」

幼・保・小・中学生の子供を持つ親を対象として、子育てに関する学習の機会を提供する。

＜令和7年度開設実績＞

市費委託学級	93学級 回数に応じて支給／学級 30,000円（年2回以上）・55,000円（年4回以上）・80,000円（年6回以上） （特別支援学校、その他保護者団体は、上記金額に5,000円加算）
学級担当者研修	3回

(4)企業版「親の学び場」

企業が子育て中の従業員を対象に開催する家庭教育セミナーを支援する。

(5)地域版「親の学び場」

公民館で親同士が気軽に家庭教育について学びあう場づくりを支援する。

(6)家庭教育セミナー・入学前授業見学

全小中学校において、入学説明会等でセミナーを開催するほか、小学校入学前の保護者を対象に授業見学を実施する。

2. 家庭教育啓発事業

家庭教育に関する指針をはじめとした家庭教育に役立つ情報等を提供する。

(1)家庭教育ハンドブックの配布

家庭教育に関する指針を、日常生活の中で、どのように意識して実践すればよいかを具体的にわかりやすく示したハンドブックを配布し、保護者・幼児教育施設・学校等の教育機関や地域団体等の子供と関わる大人に指針の浸透を図る。

(2)デジタルを活用した情報発信

家庭教育に関する情報をホームページやSNS等デジタルを活用し発信する。

3. 地域連携家庭教育支援事業

地域ぐるみでの家庭教育を支援するため、地域・家庭・学校の協働による連携体制を構築する。

(1)地域学校協働活動

地域全体で子供たちの成長を支援するため、地域と学校が連携・協働しながら、幅広い住民が参画し、地域の特性を生かした子供を育む行動を行う。

※市内47小学校区、14中学校区において実施（令和7年度）

(2)地域・学校協働ネットワーク形成事業

地域学校協働活動実施団体が、団体間の連携に向けて交流や情報交換を行う「かなざわ地域学校協働連絡会」を開催するとともに、活動の周知や地域コーディネーターのネットワーク形成促進により地域学校協働活動の充実と拡大を図る。

(3)父親ねっと活動支援

父親の子育て参加や、父親会活動の活性化を目的に設立された「かなざわ父親ねっと」の活動を支援する。

〔 5 〕 顕彰制度

顕 彰 者	顕 彰 名	制度発足	令和 7 年度実績
市 長 表 彰	社 会 教 育 功 労 者 表 彰	昭和28年	8 人
市 長 感 謝 状	公 民 館 優 良 役 職 員 感 謝 状	昭和58年	10人
	P T A 功 労 者 感 謝 状	昭和52年	0 人
教育委員会感謝状	公 民 館 永 年 勤 続 職 員 感 謝 状		6 人
	優 良 P T A 感 謝 状	昭和45年	2 団体
	P T A 功 労 者	昭和57年	2 人

教育プラザ



事業概要

〔１〕施設概要

金沢子ども条例の具現化施策のひとつとして、教育と福祉が連携を図り社会全体で子供たちの健全育成を推進するための拠点となる「金沢市教育プラザ富樫」を平成15年7月に開設

また、平成25年12月には、主に北部・西部の子供たちの育ちを一貫してサポートするため、教育相談・不登校の小中学生の相談支援、幼児相談及び地域、学校、県警などと協力した青少年健全育成活動の充実など「教育と福祉の連携」を強化し、総合的な機能を備えた「金沢市教育プラザ此花」を開設

（１）教育プラザ富樫

- ① 所在地 金沢市富樫3丁目10番1号
- ② 敷地面積 18,836.10 m²
- ③ 建物 鉄筋コンクリート造、延床面積 12,328.47 m²
- | | 地上 | 地下 | 延床面積 |
|---------|----|----|-------------------------|
| 1号館 | 4F | | 3,504.59 m ² |
| 2号館 | 3F | 1F | 2,386.20 m ² |
| 3号館 | 2F | 1F | 1,368.13 m ² |
| 親子ふれあい館 | 1F | 1F | 704.57 m ² |
| 5号館 | 2F | | 1,945.04 m ² |
| 6号館 | 2F | | 876.26 m ² |
| 体育館 | 2F | | 1,543.68 m ² |
- ④ 施設内容 () 内は定員
- | | | |
|---------|----|---|
| 1号館 | 1F | こども情報室、スタジオA・B |
| | 2F | 121・122研修室(150)、123研修室(80) |
| | 3F | 131研修室(60)、教育支援センター「そだち」 |
| | 4F | 総合相談窓口、相談室1～5、検査室、プレイルーム |
| 2号館 | 1F | 211研修室(30)、212研修室(40)、213研修室(16)、ボランティア活動室(8) |
| | 2F | 221研修室(20)、講師控室1～3、総合事務室 |
| | 3F | ティーチャーサポートセンター、コンピューター研修室(32) |
| 3号館 | 1F | 幼児相談室、子育て情報案内ルーム、子育て広場「ぞう」 |
| | 2F | 321研修室(60)、子育て広場「こあら」、活動交流室「りす」(20) |
| 親子ふれあい館 | | 調理実習室(16)、ファミリーサポートセンター |
| 5号館 | | 児童相談所 |
| 6号館 | | 一時保護所 |
| 体育館 | | * 18時～21時は一般利用（有料） |
- ⑤ 開館日時 年末年始（12月29日～1月3日）を除き無休
午前9時～午後9時（子供のための利用は午後6時まで）

（２）教育プラザ此花

- ① 所在地 金沢市此花町2番7号
- ② 敷地面積 8,026.00 m²

- ③ 建 物 鉄筋コンクリート造 4階建、延床面積 12,328.47 m²
- 1F 集会室 146.40 m² 多目的ホール 611.45 m²
- 2F 66.32 m² (共有部分を除く)
- 3F 267.93 m² (廊下・階段等を除く)
- 4F 267.93 m² (廊下・階段等を除く)

- ④ 施設内容 () 内は定員
- 1F 集会室(50)、体育館
- 2F 少年育成支援室
- 3F グループ活動室、相談室1～5、プレイルーム、検査室、
教育相談職員事務室
- 4F 此花幼児相談室、グループ活動室、プレイルーム

(3) 特別支援教育サポートセンター

- ① 所在地 金沢市芳斉2丁目3番44号
- ② 敷地面積 7,502.60 m²
- ③ 建 物 鉄筋コンクリート造、延床面積 718.89 m²
- ④ 施設内容 1F 事務室
- 2F 受付、相談室、器材室、プレイルーム、研修室・会議室、
教材ライブラリー

〔2〕学校教育センター

<研修係>

小・中・高等学校教職員の資質・能力の向上を図る研修の実施と自主研修の支援を目指す。

(1) 基本方針

令和の日本型学校教育を担う「新たな教師の学び」を支えるため、デジタル技術を活用した研修推進体制を充実させ、教職員研修の高度化を進めるとともに、教員育成指標に基づいた教職員に求められる資質・能力の育成に向けた教職員の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図る教職員研修に取り組む。

金沢市教職員研修の重点

- 1 学習指導要領に対応し、金沢探究スタイルに基づいた実践的指導力の向上を図る研修の充実を図る。
- 2 教員育成指標に基づき、求められる資質・能力の育成に向けた研修の充実を図る。
- 3 主体的にデジタル社会と関わる教師の授業力の向上及び校務の効率化に向けた研修の充実を図る。
- 4 ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る研修を推進する。
- 5 全国教員研修プラットフォーム「Plant」及び大学と連携した研修パッケージを活用した教職員の主体的な学びのマネジメントを推進する。

(2) 事業概要

① 教職員研修

平成30年度より研修体制を「Ⅰ基本研修」「Ⅱ担当者等研修」「Ⅲ選択研修」「Ⅳ個別支援型研修」の4つに構成した。

「Ⅰ基本研修」については、法定研修として「初任者研修」及び「中堅教諭等資質向上研修」を実施するとともに、採用1～3年目までの教員を対象とした「スタート3プロジェクト」及び採用6年目、21年目の教員を対象とした「経験年数別研修」を実施する。

「Ⅱ担当者等研修」については、「次期学習指導要領」、「働き方改革」、「人権教育」、

「危機管理、ハラスメントの防止」など学校における諸課題に対応するため、専門家を招へいして「管理職研修」を実施するとともに、若手研修コーディネーターや特別支援教育コーディネーターとしての資質向上を図る「担当者研修」の実施及び、養護教諭、栄養教諭、学校事務職員等を受講対象者とした「職務別研修」を実施する。また、校務効率化及び授業力の向上を図る「デジタル力向上研修」を実施する。

「Ⅲ選択研修」については、各教科別に専門家を招へいし、学習指導要領に基づく指導方法等に関する「教科等研修」や、今日的な教育課題に対応する「重要課題等研修」を実施するとともに、教職員のICT活用力や特別支援教育の質の向上を目的とした「GIGA対応研修」、「特別支援教育研修」を実施する。また、自己の課題解決やキャリアステージにおける資質・能力の向上を目的とした「若手教員等選択研修」、「中堅教員等選択研修」や各学校の中核として活躍が期待される教員を育成する「次世代リーダー育成研修」及び組織の中核としてリーダーシップを発揮できる教員の育成を図る「金沢ミドルリーダー塾」等を実施する。

「Ⅳ個別支援型研修」については、「教育人材バンク金沢」に登録している指導講師等が学校や個々の教職員の要望に応じて訪問研修等を実施する。

② 合同研修

各学校において幼保小の円滑な接続をするために、幼児教育センターと連携を図り、小学校教員と保育所（園）保育士、認定こども園保育教諭、幼稚園教諭等との合同研修を実施する。

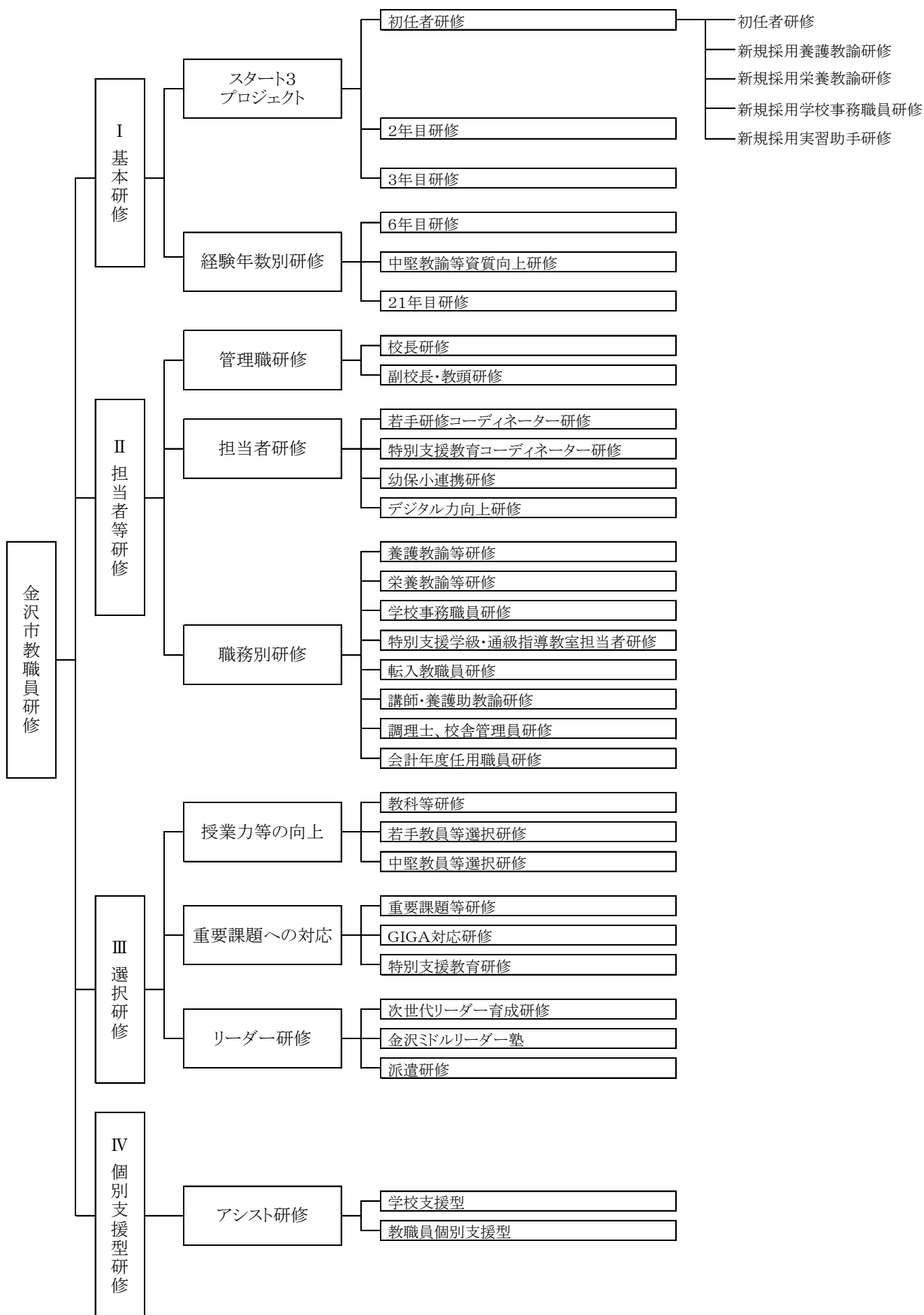
③ 研修支援

ティーチャーサポートセンターに教科書や教育図書等を収集・所蔵するとともに、自主的なグループ研修等で利用できる「自主研修用Web会議スタジオ」を運営する。また、公開研究会で発表された学習指導案等を掲載した「学校教育センターポータルサイト」を運用し、教職員に求められる資質・能力の育成に向けた校内研修の充実を図るとともに、大学とも連携しながら教職員の自主研修を奨励する。

（３）教職員研修開催実績（令和７年度）

種 別	研 修 概 要	講 座 数
人材育成	初任者研修、中堅教諭等資質向上研修 他	64講座
授業力の向上	教科等研修、英語指導力向上研修 他	27講座
重要課題への対応	重要課題等研修、GIGA対応研修 他	14講座
専門知識・技能の向上	職種別研修、特別支援教育研修 他	30講座
個別支援型研修の充実	校内研修アシスト 他	26講座
計		161講座

(4) 令和8年度 金沢市教職員研修 研修体系



＜教育相談係＞

（１）基本方針

近年、学校においては不登校児童生徒の増加、いじめ、社会的不適応、発達障害等相談内容が多様化・複雑化している。それらに対応するため、学校や関係機関との連携を強化し、専門的教育相談や特別支援教育の一層の充実を図り、児童生徒、教職員、保護者等の相談や支援が適切に行われることを目指している。さらに、令和６年４月に特別支援教育を推進する拠点として、中央小学校芳齋分校と長町中学校芳齋分校を併設し開設した特別支援教育サポートセンターにおいて、不適応の未然防止及び予防的な取り組みを推進する。

（２）事業内容

① 面接相談事業

教職員や保護者を対象に、主に学校生活での不適応、発達にかかわる課題や就学、不登校等について、心理士や指導主事等の教育プラザ学校教育センター相談員が継続的に相談に応じる。

② 専門相談事業

各分野の専門家が、乳幼児や児童生徒及びその保護者、また、それらの子供たちの保育や教育に携わる保育職員、教職員等からの相談に応じ、共に支援のあり方を考える。

③ 発達障害支援チームの設置

発達障害のある子供たちに対し、より適切な支援を行うとともに、教育プラザのもつ相談機能をつなぎ、専門性を活かした発達障害支援チームを設置し、相談体制の充実を図る。

④ 教育支援センター「そだち」事業

富樫に「そだちFriendship；集団支援」「そだちPersonal；個別支援」「そだちLink；オンライン支援」、此花に「そだちPersonal；個別支援」を設置し、４教室において、市内に在住する不登校児童生徒を対象に、社会的自立を目指し、学習支援や対人関係を築く支援を行う。

⑤ 金沢市・不登校民間支援団体等連絡会

金沢市と不登校民間支援団体等との相互理解を深めるとともに、連携を推進するため、金沢市・不登校民間支援団体等連絡会を開催し、各種の取り組みを行う。

（３）教育支援センター「そだちFriendship」「そだちPersonal」「そだちLink」

① 「そだちFriendship」の活動内容

○ 集団支援

安心できる居場所づくりを土台とし、個々の状態に応じ、小集団の中で学習活動やスポーツ活動、体験活動を通して、社会的自立への支援を行う。また、計画的に一日を送ることができるよう通室時に担当の相談員と過ごし方を相談し、退室時にふりかえりを行う。

○ 体験行事等

体験活動（野外体験、創作活動、ボランティア活動、調理活動）を年間行事として実施する。

○ 週時日程

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日
9:30	計画タイム	計画タイム	計画タイム	計画タイム	計画タイム
	学習タイム	学習タイム	学習タイム	学習タイム	学習タイム
11:00	活動タイム	活動タイム	活動タイム	活動タイム	活動タイム
12:00		ふりかえり・清掃タイム			
	昼 食		昼 食	昼 食	昼 食
13:00	学習タイム	○連携受理会議 ○チーム支援検討会 ○学校訪問 等		学習タイム	
14:00	活動タイム		スポーツタイム	活動タイム	スポーツタイム
15:00	ふりかえり・清掃タイム		ふりかえり・清掃タイム	ふりかえり・清掃タイム	ふりかえり・清掃タイム
15:15					

② 「そだちPersonal」の活動内容

○ 個別支援

個別に1対1で、興味関心に合わせた活動や学習を通して集団に入る前の段階の支援を行う。個々の状態に応じて小集団活動に参加し、人との関わり方、日常生活において対処していく能力、ライフスキル等への支援をすすめる。

○ 通室方法

通室する曜日と時間帯を決めて、担当の相談員が対応する。

③ 「そだちLink」の活動内容

○ オンライン支援

オンライン上に構築された安心安全なメタバースにおいて、自分の分身であるアバターを通じて、コミュニケーションや体験活動、交流、学習、個別相談など児童生徒一人一人のニーズに応じた多様な支援を行う。

○ 通室方法

家庭から学習用端末等を使用してオンライン上で入室する。

(4) 特別支援教育サポートセンター

特別支援教育を推進する拠点として、障害の有無にかかわらず、多様性を受け入れ、児童生徒一人一人の個性や才能を引き出していく特別支援教育の充実を図る。

① 特別支援教育の充実

金沢市特別支援教育指針に基づき、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒一人一人に対して切れ目ない支援体制を構築し、特別支援教育の一層の充実を図る。

市全体の特別支援教育の指導力向上のため、中央小学校芳齋分校及び長町中学校芳齋分校を実践拠点校に指定し、教員の実践的な研修や指導方法の研究を行うとともに、各学校において、特別支援教育支援員、特別支援教育サポーター及び特別支援教育アドバイザーの派遣により、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への支援の強化を図る。さらに、学校生活において医療的ケアが必要な児童生徒を支援するため、小中学校へ看護師を派遣する。

また、発達障害等への支援の充実を図るため、専門的知識・経験を有する指導主事や専門相談員等が保育所（園）、認定こども園、幼稚園、小学校及び中学校等への巡回を行い、児童生徒の行動特徴などの把握を行いながら、教職員や保護者等への相談・支援を行う。

② 特別支援学級・通級指導教室

児童生徒の発達や特性に応じた教育を行うため、特別の教育課程を編成する。通級による指導では、各教科の指導は通常の学級で行いつつ、教育的ニーズに応じた特別の指導を行う。

○ 特別支援学級

- ア. 難聴特別支援学級
- イ. 知的障害特別支援学級
- ウ. 肢体不自由特別支援学級
- エ. 病弱・身体虚弱特別支援学級
- オ. 自閉症・情緒障害特別支援学級

○ 通級指導教室

- カ. 言語障害通級指導教室
- キ. 難聴通級指導教室
- ク. LD・ADHD通級指導教室

③ スクールバス運行

中央小学校芳斎分校に通学する児童生徒を対象にスクールバスを運行する。

対象区域: 市内一円(市内3コース)

利用児童数: 43人

(5) 教育相談状況（令和7年度）

① 受理件数

区 分		件数（件）
相 談 受 理 件 数		1,113
内 訳	未 就 学	402
	小 学 生	477
	中 学 生	223
	高 校 生	11

② 相談種別

区 分	相談回数等	延べ人数等
面 接 相 談	7,887 回	8,054 人
専 門 相 談	85 回	166 人
教育支援センター「そだち」	登録 157 人	3,599 人
特別支援教育サポートセンター	2,689 回	3,550 人
巡 回 専 門 相 談	69 回	206 人

〔3〕青少年健全育成センター（長土堀青少年交流センター内）（こども未来局所管）

1. 青少年対策

(1) かなざわユースプロジェクト

長土堀青少年交流センターを拠点に、青少年が地域の活動に参画し、次世代を担うリーダーの育成と地域活性化を目指す。

(2) 長土堀ユースフェスティバルの開催

青少年の社会参画の促進と青少年団体活動の更なる活性化を図り、地域社会の担い手として活躍できる人材を育成する契機とするため、長土堀青少年交流センターで青少年団体の活動発表や、体験活動等を実施する。

(3) かなざわユースセンターの運営

青少年が社会的に自立する力を育むため、安心、安全に過ごせる居場所づくりを行うとともに、青少年が社会と関わる手助けをするスキルを持ったユースワーカーを養成することで、各地域での青少年の居場所づくりを推進する。

2. 少年教育

(1) ジュニアかなざわ検定

子どもたちが金沢の歴史や文化を学び、将来自らのことばで金沢を発信できる人材の育成を目的に、1人1台端末を活用した「ジュニアかなざわオンライン検定」を実施する。

(2) 金沢ふるさと体験学習

子どもたちにふるさとへの愛着や誇りを深めてもらうことを目的に、金沢の歴史・伝統文化等を学ぶことのできる体験・見学プログラムを組み合わせたバスツアー等を実施する。

(3) 元気いっぱい子どもコミュニティ推進事業

市内62地区の子ども会における、子ども会活動の一層の活性化を図るため、子どもたちが主体となって企画・運営を行う活動や、地域の伝統芸能・特色を活かした活動等に対して助成を行う。

(4) 各種少年団体活動支援

金沢市子ども会連合会、ボーイスカウト金沢地区協議会及びガールスカウト金沢地区協議会の活動に対し助成を行い、その活動を支援する。

3. 青年教育

(1) 各種青年団体活動支援

金沢市青年団協議会及び金沢市BBS連盟の活動に対し助成を行い、その活動を支援する。

4. 青少年育成

(1) 第45回金沢少年の翼国内派遣研修事業（昭和55年度から実施）

子どもたちを富士山山ろく（静岡・山梨方面）へ派遣し、研修地の社会・歴史・文化にふれるとともに、団体生活を通じ友愛と協調の精神を養い、今後の地域活動への積極的な参画を推進する。

対 象 小学校5年生～中学校3年生

期 間 7月26日～7月31日（5泊6日）

(2) 青少年国内受入

相互交流として他都市の青少年団体を受け入れる。

(3) 国際青少年受入

国際相互交流として外国の青少年団体を受け入れる。

〔4〕 少年育成支援室（教育プラザ此花内）（こども未来局所管）

（1）業務内容

① 補導活動

- ・青少年がよく使用するネット掲示板や Instagram（インスタグラム）、X（エックス）等を監視するネットパトロールを実施
- ・地域の行事における巡回および声かけその他の子どもの安全確保など、地域の実情に応じた弾力的な活動
- ・繁華街に加え、学校周辺やショッピングセンター、コンビニ等の「たまり場」を下校時等に巡視
- ・「石川県警察少年サポートセンター」と連携した補導活動の推進

② 地域連携活動

地区の青少年健全育成協議会や防犯団体との連携による一体的な活動

③ 非行防止啓発活動

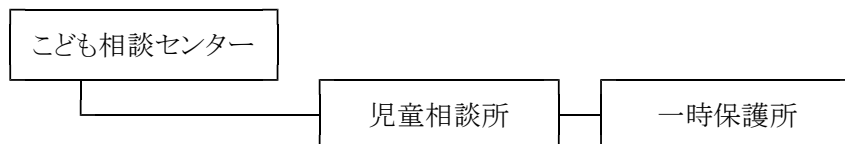
金沢かがやき発信講座（出前講座）による非行防止の啓発、広報資料の作成、金沢市少年非行防止連絡協議会の開催など

（2）街頭補導実施状況（令和7年度）

区分	回数 (回)	補導状況（人）								
		補 導 少 年 数			「愛の一声」少年数			取り扱い少年の総数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
早朝	15	0	0	0	426	37	463	426	37	463
午前	475	0	2	2	363	195	558	363	197	560
午後	820	2	7	9	3,281	752	4,033	3,283	759	4,042
薄暮	135	3	2	5	74	46	120	77	48	125
夜間	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
計	1,446	5	11	16	4,145	1,030	5,175	4,150	1,041	5,191
6年度	1,317	4	7	11	4,112	1,077	5,189	4,116	1,084	5,200

〔5〕 こども相談センター〔児童相談所〕（こども未来局所管）

（1）組織及び職員体制（常勤45人、会計年度任用職員21人）



（2）主な事業

① 児童福祉法に基づく児童相談所業務

【相談・通告への対応】

子どもの養育や児童虐待、非行、障害等に関する相談や通告への対応。金沢市児童相談所では、児童福祉法に基づく市町村としての一義的な対応も併せて行う。

【一時保護、施設入所等】

緊急保護、行動観察、短期入所指導等の必要があるときの一時保護のほか、児童養護施設、乳児院、障害児施設等への施設入所や里親委託の措置を行う。

【障害の程度の判定】

療育手帳の交付に関する判定業務や特別児童扶養手当の支給に関する知的障害の認定診断書の作成を行う。

② メンタルフレンド派遣事業

ひきこもり等の子どもに対して、メンタルフレンド（大学生等）を派遣し、会話や遊び、スポーツなどふれあい活動を通して社会性の向上を図る。

③ 青少年相談

義務教育修了後から概ね20歳までの青少年と、その家族及び関係機関の相談に応じる。

④ ヤングケアラー相談

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の児童の相談に応じる。

⑤ こども家庭センター業務

児童福祉機能と母子保健機能が連携し、一体的な支援を行う。

(3) 相談状況（令和7年度）

相 談 種 別			件 数（件）
相 談 受 付 総 件 数			1,974
相 談 受 付 件 数	養 護 相 談	児 童 虐 待	752
		そ の 他	362
		計	1,114
	保 健 相 談		3
	障 害 相 談		543
	非 行 相 談		29
	育 成 相 談		93
	そ の 他 の 相 談		0
	合 計		1,782
施 設 入 所 中 児 童 の 相 談 受 付 件 数			173
相 談 継 続 中 の 通 告 等 再 受 付 件 数			19

(4) 一時保護の状況（令和7年度）

施 設 区 分	人 数（人）
一 時 保 護 所	129
そ の 他（乳 児 院 等）	48

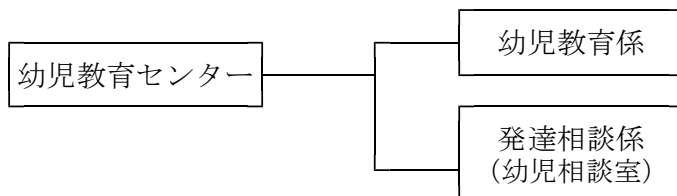
(5) 児童福祉施設入所措置等状況（令和8年4月1日現在）

施 設 区 分	人 数（人）
児 童 養 護 施 設 等	89
障 害 児 施 設	12
里 親	22
フ ァ ミ リ ー ホ ー ム	2

〔6〕 幼児教育センター（こども未来局所管）

令和2年度の機構改革に伴い、幼児教育推進の拠点として、幼児教育センターを設立。大学と共同研究を行い、保育士・幼稚園教諭養成校や小学校とも連携を図りながら幼児教育・保育の質の向上を目指す。

（１） 組織及び職員体制（常勤20人、会計年度任用職員8人）



（２） 幼児教育係

① 主な事業

○ 幼児教育センター関連事業

- ① 幼児教育センターの活動等について、学識者、幼児教育・保育施設関係者及び小学校関係者と意見交換を行い、幼児教育の推進体制の構築を図る。
- ② 幼児教育・保育の質の向上を図るため、大学、保育者養成校、幼児教育・保育施設等と連携し、研究・研修・実践を行う。
- ③ 保育士等の仕事についてPR活動を行い、魅力を発信し人材の確保に繋げる。
- ④ こどもアート工房みたにの管理運営を通じ、豊かな情操を育む環境を充実させる。

○ 幼児教育・保育関係職員研修

- ① 乳幼児保育、保健、栄養、統合保育等の各分野の専門的研修を実施。
- ② 幼児教育・保育関係職員と小学校教員の合同研修、小学校体験研修を実施し、幼児教育と小学校教育の相互理解を深める。
- ③ 訪問型、往還型、対話型等、目的に合わせた研修を実施。

② 研修状況（令和7年度）

種 別	講座数	延べ受講者数
保育所・幼稚園・認定こども園職員研修	46 講座	2,083人
市立保育所職員研修	12 講座	178人
合 計	58 講座	2,261人

（３） 発達相談係

① 主な事業

○ 巡回専門相談

小児科医、精神科医、臨床心理士、言語聴覚士等の専門家が保育所・幼稚園等に出向いて相談に応じる。

○ 統合保育相談

発達に遅れや障害を有する児童に対し、専門の指導員等が、保育所（園）での状態を観察し、担当保育士や保護者等の相談に応じる。

○ 電話相談・こども専用相談ダイヤル・いじめ相談電話

一般の電話相談のほか、こども専用の相談電話を設け、センターの相談員等が電話での相談に応じる。

○ 幼児相談室

「富樫」「此花」「駅西」の3相談室で、発達が心配される児童を対象に、親子の楽しい遊びを通して、保育士が、子育てや発達の悩みについて、保護者の相談に応じる。

②相談状況（令和7年度）

○ 受理件数

区 分		件数（件）
相 談 受 理 件 数		732
内 訳	未 就 学	706
	小 学 生	26

○ 相談種別

区 分		相談回数等	延べ人数等
巡 回 専 門 相 談		145回	450人
巡 回 専 門 相 談（統 合 保 育）		443回	1,482人
幼 児 相 談 室		登 録 401人	3,076回
電 話 相 談	一 般	—	1,415件
	い じ め	—	78件
	こ ど も 専 用	—	29件



市立工業高等学校



I. 施設概要

〔1〕所在地

金沢市畝田東1丁目1番地1

〔2〕校地

総面積 56,627 m² (17,160坪)

運動場面積 28,130 m² (8,524坪)

〔3〕構造・規模（主なもの）

管理・教室棟（鉄骨造3階建）	4,253 m ²
教室棟（鉄骨造3階建）	3,723 m ²
第一実習棟（鉄骨造3階建）	4,178 m ²
第二実習棟（鉄骨造2階建）	2,346 m ²
情報教育実習棟（鉄筋コンクリート造4階建）	1,737 m ²
第一体育館棟（鉄骨鉄筋コンクリート造2階建）	2,892 m ²
第二体育館棟（鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建）	2,105 m ²
特別活動棟（鉄筋コンクリート造平屋建）	178 m ²
屋内温水プール棟（鉄骨造2階建）	1,397 m ²
メディアセンター棟（鉄骨造3階建）	3,057 m ²

〔4〕主要施設

普通教室	18室	
特別教室	12室	
管理室	19室	
実習室	42室	機械科 15室
		電気科・電子情報科 15室
		建築科 6室
		土木科 6室
その他		食堂 1室
		和室 1室
		体育館 2棟
		特別活動棟 1棟
		図書室 1室
		運動部室 1棟
		同窓会館 1棟
		弓道場 1棟
		屋内温水プール 1棟
		ピッチング練習場 1棟
		テニスコート 2面

Ⅱ. 沿革

〔１〕本科第一部

昭和 3年 4月	金沢市立工業学校が金沢市小將町高等小学校内に開校する
昭和 3年 5月	開校式（25日）をあげ、爾後この日をもって創立記念日と定める
昭和 5年 8月	本館新築落成につき移転（泉野）する
昭和 9年 4月	中等学校卒業を入学資格とする専修科を併設する
昭和10年 3月	専修科を第二部と改称する
昭和17年 3月	第二部廃止
昭和19年 4月	校名を金沢市立第一工業学校と変更する
昭和23年 4月	金沢市立工業高等学校（機械・電気・建築・土木）（本科第一部）設置、 金沢市立第二工業学校廃止に伴い同校生徒を編入する
昭和24年 4月	家庭科新設
昭和34年 4月	電子科新設
昭和38年 4月	精密機械科新設
昭和38年12月	金沢市畝田町に新校舎竣工、移転する
昭和43年10月	創立40周年記念図書館竣工
昭和52年 5月	第二体育館竣工
昭和53年 9月	創立50周年記念同窓会館竣工
昭和61年12月	特別教育活動学習棟竣工
昭和62年11月	C A I 教室開設
平成元年 4月	電子機械科、情報科新設
平成元年12月	情報教育実習棟竣工
平成 6年 4月	第一実習棟竣工
平成 8年11月	校内LANシステムの構築
平成 9年 7月	屋内温水プール棟竣工
平成12年 4月	機械システム系及びエレクトロニクス系のくくり（一括）募集実施
平成13年 4月	機械テクノロジー科と情報システム科を新設
平成15年 4月	2学期制を導入
平成17年 7月	新第一体育館（第1期工事）竣工
平成20年 4月	機械科、電気情報科を新設
平成21年 8月	新第二実習棟（第2期工事）竣工
平成22年12月	管理・教室棟、教室棟（第3期工事）竣工
平成24年 3月	メディアセンター棟（第4期工事）竣工
平成24年 4月	電気科、電子情報科を新設
平成25年 3月	新校舎竣工式
平成26年 4月	新3学期制を導入

〔２〕本科第二部（平成23年3月廃止）

大正13年 4月	実業補習学校規定に基づいて金沢市小将町高等小学校内に金沢市工科大学として創設、予科及び本科（電気・建築・土木）（夜間課程）を設置、修業年限は予科1年、本科2年とする
昭和 3年 4月	金沢市立工科大学と改称する
昭和 5年 8月	金沢市泉野町の金沢市立工業学校に移転併置する
昭和 6年 4月	本科の土木科を廃止、機械科をおく
昭和10年 9月	青年学校令により学則を改正し、金沢市立工科青年学校と改称する
昭和11年 4月	予科を普通科と改め2年とする
昭和13年 4月	金沢市立工科青年学校の募集を停止し、金沢市立工業学校に新たに第二本科（機械・電気・建築）を併設し、第1学年の生徒を入学させる（修業年限2年）
昭和19年 4月	金沢市立第一工業学校第二本科と改称する
昭和20年 4月	第二本科を専修科と改称する
昭和23年 4月	学制改革により金沢市立工業高等学校に本科第二部（定時制）として併設され、（機械・電気・建築）を設置、修業年限4年、専修科第1学年修了者及び新制中学校卒業者を入学させる
昭和34年11月	完全給食実施
昭和38年12月	新校舎竣工（畝田町）
昭和39年11月	運動場夜間体育用照明設備完成
平成12年 4月	単位制を導入
平成13年 4月	機械システム、電気、建築の各科を統合、産業技術科と改編し、機械、電気、建築の各コースをおく
平成20年 4月	新入生の募集を停止する
平成23年 3月	廃止

〔３〕専攻科（平成21年3月廃止）

平成 8年 4月	専攻科（夜間部2年制、電気科・建築科）を新設
平成20年 4月	新入生の募集を停止する
平成21年 3月	廃止

Ⅲ. 事業概要

〔１〕教育目標

- １．高い教養とすぐれた技能を
- ２．責任ある言動と協調の精神を
- ３．勤労の喜びと健全な心身を



電気機器制御実習（電気科）

〔２〕教育活動

１．教職員数、設置学科、在籍生徒数及び学級数

(1) 教職員数

(人)

教 員		事 務 等	
校 長	1	事 務 局 長	1
副 校 長	1	事務局長補佐	1
教 頭	1	担当局長補佐	2
教 諭	4 2	主 査	1
実 習 教 諭 等	9	主 任 主 事	1
臨時的任用講師	6	主 事	1
養 護 教 諭	1	校 舎 管 理 員	1
指 導 教 員	1	会計年度任用職員	3
非 常 勤 講 師	1 0		
A L T	1		
小 計	7 3	小 計	1 1
総 計	8 4		

(2) 設置学科、在籍生徒数及び学級数（令和８年５月１日現在）

【定員：720名】

() 内は女子再掲

(人)

区 分	合 計		1 年		2 年		3 年	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
機 械	231 (10)	6	80 (3)	2	78 (5)	2	73 (2)	2
電 気	118 (3)	3	40 (0)	1	40 (1)	1	38 (2)	1
電子情報	109 (15)	3	35 (3)	1	33 (5)	1	41 (7)	1
建 築	119 (29)	3	41 (11)	1	38 (6)	1	40 (12)	1
土 木	115 (19)	3	40 (2)	1	36 (6)	1	39 (11)	1
合 計	692 (76)	18	236 (19)	6	225 (23)	6	231 (34)	6

(3) 最近5ケ年の入学志願者及び入学者状況 (人)

年 度	定 員	志願者	入学者
令和4年度	240	285	240
令和5年度	240	273	240
令和6年度	240	252	241
令和7年度	240	245	236
令和8年度	240	259	235

(志願者数は、推薦入学と一般入学の延べ人数)

2. 卒業生の動向 (令和8年3月31日現在)

(人)

卒業年度・科		卒業者数	内 訳								その他
			就 職				進 学				
			小 計	官公庁	民間	自営他	小 計	大学	短大	専門学校	
令和3年度		237	152	11	140	1	81	49	10	22	4
令和4年度		238	132	5	127	－	104	66	9	29	2
令和5年度		233	136	9	119	8	96	71	3	22	1
令和6年度		234	139	11	123	5	92	67	4	21	3
令和7年度	合 計	230	127	9	114	4	103	78	5	20	－
	機 械	75	37	3	33	1	38	25	3	10	－
	電 気	40	31	1	30	－	9	8	－	1	－
	電子情報	40	14	1	13	－	26	22	1	3	－
	建 築	37	16	－	15	1	21	15	－	6	－
	土 木	38	29	4	23	2	9	8	1	－	－

〔3〕金沢型工業教育モデルについて (令和4年2月改訂)

〔基本理念〕

ものづくりの感性、技術の基礎・基本と社会人として必要な人間力を身につけた創造性豊かな人材を育成し、金沢市及び地域産業の発展に貢献する。

〔基本的な方向性〕

- ・情報発信の継続とものづくりへの興味、関心の啓発
- ・教員の資質向上や産業界と大学との連携を通じた「ものづくり教育」の更なる充実
- ・部活動や地域貢献活動などの課外活動への積極的な参加と人間形成
- ・キャリア教育の強化とライフプランニングの支援

〔総合戦略〕

総合戦略Ⅰ「ICT推進モデル校へ」

総合戦略Ⅱ「ロールモデルの活用」

総合戦略Ⅲ「先端技術教育推進校へ」

総合戦略Ⅳ「時代に即した指導体制」

総合戦略Ⅴ「学びの継続・連携」

生涯学習、社会 教育関連施設



玉川図書館

泉野図書館



玉川こども図書館

金沢海みらい図書館



I. 図書館

〔1〕施設概要

1. 施設

区 分	玉 川 図 書 館	泉 野 図 書 館
①位 置	金沢市玉川町2番20号	金沢市泉野町4丁目22番22号
②敷地面積	8,142.90 m ²	6,035.67 m ²
③建 物	図 書 館：鉄筋コンクリート造、 一部鉄骨造 地下1階、地上2階建 近世史料館：煉瓦組積、 鉄筋コンクリート補強 地上2階建	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階、地上2階建
④建設面積	2,850.36 m ² （近世史料館を含む）	2,790.13 m ²
⑤延床面積	6,337.43 m ² （近世史料館を含む）	9,410.84 m ²
⑥施設内容	1階：改修工事中 2階：改修工事中 地下：一般書庫 近世史料館1階：閲覧室、展示室、 映像室、書庫 近世史料館2階：研修室、補修作業室 書庫 駐車場：22台	1階：一般図書コーナー、ヤング図書コー ナー、参考資料室（レファレンスル ーム）、海外情報コーナー、国連寄 託図書コーナー、一般AVコーナー、 対面朗読室 2階：オアシスホール、レクチャールーム、 グループ活動室、アートルビー 地下1階：児童図書コーナー、メルヘンタワ ー、カンガルースポット、ファン タジーシアター、児童AVコーナ ー、キッズスクエア、開架書庫（ ブックピア） 駐車場：104台

区 分	玉川図書館城北分館
①位 置	金沢市小坂町西8番地11
②敷地面積	6,008.00 m ²
③建 物	鉄筋コンクリート造2階建 （城北児童会館内1階部分）
④延床面積	314.28 m ²
⑤施設内容	閲覧室

区 分	玉川図書館長町図書室
①位 置	金沢市長町2丁目2番43号
②敷地面積	8,692.29 m ²
③建 物	鉄筋コンクリート造4階建 （中央公民館長町館内2階部分）
④延床面積	65 m ²
⑤施設内容	閲覧室

区 分	玉川こども図書館
①位 置	金沢市玉川町2番2号
②敷地面積	2,448.40 m ²
③建 物	鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）地下1階、地上3階建
④建築面積	1,007.25 m ²
⑤延床面積	5,697.46 m ² （地下駐車場を含む）
⑥施設内容	1階：はじめまして絵本の部屋、おはなしの部屋、木のひろば 2階：図書コーナー、読書活動室、メディアブース 3階：図書コーナー、学習コーナー、集会室、グループ活動室、交流ホール 駐車場：73台

区 分	金 沢 海 み ら い 図 書 館
①位 置	金沢市寺中町イ1番地1
②敷地面積	11,763.43 m ²
③建 物	鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）地下1階、地上3階建
④建築面積	2,111.89 m ²
⑤延床面積	5,438.97 m ²
⑥施設内容	1階：総合カウンター、児童図書コーナー、交流ホール、集会室、グループ活動室、ギャラリー 2階：一般図書コーナー、レファレンスカウンター、生涯学習コーナー、インターネットコーナー 3階：地域情報フロア 屋外：芝生広場 駐車場：100台、駐輪場：100台

2. 開館時間

玉川図書館改修期間 令和7年7月～令和9年3月（予定）

図書館部分のみを令和8年12月に先行開館予定

臨時まちなか図書室（長町図書室）開設期間 令和7年7月～令和8年10月（予定）

玉川図書館 (12月先行開館予定)	火曜日～金曜日 10時～19時	土曜日・日曜日・祝日・振替休日 10時～17時
近世史料館 (玉川休館中は玉川こども 図書館内で業務継続)	火～金 10時～17時 (玉川休館中) 火～金 10時～19時 (玉川先行開館後)	
泉野図書館	月曜日・水曜日～金曜日 10時～19時	
玉川こども図書館	火曜日～金曜日 10時～17時	
金沢海みらい図書館	月曜日・火曜日・木曜日・金曜日 10時～19時	
城北分館	火曜日～日曜日	9時30分～18時
長町図書室 (10月閉室予定)	月曜日～金曜日 10時～19時	土曜日・日曜日 10時～17時

※ 夏休み期間中は9時30分から開館

3. 休館日

玉川図書館	月曜日	①図書等特別整理期間 ・6/1以後の最初の月曜日に当たる日から当該日の翌々日まで ・11/24以後の最初の月曜日に当たる日から当該日の属する週の翌週の金曜日に当たる日まで ②年末年始（12/29～1/4）
近世史料館	（祝日、振替休日は除く）	
泉野図書館	火曜日	
	（祝日、振替休日は除く）	
玉川こども図書館	月曜日	
	（祝日、振替休日は除く）	
金沢海みらい図書館	水曜日	
	（祝日、振替休日は除く）	
城北分館	月曜日、祝日、振替休日	
	※ただし、5/5は除く	
長町図書室	祝日、振替休日	

〔2〕図書館活動（令和7年度）

1. 蔵書

（単位：冊）

館名	玉川	近世史料館	城北	泉野	自動車文庫	玉川こども	海みらい	合計
一般	502,719	0	14,739	269,103	29,228	2,729	312,995	1,131,513
児童	0	0	19,635	91,957	14,432	170,393	58,878	355,295
郷土資料・特殊資料	58,327	171,625	0	0	0	0	0	229,952
国連寄託	0	0	0	52,987	0	0	0	52,987
合計	561,046	171,625	34,374	414,047	43,660	173,122	371,873	1,769,747

（令和8年3月31日現在）

2. 特殊文庫（近世史料館）

（単位：点）

文庫名	点数	内容
091 稼堂文庫	8,704	漢学者黒本植（稼堂）氏蔵書。漢籍・国学・郷土資料。
092 犀川文庫	1,150	漢学者井口済（犀川）氏寄贈。漢籍。
093 蘿月窟文庫	341	藩校明倫堂講師藤田維正（容斎）氏蔵書。国学・漢学。
094 奥村文庫	608	加賀八家の一つ奥村家（嫡流）に所蔵されていた職務日記等。
095 河野文庫	962	幕末の兵学者河野久太郎氏が収集した史料や河野家の和洋兵学書。
096 藤本文庫	4,721	金沢の西洋医学の草分け藤本純吉氏所蔵。医学・国学・能楽。
098 津田文庫	769	有沢一門の兵学者、津田家に伝承された資料。郷土資料。
099 松宮文庫	1,336	石川県の女子教育に尽くした松宮助之丞氏蔵書。国学・漢籍。
特10 大島文庫	642	加賀藩明倫堂都講大島維直（贅川）氏と桃年、善の三代の儒家蔵書。
特11 金陽文庫	950	日本画家大西金陽氏蔵書。絵画・詩。
特12 欺波文庫	783	工学者欺波忠三郎氏蔵書。理工学書。
特13 氏家文庫	2,075	郷土史研究の振興に尽くした氏家栄太郎氏蔵書。史書・地誌。
特14 古愚軒文庫	2,735	漢学者大島熙（古愚軒）氏蔵書。漢籍。
特15 佐々木文庫	1,481	大聖寺藩の藩医佐々木秀三郎氏蔵書。漢方医学。
特16 ☆加越能文庫	34,405	前田育徳会尊経閣文庫所蔵資料の中から寄贈された藩政文書。
特17 河合文庫	296	鹿島郡で十村役を勤めた河合家の蔵書。郷土農政資料。
特18 清水文庫	2,834	歴代加賀藩御大工方を勤めた清水家の蔵書。加賀藩建築工芸資料。
特19 後藤文庫	248	加賀藩で代々穴生方を勤めた後藤家の蔵書。金沢城築塁資料。
特20 蒼龍館文庫	4,334	高岡市の旧家佐渡家の蔵書。和・漢・蘭医学、郷土資料。
特21 村松文庫	2,521	「江戸三度飛脚」の頭取を勤めた村松家の蔵書。俳諧・狂歌。
特22 岸文庫	1,029	経武館剣術師範を勤めた旧藩士岸家の蔵書。武芸資料。
特23 富田文庫	951	藩政期金沢で俳諧の家系として知られた館屋（富田）の俳諧資料。
特24 ※泉景文庫	90	加賀藩の御抱絵師佐々木家伝来の絵画資料。
特25 中島文庫	395	中島徳太郎氏寄贈の基金を基に購入。紙と豪華本資料。
特26 中山文庫	1,733	中山喜作氏が長年にわたり収集した謡本を中心とするコレクション。
特27 西尾文庫	1,868	大聖寺で代々算学を研究、教えてきた西尾家蔵書。算学資料。
特28 九谷文庫	550	九谷工業同業組合蔵書。江戸・明治・大正期の美術関係書。
特30 春風館文庫	1,954	山岡鉄舟とその道場春風館に関わる剣道資料を中心としたもの。
特31 石川文庫	350	一刀正伝無刀流宗家石川龍三氏の宗教・典籍類からなる蔵書。
特32 本岡文庫	1,489	河北郡大衆免村の肝煎を勤めた本岡家の蔵書。
特33 宮本文庫	958	浅野川舟運の荷宿や大河端村肝煎を勤めた宮本家の文書。
特34 市史文庫	4,531	『金沢市史』編纂のために収集された史料。現在整理中。
特35 茨木文庫	1,456	加賀藩士平士茨木家（2,050石）の武家文書及び清次郎の近代教育関係資料。
特36 旧上金石町役場文庫	1,116	明治22～昭和19年の上金石町の役場文書。

特 37	二 木 文 庫	114	近世宮腰の町役人を歴任した錢屋市郎右衛門家の文書。
特 38	中村石蘭亭文庫	785	明組与力家（100 石）で明倫堂漢学助教を勤めた中村家の武家文書。
特 39	河 地 文 庫	785	加賀八家本多家に代々仕えた河地家の文書。
特 40	森 下 文 庫	4, 648	尾張町に居住し、代々金沢の町役人を勤めた森下家の文書。
特 42	柴 屋 文 庫	1, 254	越中放生津町の年寄役を勤めた柴屋家の文書。
特 43	平 尾 文 庫	685	加賀八家本多家に代々仕えた平尾家の文書。
特 44	武 部 文 庫	6, 668	砺波郡三清村に代々居住し、肝煎・十村役を務めた武部家の文書。
特 45	小 堀 文 庫	4, 191	石川郡鶴来町小堀家の鉄道・鉱山・発電所など近代起業資料。
特 46	瓜生村中山文庫	2, 466	羽咋郡瓜生村で村役人を勤めた中山家の文書。
特 48	子浦佐々木文庫	940	羽咋郡子浦村で蔵宿を営んでいた佐々木家の文書。
特 49	浜 屋 文 庫	451	藩政初期は宮越の海商、後に金沢で質屋を営んだ浜屋の町人文書。
特 50	松根村山本文庫	709	明治期河北郡松根村の区長などを勤めた山本家の資料。
特 51	福久屋石黒文庫	4, 183	尾張町で代々薬種商を営み、銀座役等町役人も勤めた福久屋の文書。
特 52	此 木 文 庫	506	加賀八家長家の家老役を勤めた此木家の文書。
特 53	北 村 文 庫	725	明治期に小学校教員を勤めた北村家の資料、成瀬家の文書を含む。
特 55	玉 澄 文 庫	5128	才田村で村役人を勤めた吉田家、安江町で漆商だった山崎家の文書。
特 57	魚津大泉寺文庫	393	越中新川郡魚津町の浄土宗寺院大泉寺の近世寺院文書。
090	※ 郷 土 資 料	46, 629	その他近世の郷土資料。（随時整理追加中）
合 計		171, 625	

☆は石川県指定文化財（平成 22 年 4 月 2 日）

※は金沢市指定文化財（泉景文庫は「金沢城二の丸御殿景觀図」（2 点）・「辰巳旧園新造客殿図」、郷土資料は「尾山神社神門原図」・「辰巳用水絵巻」・中川家旧蔵津田文書）

3. 館内サービス業務

①入館者数

(単位：人)

玉 川			城 北	泉 野	玉 川 こども	海みらい	合 計
図 書 館	近世史料館	計					
55,739	17,249	72,988	71,035	332,798	142,713	227,556	847,090

(令和8年3月31日現在)

②登録者数

(単位：人〈団体は団体数〉)

	玉 川	城 北	泉 野	玉川こども	海みらい	自動車文庫	団 体	合 計
令和7年度	340	232	1,472	790	2,490	48	96	5,468
累 計	28,116	6,767	56,781	14,449	48,323	607	2,538	157,581

(令和8年3月31日現在)

③貸出利用者数

(単位：人〈団体は団体数〉)

	玉 川	城 北	泉 野	玉川こども	海みらい	自動車文庫	団 体	合 計
令和7年度	25,297	37,515	171,993	38,500	138,176	5,171	1,290	417,942

(令和8年3月31日現在)

④貸出冊数

(単位：冊)

	玉 川	城 北	泉 野	玉川こども	海みらい	自動車文庫	団 体	合 計
令和7年度	69,574	137,135	648,890	158,621	575,771	24,705	44,262	1,658,958

※CDの貸出件数を含む

(令和8年3月31日現在)

⑤CD分類別試聴点数（玉川のみ；城北は平成17年11月で試聴コーナー廃止）

	クラシック	ポピュラー	その他	計（単位点）
令和7年度	6	13	29	48

(令和8年3月31日現在)

⑥レファレンス（参考業務）利用状況

(単位：件)

区 分	玉 川			城北	泉野	玉川 こども	海みらい	計
	図書館	近世史料館	計					
レファレンス件数	52	411	463	15	540	70	191	1,279

(令和8年3月31日現在)

⑦参考資料閲覧室の利用状況（玉川図書館）

閲 覧 人 数 （書庫収蔵図書）	閲 覧 冊 数 （書庫収蔵図書）	複 写 枚 数	インターネットの 利 用 者 数	オンラインデータの 利 用 者 数
990 人	2,300 冊	2,143 枚	773 人	18 人

(令和8年3月31日現在)

⑧視聴覚資料・インターネット・複写サービス・オンラインデータの利用状況（泉野図書館）

視聴覚資料の館内利用人数	インターネットの 利 用 者 数	複 写 枚 数	オンラインデータの 利 用 者 数
7,580 人	3,661 人	7,260 枚	41 人

(令和8年3月31日現在)

⑨インターネット・複写サービスの利用状況（金沢海みらい図書館）

インターネットの利用者数	複 写 枚 数	オンラインデータの利用者数
2,722 人	5,277 枚	71 人

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

4. 近世史料館

近世史料調査及び郷土を研究する人のため、加越能文庫を中心に
特殊文庫の閲覧・複写サービスを実施。

閲 覧 者 数	閲 覧 冊 数	複 写 枚 数
597 人	15,075 冊	6,374 枚

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

5. 館外サービス業務

図書館から遠隔地または、交通不便等の人たちのために、貸出を実施。

- ①自動車文庫巡回貸出 市内 34 か所にステーションを設置し、移動図書館車 1 台で毎月 1 ～ 2 回巡回。（1 月を除く）
- ②学 校 巡 回 貸 出 遠隔地の内川小学校に、毎月 1 回貸出を実施。（8 月を除く）
- ③団 体 貸 出 職場文庫、地域文庫、青少年文庫、親子文庫及びこども文庫の 5 種類を設定し、30 ～ 120 冊を 2 か月間、希望の団体へ貸出。
- ④配 本 所 貸 出 地区住民のために公民館図書室等 19 か所に図書館の本を配置。
年 3 回（1 回につき 50 ～ 240 冊）本の入れ替えを行う。
- ⑤お で かけ 図 書 館 市イベント等に移動図書館車等を運行し、読書の場を提供。

6. 読書普及活動等

①いいね図書館魅力アップ事業

泉野図書館では「らいぶらりー・かふえ」、玉川こども図書館では「木育ワークショップ」、
金沢海みらい図書館では「1 日天文 DAY」等各館の特色を生かした事業を実施する。

また、11 月 1 日の「古典の日」にちなみ、多くの市民に広く古典に親しんでもらえるよう、
各図書館で古典文学の講座、演奏会など様々なイベントを行う。

②「金沢子ども読書推進プラン 2024」の具現化

子どもの読書活動を推進するため、令和 6 年 3 月に「金沢子ども読書推進プラン 2024」を策
定した。

このプランに基づき様々な事業を実施するとともに、「金沢市子ども読書活動推進会議」に
おいて、各方面での取組の進捗状況や実施結果について点検・評価をおこない、各行動主体や
読書関係団体との情報交換・共有等を図り、連携強化とネットワークの形成を育み、より一層
の子ども読書活動の推進を図る。

③コンサート等の開催

オアシスホールやレクチャールーム等を有する泉野図書館では、その特色を生かし、舞台劇
や演奏会、映画会等を開催している。玉川こども図書館では、人形劇やミニコンサート等を、
金沢海みらい図書館では大人向けの朗読会等を開催している。

④読書会

昭和 49 年 7 月、市内の読書グループ代表者により設立された金沢市読書会連絡協議会と共

催で、年間4回程度、読書会を開催している。(令和8年度共催事業は休止)

⑤はじめてまして絵本事業

絵本を介して、赤ちゃんと保護者が心ふれあう楽しいひとときを体験するきっかけ作りを行い、乳幼児期から絵本に親しむとともに、親子の絆を育む環境を整えるための事業を実施している。

赤ちゃんとその保護者を対象に、市内の3つの福祉健康センターで行う3か月児健康診査の会場で、絵本の読み聞かせをしながら絵本を手渡しする「はじめてまして絵本事業」を実施している。加えて、泉野・玉川こども・金沢海みらいの3館で、「ようこそ図書館の日」を設定し、乳幼児と保護者を対象に、家庭内の読書習慣と図書館利用の定着を図るための講座「ようこそ赤ちゃん絵本ルーム」を開催する。

⑥図書館ボランティア活動の推進

図書館運営を市民に開き図書館の活性化を図るため、玉川・泉野・玉川こども・金沢海みらいの4館でボランティア活動制度を導入している。

玉川図書館では、平成3年度にボランティア講座修了生によるボランティア・グループが発足し、おはなし会や児童向けイベントの活動を行ってきた。また、平成15年度からは図書館ボランティアの市民公募を行い、図書の配架・書架整理・児童向けイベント等の活動を行ってきたが、平成20年11月の玉川こども図書館の開館に伴い、玉川図書館の児童向けボランティアは活動拠点を玉川こども図書館へ移すとともに、新設したユースライブラリーコーナーでは学生ボランティアを公募し、展示企画、広報誌の作成を行っている。玉川図書館の休館中は、同館での活動を休止している。

泉野図書館では、平成7年4月の開館時から、視覚障害者のための音訳（対面朗読）サービスと児童向けのおはなし会にボランティアの参加があり、平成16年からは図書館ボランティアの市民公募も行い、図書の配架・書架整理・児童向けのイベント等で活動している。

玉川こども図書館では、平成20年度の開館以来、おはなし会、図書の配架・修理、児童の見守りやイベントの運営サポート等にボランティア協力を依頼するとともに、ボランティア研修等を行うことで、読書活動を支える人材の育成とネットワークづくりを支援してきた。平成31年4月1日から、中央地区における教育施設の再整備に係る改築のため休館した後、令和4年4月17日に新たに開館し、ボランティアも活動を再開した。

金沢海みらい図書館でも、平成23年5月の開館以降、図書の配架・整理・修理やおはなし会・工作教室等の児童向けイベントにおいてボランティアの協力を得て実施している。

平成29年度より各館のボランティアや市民活動団体から企画運営パートナーを募集し、市民協働による図書館活動を展開する「ライブラリー・パートナー事業」を実施している。

⑦近世史料館展示事業

玉川図書館近世史料館では、近世史料への関心と郷土の歴史への理解を深めることを目的として展示事業を実施している。令和8年度は玉川図書館の休館に伴い、前田土佐守家資料館と合同企画展を開催する。

⑧かなざわBookBank事業

日頃、図書館に足を運ぶことのない潜在的利用者に対する図書サービスとして、地区公民館図書室等に市立図書館の除籍本や寄附本を提供することにより、身近な場所で本を手にする機会を設け、更なる読書活動の推進に取り組む。

⑨図書館個性発揮事業

各館の特色を生かしたイベントを文化・芸術・スポーツ団体等と連携し、企画・実施するこ

とで、健康で生きがいのある暮らしづくりに資するとともに、読書活動を推進する。

7. 古文書講座

①古文書入門講座

基礎的な古文書の読解力を身につけ、あわせて加賀藩の歴史も学ぶための講習会を開催している。

②古文書初級講座

藩政文書のうち比較的読みやすいものを教材に、解読をしながらあわせて加賀藩の歴史を学ぶための講習会を開催している。

③古文書中級講座

藩政文書の正しい読み方を学習し、郷土の歴史への理解を深めるための講習会を開催している。

8. 国連寄託図書館（泉野図書館内）

国際連合の出版物、各種委員会の会議録、調査結果報告書等（52,987点）の閲覧・貸出をしている。

9. 障害者向け読書サービス

玉川図書館では、重度の障害者などへの図書の郵送貸出を、泉野図書館では、視覚障害者への対面朗読や録音図書・点字図書の郵送貸出を実施している。

※令和7年度から玉川図書館休館中は、泉野図書館において重度の障害者などへの図書の郵送貸出も実施。

10. 出版事業

玉川図書館近世史料館では、所蔵する貴重な古文書を活字化し広く利用できるように、金沢市図書館叢書として刊行している。（既刊15冊）

Ⅱ．公民館

〔１〕中央公民館（昭和23年８月28日 旧金沢市公会堂内で開設）

１．沿革

中央公民館は金沢市直営の公民館として、各地区が運営する地区公民館61館とともに「金沢市公民館設置条例」等、金沢市の条例の中で具体的に定められており、昭和23年８月金沢市西町に開館以来、統合、分館等を経て今年で78年目を迎えた。現在、平成19年10月に長町研修館を統合のうえ本多町から移転した長町館と、同13年４月に西町から移転した彦三館の２館があり、市民の生涯学習活動の拠点として、毎日多くの市民の皆様に利用されている。

２．施設概要

（１）施設

①長町館

開館	平成19年10月１日
所在地	金沢市長町２丁目２番43号
規模	敷地 8,692.29㎡ 鉄筋コンクリート造４階建 延床 2,774.38㎡
施設内容	学習室５室、和室、集会室２室、会議室２室、料理実習室、視聴覚室、音楽室、美術工作室、プレイルーム、談話室

②彦三館

開館	平成13年４月８日
所在地	金沢市彦三町１丁目15番５号
規模	敷地 3,150.02㎡ 鉄筋コンクリート造３階建 延床 2,998.40㎡
施設内容	和室、料理実習室、視聴覚室、会議室２室、研修室３室、大研修室、軽運動室

※多様な生涯学習ニーズに応えるため、旧金沢税務署跡地に開館。高砂大学校、大学院を開設している。

（２）開館時間

午前９時～午後９時（ただし、日曜日は午前９時～午後５時）

（３）休館日

国民の祝日、振替休日、年末年始（12月29日～１月３日）

3. 事業概要

(1) 活動状況

①高砂大学校（高齢者学級）

65歳以上の市民を対象に、社会の変化に対応する知識・教養の修得と、受講者相互の親睦を図り、暮らしを充実させる目的で昭和38年12月から開設している。

通年制3クラスで各クラスごとに週1回、午後1時間半、各29回の講義で、歴史、民俗をはじめ、健康、安全、経済、社会、芸術分野など幅広く学習する。開設から119期を経過し、修了者は17,328人に達している。また、大学校修了後は、有志による同窓会に入会し同窓生で結成した各種の自主グループで積極的に活動をしている。

<令和7年度>

金沢市高砂大学校	第119期	3クラス 週1回 年29回開講 令和7年4月24日(木)～令和8年1月15日(木)
----------	-------	--

②高砂大学校大学院

高砂大学校開設を契機に、高齢者の学習意欲が一層高まり、同大学校修了者からの継続学習要望にこたえて、昭和46年9月から高砂大学校大学院を開設し、昨年度、第60期を終えて15,621人の修了者を数えている。「歴史民俗科」、「花樹園芸科」、「文学美術科」、「悠々健康科」の4科で編成され、通年制各科ごとに週1回、午前中の1時間半、延べ23回実施しており、カリキュラムの充実等を通してより専門性を重視した内容となっている。

<令和7年度>

金沢市高砂大学校大学院	第60期	歴史民俗科、花樹園芸科、文学美術科、悠々健康科 令和7年4月25日(金)～令和8年1月16日(金)
-------------	------	--

③公民館フェア“楽集”

従来コーラスフェスティバル、創作グループ作品展として個別に行っていた事業を、平成5年度から、公民館相互の連携を深めるため、芸能フェスティバル、公民館大会も同時に開催することとし、市内全公民館が一堂に会し、新たに公民館フェア“楽集”として開催している。平成26年度から、コーラスと芸能の各フェスティバルを交互開催とし、令和7年度はコーラスフェスティバルを開催した。

《令和7年度》 令和8年2月15日(日)開催

・会場 金沢市文化ホール、公式ホームページ

・参加者 コーラスフェスティバル 17団体 345人

創作作品展 オンライン公開

公式HP閲覧数 34,896回、訪問者数 9,198人、動画視聴回数 2,302回

(2) 中央公民館自主グループの活動

中央公民館で開設した市民講座や、高砂大学校、同大学院の修了者がグループを結成し、それぞれ積極的に自主学習を続けている。令和7年度は、合唱、手芸、ダンスなど70グループ（長町館10、彦三館60）が積極的に活動している。

特に彦三館の高砂大学校同窓会は、令和7年度末の会員数は約1,900人、各分野のグループ

数は60団体を数え、高砂大学校大学院での学習の継続のほか、芸術・芸能・運動等の活動を行っており、毎年恒例の作品発表会、演芸発表会、体育まつりの開催により、日頃の活動成果の発表と会員相互の親睦を図っている。更に、福祉施設への慰問、金沢マラソンの応援等や、月1回、高砂大学校同窓会の広報誌「たかさご新聞」の発行を行っている。

(3) 中央公民館利用状況（令和7年度）

（単位 回数：回、人数：人）

		長 町 館		彦 三 館		その他（彦三館外等）		合 計	
		回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
主 催 事 業	中公主催事業	1	32					1	32
	長町館利用グループ	303	2,772					303	2,772
	高砂大学校・大学院			229	16,457			229	16,457
	彦三館利用グループ(自主)			2,457	51,323			2,457	51,323
	高砂同窓会（御役員会含む）			442	7,162	848	3,778	1,290	10,940
	小 計	304	2,804	3,128	74,942	848	3,778	4,280	81,524
貸 館 事 業	市教育委員会	7	170					7	170
	社会教育関係			311	6,820	282	988	593	7,808
	青少年団体	111	1,083					111	1,083
	女性団体	1,591	12,804					1,591	12,804
	自主的研修運動団体（減免）	2,096	22,692					2,096	22,692
	その他（有料）	260	2,497	356	4,856			616	7,353
	小 計	4,065	39,246	667	11,676	282	988	5,014	51,910
合 計		4,369	42,050	3,795	86,618	1,130	4,766	9,294	133,434

〔2〕地区公民館

1. 沿 革

昭和22年森山、石引、長田町に初めて独立の地区公民館が発足。以来、概ね小学校通学区域を対象として各地区に設置され、令和3年4月に四十万公民館が開館し地区公民館は61館となる。

地区公民館は、地域住民の交流の場として、また、生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている。

2. 組 織

公民館長は、非常勤で任期は2年である。

主事は常勤で市教育委員会の許可を得て館長が任命する。運営審議会の委員は、1館25人以内で任期は1年、例年約1,000人を委嘱している。このほか、本市独自の制度として、概ね各町内に男女各1人の公民館委員をおき、公民館活動の住民への浸透を図っている。委員の任期は1年で、例年約3,500人を委嘱している。

また、各公民館には、総務・文化・教養・女性・青年・少年・視聴覚・体育・広報等の専門部を設け、各部に部員を配置して、事業や行事の効率的な運営を図っている。

3. 活動等

(1) 役職員研修等

公民館館長会議を年度当初に開催し、生涯学習重点施策、研修事業計画、予算説明について討議するほか、館長・役職員研修を開催し、公民館相互の連携強化と運営の円滑化に努めている。

主事については、全体研修会等を概ね2ヶ月に1回行い、必要な知識や技術の習得をめざすとともに、平成3年度からは社会教育における専門性を高めるため、社会教育主事講習派遣研修を実施している。

(2) 地域生涯学習の拠点としての公民館の整備

①地区公民館の施設整備

地区公民館施設の整備等を支援する。

②地区公民館の文化活動を支援

文化活動の裾野拡大のため、地区公民館の文化関係備品の購入等を支援する。

③地区公民館の会計事務等を支援

会計士による専門の相談窓口の設置及び会計士による会計確認を行なう。

(3) 地域コミュニティ活性化支援事業

金沢コミュニティを支える基盤である地域への愛着心の醸成や、地域社会の一員としての連帯感を育む『ふるさと教育』及び『地域からの人づくり』の実践を目的とし「地域コミュニティ活性化支援事業」を実施している。

(令和7年度 地域交流52事業、子ども交流11事業、親子ふれあい推進15事業)

(4) その他

63公民館（中央公民館２館含む）で金沢市公民館連合会（昭和25年発足）を組織し、公民館大会・公民館フェア“楽集”（市教委と共催）や全国公民館研究集会、館長視察研修、主事の県外研修派遣等の事業を実施している。

昭和57年度から分野別の専門委員会を開設し、当面する課題について調査研究を行っている。

また、全市を7ブロック（湖南、城北、城東、城南、中央、西部、南部）に分けて地区連絡協議会を設け、役職員の合同研修や近隣館相互の事業交流等、広域公民館活動を進めている。

4. 地区公民館の概要（令和８年７月現在）

館 名	所 在 地	施 設 の 種 類	延面積（㎡）
(地区公民館)			
野 町	野町3丁目11-1		417.00
弥 生	弥生1丁目29-13	併設（児・老）	389.54
中 村 町	中村町10-35	併設（児・老・善）	384.69
城 南	若草町22-12		989.47
新 堅 町	鱗町62	併設（善）	511.95
菊 川 町	菊川2丁目3-3		389.20
小 立 野	小立野4丁目7-51	併設（児・老人福祉センター）	480.67
材 木	材木町13-11	併設（児）	288.58
味噌蔵町	兼六元町7-19		449.04
長 町	長町2丁目2-16	併設（児）	445.49
松ヶ枝	高岡町7-23		458.00
長 土 堀	長町3丁目3-3	併設（長土堀青少年交流センター）	414.54
芳 斎	芳斎2丁目3-43	併設（児）	337.50
長 田 町	長田1丁目5-50	併設（児）	401.12
此 花 町	此花町2-7	併設（金沢市教育プラザ此花）	301.57
瓢 箪 町	彦三町2丁目10-5	併設（児・老）	403.73
馬 場	東山3丁目9-35	併設（老）	389.94
浅 野 町	乙丸町甲161		340.41
森 山	森山2丁目11-13	併設（児・老）	403.95
千 坂	千木町1丁目119		470.69
夕 日 寺	夕日寺町口35		442.00
諸 江	諸江町29-1		519.56
富 樫	山科1丁目6-8	併設（児）	427.69
米 丸	間明町2丁目72		497.40
三 馬	久安6丁目59-1	併設（デイ）	404.92
崎 浦	小立野2丁目41-36	併設（老）	419.82
小 坂	小坂町北312	併設（児・老）	337.75
鞍 月	直江南1丁目1	併設（児・老）	586.75

浅野川	大河端西1丁目96	併設(老)	369.26
栗崎	栗崎町1丁目3	併設(児・老人福祉センター)	349.38
大野町	大野町1丁目8-5	併設(児)	183.36
戸板	戸板1丁目2	併設(児・老)	804.99
大徳	畝田西1丁目201-1		810.00
金石町	金石通町3-14	併設(市民センター・児)	480.64
二塚	北塚町西98	併設(児・老)	328.81
大浦	大浦町ヌ93-1		468.80
松寺	松寺町丑42	併設(老)	349.80
安原	福増町北1067	併設(市民センター・児・老)	632.44
額	額谷3丁目1-1	併設(市民センター)	406.01
内川	三小牛町20-1-10		330.38
犀川	末町6-67-1	併設(市民センター)	463.92
湯涌	芝原町イ59	併設(農村環境改善センター)	592.88
押野	八日市2丁目464	併設(市民センター・児)	462.35
田上	田上の里2-3	併設(市民センター)	472.78
森本	南森本町チ103-1		459.95
伏見台	窪5丁目675		467.29
花園	今町チ41	併設(児)	336.55
新神田	新神田1丁目1-18	併設(児・老)	389.99
医王山	二俣町6-14-9	併設(農村環境改善センター)	481.50
薬師谷	不動寺町イ34-1		419.90
三和	上荒屋4丁目82	併設(児・集会所)	370.59
西	西念2丁目34-9		428.83
西南部	西金沢3丁目684		520.34
米泉	米泉町8丁目126		376.45
三谷	宮野町ホ79		415.60
湖南	八田町東1459-1		334.46
旭日	加賀朝日町ホ33		106.89
俵	俵町ツ63-2	併設(生活改善センター)	135.00
東浅川	上中町ニ14	併設(ふれあいセンター)	452.00
扇台	馬替1丁目29-1	併設(児)	469.71
四十万	四十万3丁目90		468.17

(注) 善：善隣館 デイ：デイサービス 老：老人憩いの家 保：保育所
児：児童館

Ⅲ. その他の施設

〔１〕キゴ山ふれあい研修センター

医王山山麓キゴ山の豊かな自然環境の中で行う里山教育及び宇宙教育を通じて、心身ともに健全で、創造性豊かな青少年の育成を図るとともに、広く市民の生涯学習の振興に資するための施設。

1. 施設概要

(1) 施設

① 青少年交流棟

開館	昭和63年4月30日
所在地	金沢市小豆沢町ヲ4番地
規模	本館 鉄筋コンクリート造3階建 3,017.89㎡ 体育館 鉄筋コンクリート造平屋建 914.96㎡（渡り廊下含む）
主要施設	宿泊室20室（定員152人）、研修室9室、体育館、食堂、浴室、野外炊飯場等

② こども交流棟

開館	昭和51年6月1日
所在地	金沢市平等本町カ13番地1（天文学習棟と併設）
規模	管理棟 鉄筋コンクリート造一部2階建 1,064.35㎡ 宿泊棟 鉄筋コンクリート造2階建 1,402.10㎡ プレールーム 鉄筋コンクリート造平屋建 528.33㎡
主要施設	宿泊室24室（定員192人）、指導員室4室（定員10人）、研修室、多目的室、プレールーム、食堂、浴室、野外炊飯場等

③ 天文学習棟

開館	平成10年10月23日
所在地	金沢市平等本町カ13番地1（こども交流棟と併設）
規模	鉄筋コンクリート造4階建 1,601.99㎡
主要施設	天体観察室（ドーム）、屋外観察デッキ、宇宙科学工房（レクチャールーム）、プラネタリウム室、展示ホール等

④ 野外自然活用施設

主要施設	ビジターハウス、わんぱく広場、緑地広場、どんぐり広場、日本海広場、戸室マレットゴルフ場、クロスカントリーランニング・スキー場、休憩所、体験農園等
------	--

(2) 休館日

- ・ 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日に当たるときは、その日の直後の休日以外の日）
- ・ 12月29日から翌年の1月3日までの日

(3) 使用対象者

① 青少年交流棟

次のいずれかに該当する団体

- ・ 自主的な研修計画を有する団体で、おおむね8人以上のもの
- ・ その他教育委員会が適当であると認める者で構成する団体

② こども交流棟、天文学習棟の天体観察室、屋外観察デッキ、宇宙科学工房

次のいずれかに該当する者で構成するおおむね8人以上の団体

- ・ 義務教育諸学校の児童及び生徒並びにその引率者
- ・ 少年団体の構成員及びその指導者
- ・ 幼稚園、保育所等の幼児及びその引率者
- ・ その他教育委員会が適当であると認める者

③ 天文学習棟のプラネタリウム室、展示ホール、休憩スペース

誰でも利用可能（プラネタリウム観覧は有料）

(4) 使用料等（消費税及び地方消費税を含む額）

① 宿泊使用料（シーツ類使用料、食事代は別途）

- ・ 青少年（6～30歳） 1人1泊につき 310円
- ・ 一般（31歳以上） 1人1泊につき 850円

※本市内の義務教育諸学校、少年団体、幼稚園等の教育活動等として使用する場合は無料

② 日帰り使用料

	午前	午後	夜間	全日
青少年交流棟				
・ 第1研修室	1,650円	2,200円	2,200円	5,500円
・ 第2研修室	660円	880円	880円	2,200円
・ 第3研修室	660円	880円	880円	2,200円
・ 第4研修室	660円	880円	880円	2,200円
・ 和室研修室	880円	1,100円	1,100円	2,750円
・ 視聴覚室	2,200円	3,300円	3,300円	8,250円
・ 研修集会室	3,300円	4,400円	4,400円	11,000円
・ 調理加工実習室	1,980円	2,200円	2,200円	5,500円
・ 工芸実習室	2,200円	3,300円	3,300円	8,250円
・ 体育館（全面）	4,400円	5,500円	5,500円	14,300円
・ 体育館（半面）	2,200円	2,750円	2,750円	7,150円
こども交流棟				
・ プレールーム	2,200円	2,750円	2,750円	7,150円
・ 多目的室	1,650円	2,200円	2,200円	5,500円
・ 研修室	1,650円	2,200円	2,200円	5,500円
天文学習棟				
・ 宇宙科学工房	1,650円	2,200円	2,200円	5,500円

※本市内の義務教育諸学校、少年団体、幼稚園等の教育活動等として使用する場合は無料

③ 附属設備使用料

- ・ ピアノ 1台1日につき 330円
- ・ スキー 1組1日につき 550円
- ・ 屋外炊事設備 一式1回につき 1,100円（宿泊団体は無料）

※本市内の義務教育諸学校、少年団体、幼稚園等の教育活動等として使用する場合は無料

④ シーツ類使用料

1組あたり 370円

⑤ 食事代（基本メニュー）

- ・ 青少年交流棟 朝食 550円、昼食 660円、夕食 880円
- ・ こども交流棟 朝食 540円、昼食 540円、夕食 790円

(5) プラネタリウム観覧料 （消費税及び地方消費税を含む額）

- ・ 個人料金 中学生以下 310円
一 般 520円
- ・ 団体料金（20人以上） 中学生以下 210円
（1人につき） 一 般 410円

※本市内の義務教育諸学校、少年団体、幼稚園等の教育活動等として観覧する場合は無料

2. 事業概要

(1) 受入事業（活動例）

① 青少年交流棟館内（自主的な研修計画を有する団体）

スポーツ活動、各種調理実習、講義、各種学習活動 等

② こども交流棟・天文学習棟館内

館内クイズラリー、館内きもだめし、空気ロケット、熱気球、キャンドルサービス、各種クラフト、プラネタリウム、大型望遠鏡での天体観望、展示ホール見学 等

③ 野外活動

登山、ハイキング、オリエンテーリング、クイズラリー、きもだめし、グランドゴルフ、ディスクゴルフ、ドラム缶風呂、イワナつかみ、野外炊飯（カレー、まきまきパン等）、ネイチャーゲーム各種、キャンプファイヤー、クロスカントリースキー（歩くスキー）、かんじき・スノーシュー体験、スノーチュービング、バルーン水ロケット、水ロケット発射体験、動植物の観察、天体観望 等

(2) 主催事業（令和7年度）

① 青少年交流棟

キゴ山こどもまつり、キゴ山親子里山体験塾（年5回）、キゴ山市民里山教室（年2回）

② こども交流棟

キゴ山雪まつり、キゴ山親子自然体験塾（1泊 年3回）、キゴ山冒険王（2泊）、キゴ山ネイチャーワールド（日帰り 年2回）

③ 天文学習棟

キゴ山七夕星まつり、金曜日は星見の日（年24回）、金沢宇宙塾（ファンダメンタル・テクニカルコース：年5回、キンダーコース：1回、キッズコース：4回、ジュニアコース：4

回、おとなの宇宙塾：４回）、アストロスクール（４回）、出前授業（９回）、インタープリター養成講座（４回）、まちなかスターウォッチング（１回）、地域で集まれ天体観望会（３回）、お泊りスターウォッチング（１泊）、よちよちプラネタリウム（１０回）、親子でぷらっとサイエンス（１回）、科学学習支援（５回）

(3) 利用状況（過去３年間）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
宿泊利用者			
・青少年交流棟	2,821人	1,807人	2,325人
・こども交流棟	11,429人	13,677人	13,412人
日帰り利用者			
・青少年交流棟	3,541人	3,124人	3,450人
・こども交流棟	4,610人	7,485人	9,081人
・ビジターハウス	7,347人	7,724人	7,691人
・休憩所	445人	225人	190人
天文学習棟利用者			
・プラネタリウム観覧者	9,720人	11,423人	12,476人
・天文学習棟展示観覧者	16,326人	17,585人	19,171人
主催事業参加者			
・キゴ山こどもまつり	72人	214人	515人
・キゴ山七夕星まつり	99人	165人	157人
・キゴ山雪まつり	能登半島地震の影響により中止	94人	152人
・金曜日は星見の日		779人	1,140人
・宇宙産業セミナー		60人	(なし)
・地域で集まれ天体観望会	(なし)	510人	521人
・その他			
(青少年交流棟主催)	229人	215人	138人
(こども交流棟主催)	198人	233人	202人
(天文学習棟主催)	859人	1,487人	2,007人
・「月の石」等展示来場者	(なし)	(なし)	9,508人
(展示関連事業参加者)	(なし)	(なし)	4,745人

(4) 日本宇宙少年団金沢支部（事務局：金沢市キゴ山ふれあい研修センター内）

宇宙への夢を通して科学への探究心を育み、豊かで平和な21世紀を担う国際人を育成するため、平成7年7月に日本宇宙少年団金沢支部が結成された。

約120名の団員が、3分団（南分団〔ディスカバリー〕、中央分団〔エンデバー〕、北分団〔コロンビア〕）に分かれ、分団長、リーダーの指導のもと月1回（土曜日）に活動している。天体や宇宙に関する施設見学、キゴ山での天体観望、ドローン操作の学習、プログラミング教室、科学実験活動のほか、3分団合同の水ロケット大会の開催等を通して、宇宙と科学への夢を育んでいる。

〔２〕長土堀青少年交流センター（こども未来局所管）

(1) 概要

設置目的		次代を担う青少年の主体的な学びや、青少年相互及び青少年と他の世代との交流を促進することを通じて、健全で活力に満ち、創造性豊かな青少年の育成を図る。		
位 置		金沢市長町３丁目３番３号	電 話	220－2102
開 館		令和元年７月		
建 物	構 造	鉄筋コンクリート造４階建		
	施 設 内 容	交 流 活 動 室 （171.5㎡ 定員 72人） プ レ イ ル ー ム （85.2㎡ 定員 30人） 多 目 的 室 （82.9㎡ 定員 36人） 調 理 実 習 室 （71.7㎡ 定員 24人） 和 室 （65.8㎡ 定員 20人 茶室利用可能） 音 楽 活 動 室 （57.4㎡ 定員 20人） 学 習 室 １ （74.4㎡ 定員 36人） 学 習 室 ２ （75.9㎡ 定員 36人） 学 習 室 ３ （76.0㎡ 定員 36人） 大 集 会 室 （314.6㎡ 定員150人 椅子のみ200席） 控 室 （20.8㎡ 定員 ５人） 長土堀公民館 金沢市子ども会連合会事務局 金沢子ども科学財団事務局		
開館時間		午前９時から午後９時まで		
休 館 日		月曜日（祝日の場合は直後の平日）、12月29日から翌年１月３日まで		

(2) 利用状況（過去３年間）

年度	活 動 団 体 (青 少 年 団 体)			一 般 団 体			そ の 他 (フリースペース)		合 計		
	団体数	利用者数	うち青少年数	団体数	利用者数	うち青少年数	利用者数	うち青少年数	団体数	利用者数	うち青少年数
５年度	団体 2,538	人 63,981	人 34,770	団体 1,798	人 22,927	人 4,372	人 4,407	人 3,707	団体 4,336	人 91,315	人 42,849
６年度	2,765	88,770	49,213	1,567	21,475	3,220	4,919	3,979	4,332	115,164	56,412
７年度	3,016	84,922	49,436	1,292	16,261	2,526	7,743	6,605	4,308	108,926	58,567

〔３〕 甥杉少年の森（こども未来局所管）

位 置	金沢市甥杉町口 2 番地 3	電 話	229－1627（利用団体滞在時のみ）
開設年月	昭和59年 8 月		
面 積	約50ha 甥杉・寺津地区		
施設概要	管理棟兼避難所（木造 2 階農家建、面積390㎡） 野外集会場 2 倉庫 3 初級キャンプ場（100人収容）…炊事棟 1、炊飯棟 1、便所 1（水洗式） 中級キャンプ場（50人収容）…炊事炊飯棟 1、便所 1（水洗式） 雨天広場（屋根付集会広場）		
開設期間	4 月 1 日～11月30日		
使 用 料	無 料		

<利用状況（過去 5 年間）>

（単位：人）

	小学生以下	中 学 生	高 校 生	一般（大人）	利用者合計
令和 3 年度	435	122	35	543	1,135
令和 4 年度	220	212	60	355	847
令和 5 年度	507	107	49	667	1,330
令和 6 年度	516	117	50	594	1,277
令和 7 年度	509	71	34	570	1,184

〔４〕 土子原こども野外広場（こども未来局所管）

位 置	金沢市曲子原町ソ13番地（旧土子原小学校跡地）
開設年月	平成12年 8 月
面 積	約1.6ha
施設概要	宿泊棟（旧土子原小学校舎、約40名収容）、野外炊事場、 キャンプファイヤー広場、グラウンド（約5,000㎡）、自然苑
開設期間	4 月 1 日～11月30日
使 用 料	無 料

<利用状況（過去 5 年間）>

（単位：人）

	小学生以下	中 学 生	高 校 生	一般（大人）	利用者合計
令和 3 年度	258	124	57	312	751
令和 4 年度	620	380	97	729	1,826
令和 5 年度	826	149	51	738	1,764
令和 6 年度	742	289	79	745	1,855
令和 7 年度	639	197	59	654	1,549

附属資料

〔 1 〕 歴代教育委員、教育長

教育委員：昭和27年10月 5 日教育委員会法に基づき選挙により選出されたが、昭和31年10月 1 日地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行に伴い任命制に変更された。

教育委員長：地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い教育委員長と教育長が一本化し、本市においては、平成28年 3 月31日に教育委員長を廃止した。

委員、教育長名	期 間		備 考
	◎ 教育委員長 ○ 教育長	委 員	
福 島 源太郎	◎ S27. 11. 1 ～ S30. 9. 30	S27. 11. 1 ～ S30. 9. 30	公 選
松 身 富 子		〃 ～ 〃	〃
森 直 弘		〃 ～ 〃	〃
細 川 栄 松	◎ S30. 10. 1 ～ S31. 9. 30	〃 ～ 〃	〃
羽 間 政 信		〃 ～ 〃	議 選
織 田 信 治	○ S27. 11. 1 ～ S31. 9. 30		
石 原 堅 正	◎ S31. 10. 1 ～ S33. 9. 30	S31. 10. 1 ～ S33. 9. 30	
吉 藤 雅 子		〃 ～ S39. 9. 30	
松 井 順 孝		〃 ～ S42. 9. 30	
越 馬 徳 治		〃 ～ S40. 9. 30	
素 都 清 朗	○ S31. 10. 1 ～ S40. 3. 31	〃 ～ S40. 3. 31	
寺 田 巽	◎ S33. 12. 20 ～ S41. 12. 19	S33. 12. 20 ～ S41. 12. 19	
八 田 つる子		S39. 10. 1 ～ S47. 9. 30	
		S55. 10. 1 ～ S59. 9. 30	
前 田 長 宗	○ S40. 4. 1 ～ S47. 9. 30	S40. 4. 1 ～ S47. 9. 30	
中 島 徳太郎		S40. 10. 1 ～ S56. 9. 30	
番 匠 鉄 雄	◎ S41. 12. 20 ～ S53. 12. 19	S41. 12. 20 ～ S53. 12. 19	
	◎ S53. 12. 25 ～ S57. 12. 24	S53. 12. 25 ～ S57. 12. 24	
内 田 一		S42. 10. 1 ～ S47. 9. 30	
石 川 元 一		S47. 10. 1 ～ S58. 9. 30	
松 山 雅		〃 ～ S55. 9. 30	
桑 田 良 夫	○ S47. 10. 1 ～ S56. 3. 31	〃 ～ S56. 3. 31	
高 倉 健 次	○ S56. 4. 1 ～ S61. 3. 31	S56. 4. 1 ～ S61. 3. 31	
松 田 園 子		S59. 10. 1 ～ S63. 9. 30	
奥 清	○ S61. 4. 1 ～ H 3. 3. 30	S61. 4. 1 ～ H 3. 3. 30	
林 勝 次	◎ S58. 1. 6 ～ H 5. 10. 2	S56. 1. 6 ～ H 5. 10. 2	
中 村 榮一郎		S58. 1. 1 ～ H 6. 12. 31	
伊 藤 博	◎ H 9. 10. 3 ～ H11. 10. 1	S58. 10. 2 ～ H11. 10. 1	
石 原 多賀子	○ H 3. 4. 1 ～ H20. 9. 30	S63. 10. 1 ～ H20. 9. 30	
別 所 一 夫	◎ H 5. 10. 3 ～ H 9. 10. 2	H 5. 10. 3 ～ H11. 12. 7	
内 田 忠 平		H12. 3. 29 ～ H13. 10. 2	
金 子 劭 榮		H13. 10. 3 ～ H17. 3. 31	
吉 田 國 男		H 7. 1. 1 ～ H18. 12. 31	
津 川 龍 三	◎ H11. 10. 4 ～ H19. 10. 1	H11. 10. 2 ～ H19. 10. 1	
小 杉 善 嗣	◎ H19. 10. 3 ～ H20. 9. 30	H 3. 4. 1 ～ H20. 9. 30	
佐 藤 秀 紀	◎ H20. 10. 1 ～ H25. 9. 30	H17. 4. 1 ～ H25. 10. 2	
柳 下 道 子		H19. 1. 1 ～ H26. 12. 31	
早 川 芳 子		H19. 10. 2 ～ R元. 10. 1	

前 川 信 政		H20. 4. 1 ~ H24. 3. 31	
米 井 裕 一		〃 ~ H28. 3. 31	
岡 能 久		H20. 10. 1 ~ R 2. 9. 30	
浅 香 久美子	○ H20. 10. 1 ~ H24. 3. 31	〃 ~ H24. 3. 31	
野 口 弘	○ H24. 4. 1 ~	H24. 4. 1 ~	現 職
小 山 信		〃 ~ H28. 9. 30	
田 邊 俊 治	◎ H25. 10. 3 ~ H28. 3. 31	H25. 10. 3 ~ R 7. 10. 2	
河 野 俊 寛		H27. 1. 1 ~ H30. 12. 31	
大 島 淳 光		H28. 4. 1 ~	現 職
丸 山 章 子		H28. 10. 1 ~	〃
木 村 陽 子		H31. 1. 1 ~	〃
長 澤 裕 子		R元. 10. 2 ~	〃
櫻 吉 啓 介		R 2. 10. 1 ~	〃
山 本 英 輔		R 7. 10. 3 ~	〃

〔２〕各種委員会・協議会等委員

１．金沢子どもを育む行動推進委員会委員

役職名	氏 名	団 体 役 職 名	任 期
委 員	上 田 久美子	金沢市校下婦人会連絡協議会副会長	R 8. 7. 1 ~ R10. 6.30
〃	上 田 幸 男	金沢市町会連合会副会長	〃
〃	河 合 美 枝	石川県私立幼稚園協会金沢支部理事	〃
〃	北 村 克 巳	金沢市子ども会連合会副会長	〃
〃	湖 東 俊 裕	株式会社CCIグループ人材開発グループ長	〃
〃	小 山 奈津子	公募委員	〃
〃	坂 下 功	金沢市立中学校長会副会長	〃
〃	坂 本 修 一	連合石川かなざわ地域協議会事務局長	〃
〃	地 下 雅 志	金沢市立小学校長会会長	〃
〃	鈴 木 瞬	金沢大学人間社会研究域学校教育系准教授	〃
〃	仙 石 正 美	金沢市放課後児童クラブ協議会理事	〃
〃	大 海 紋 子	みらい子育てネット金沢市地域活動連絡協議会会長	〃
〃	高 田 修 平	公益社団法人金沢青年会議所副理事長	〃
〃	竹 井 早葉子	NPO法人かなざわ総合スポーツクラブ理事長	〃
〃	鶴 山 雄 一	金沢市P T A協議会会長	〃
〃	天 村 一 平	金沢市民生委員児童委員協議会主任児童委員連絡会副会長	〃
〃	遠 水 健 一	金沢市スポーツ協会常任理事	〃
〃	中 田 二 郎	金沢商工会議所中小企業委員会副委員長	〃
〃	中 田 真 美	金沢市社会福祉協議会保育部会部会長	〃
〃	長谷川 由 香	子育て向上委員会代表	〃
〃	待 寺 敦 子	公募委員	〃
〃	南 野 弘 一	金沢市子ども見守りボランティア協議会代表	〃
〃	本 谷 悦 子	金沢市公民館連合会副会長	〃
〃	山 口 千 春	金沢市児童館児童厚生員会会長	〃

2. 金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員

役職名	氏 名	所 属	団 体 役 職 名	任 期
委 員	中 川 一 成	住民自治組織	金沢市町会連合会会長	R 7. 8.28 ～ R 9. 8.27
〃	上 田 久美子	〃	金沢市校下婦人会連絡協議会副会長	〃
〃	中 村 晶 子	学 校 長	金沢市立泉小学校校長	〃
〃	坂 下 功	〃	金沢市立高尾台中学校校長	R 8. 4.15 ～ R 9. 8.27
〃	西 村 洋 志	教育関係団体	金沢市 P T A 協議会副会長	R 7. 8.28 ～ R 9. 8.27
〃	小久保 加奈恵	〃	金沢市 P T A 協議会副会長	〃
〃	竹 上 勉	知 識 経 験 者	金沢市公民館連合会会長	〃
〃	俵 希 實	〃	北陸学院大学教授	〃

3. 金沢市社会教育委員

役職名	氏 名	団 体 役 職 名	任 期
委 員	岡 田 憲 和	金沢市立中学校長会会長	R 8. 4.15 ～ R 9.11.30
〃	竹 上 勉	金沢市公民館連合会会長	R 7.12. 1 ～ R 9.11.30
〃	能木場 由紀子	金沢市校下婦人会連絡協議会会長	〃
〃	宮 田 悠 佑	金沢市青年団協議会会長	〃
〃	縄 寛 敏	金沢市子ども会連合会会長	〃
〃	鶴 山 雄 一	金沢市 P T A 協議会会長	〃
〃	米 井 裕 一	金沢市スポーツ協会会長	R 8. 5.20 ～ R 9.11.30
〃	関 野 礼 奈	公募委員	R 7.12. 1 ～ R 9.11.30
〃	多 橋 和 輝	公募委員	〃
〃	浦 愉 加	学識経験者（金沢商工会議所女性会副会長）	R 8. 6. 1 ～ R10. 5.31
〃	俵 希 實	〃（北陸学院大学教授）	〃
〃	桑 村 佐和子	〃（金沢美術工芸大学教授）	R 8. 5. 1 ～ R10. 4.30

4. 金沢市教育プラザ運営委員会委員

役職名	氏 名	団 体 役 職 名	任 期
委 員	宇 野 典 子	公募委員	R 4. 4. 1 ～ R10. 3.31
〃	菊 田 千 春	石川県私立幼稚園協会金沢支部理事	H28. 4. 1 ～ R10. 3.31
〃	北 村 克 巳	金沢市子ども会連合会副会長	R 8. 4. 1 ～ R10. 3.31
〃	坂 下 功	金沢市立中学校長会副会長	〃
〃	鶴 岡 美津代	金沢市立小学校長会	〃
〃	中 克 之	知識経験者	〃
〃	中 田 真 美	金沢市社会福祉協議会保育部会部会長	R 7. 4. 1 ～ R10. 3.31
〃	藤 森 文 子	金沢市 P T A 協議会副会長	〃
〃	松 原 靖 子	金沢市民生委員児童委員協議会主任児童委員連絡会会長	R 8. 4. 1 ～ R10. 3.31

5. 金沢市図書館協議会委員

役職名	氏 名	団 体 役 職 名	任 期
委 員	浦 愉 加	金沢商工会議所女性会副会長	R 8. 2. 1 ～ R10. 1. 31
〃	佐南谷 弥 生	金沢市学校図書館協議会会長	R 8. 4. 15 ～ R10. 1. 31
〃	杉 山 欣 也	金沢大学附属図書館館長	R 8. 2. 1 ～ R10. 1. 31
〃	竹 上 勉	金沢市公民館連合会会長	〃
〃	天 村 一 平	金沢市P T A協議会副会長	〃
〃	中 泉 隆 子	金沢こども読書研究会理事長	〃
〃	松 岡 理 恵	公募委員	〃
〃	眞 鍋 知 子	金沢大学融合科学系教授	〃
〃	弓 場 麻 衣	公募委員	〃